

北海道立帯広美術館年報
平成29年－30年度

目 次

目次	3
展覧会事業	
コレクション・ギャラリー一覧	4
知られざる五十三次	5
ようこそ、バルビゾン村へ	6
生誕120年 能勢眞美	8
北海道・道東ぐるり旅	10
奇想天外ープリントアートの世界	11
絵画の国ー抽象表現の試みー	12
描かれた物語	13
特別展一覧	14
見る、感じる、アートのチカラ	16
山下清展	20
追悼特別展 高倉健	28
FACE／わたしとあなた	38
ナショナル ジオグラフィック写真展	44
魔法の美術館	50
神田日勝と道東の画家たち & 岡沼淳一・木彫の世界	53
幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	58
北海道のアール・ブリュット	68
教育普及事業	
美術講演会／アーティスト・トーク等	80
特別展セミナー	81
ギャラリー・ツアー	82
トーク＆ワーク	83
ミュージアム・ミステリー	84
キッズ・ツアー	85
キッズ・ミュージアム	86
ワークショップ等	87
映写室	88
コンサート	88
芸術週間	89
おびひろ氷まつり協賛事業	90
団体オリエンテーション	92
セルフガイド（クイズ）	93
教員研修プログラム	93
出張アート教室	94
学校教育との連携	95
他団体との連携	96
その他	97
アートギャラリー北海道事業	99
美術作品の収集	
平成29年度作品収集状況	100
受贈	100
平成30年度作品収集状況	101
購入	101
受贈	101
図版目録凡例	102
図版	103
美術作品の貸出	108
特別観覧	109
貸館事業	109
名簿	110
館内案内図	111
建築概要	112
設備概要	112
沿革	113
観覧者数一覧	114

コレクション・ギャラリー一覧

平成29年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	備 考
1	知られざる五十三次 歌川広重と「行書東海道」の世界	4月29日(土)～6月18日(日)	44	
2	ようこそ、バルビゾン村へ	7月1日(土)～9月3日(日)	56	
3	生誕120年 能勢眞美	9月12日(火)～11月12日(日)	55	
4	北海道・道東ぐるり旅	11月25日(土)～2月25日(日)	75	

平成30年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	備 考
1	奇想天外 ―プリントアートの世界	4月7日(土)～6月17日(日)	62	
2	絵具の国 ―抽象表現の試み―	6月30日(土)～12月2日(日)	128	
3	描かれた物語	12月15日(土)～3月31日(日)	80	

知られざる五十三次 歌川広重と「行書東海道」の世界

会期＝平成29年 4月29日(土)－ 6月18日(日) 44日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

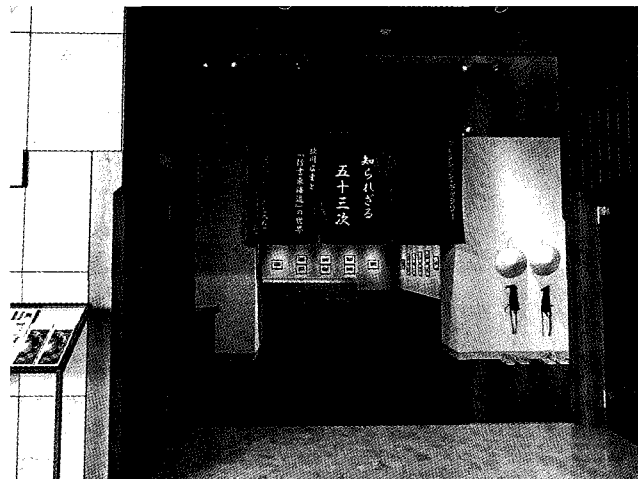
高校生は毎週土曜日、こどもの日(5/5)が無料

()内は10名以上の団体の割引料金

歌川広重(1797/寛政9～1858/安政5)は、江戸時代末期に活躍した浮世絵師。とりわけ名所絵の分野において画才を発揮して人気を博し、今日では“風景版画の完成者”として、国内外で高い評価を得ている。広重がその名声を確立するきっかけとなった作品に、《東海道五拾三次(保永堂版)》がある。東海道各地の情景を巧みな構図と色遣いによって描き連ねたこのシリーズは、広く評判を呼んだ。そしてこれ以後、広重は世の求めに応じるようにして、東海道を主題としたいくつものシリーズを相次いで発表したのである。

《東海道五十三次(行書版)》(通称「行書東海道」)はそうした後継シリーズのうちのひとつで、1842(天保13)年頃に出版された。簡略化された軽快なタッチやほのぼのとした味わいに特徴があり、保永堂版とはまた異なる魅力を備えている。

本展では、こうした「行書東海道」シリーズ全55点を一堂に紹介した。各地の名物や旅人の表情にも目を凝らしながら、江戸・日本橋から京都まで、五十三の宿駅をめぐるような旅景色を案内。江戸の旅人の仮装ができる撮影コーナーも設け入場者の関心と呼び、特別展の観覧者の多くがコレクション・ギャラリーも鑑賞した。



会場風景

出品目録

No.	作品名	No.	作品名	No.	作品名	No.	作品名
1	日本橋	15	吉原	29	見附 天龍川舟渡し	43	桑名 海上七里ノ渡口
2	品川 鮫洲朝之景	16	蒲原 岩渕よりふじ川を見る圖	30	濱松 ざゝんざの松	44	四日市 参宮道追分之圖
3	川崎 六郷の渡し舟	17	由井 かち渡り ゆひ川の圖	31	まい坂 今切海上舟渡	45	石薬師
4	加奈川 浅間下より臺を見る圖	18	興津 田子の浦 清見か関	32	荒井 海上壱り半 舟渡之圖	46	庄野 人馬宿継之圖
5	程ヶ谷 新町入口	19	江尻 清水之湊遠望	33	白須賀 汐見坂風景	47	亀山
6	戸塚	20	府中 あべ川遠景	34	二川 猿が馬場之圖	48	関 旅籠屋見世之圖
7	藤澤	21	鞠子	35	吉田 豊川吉田橋	49	坂の下 筆捨山眺望
8	平塚 馬入川舟渡しの圖	22	岡部 宇津の山之圖	36	御油	50	土山 すゞか山雨中之圖
9	大磯	23	藤枝 瀬戸川歩行渡	37	赤阪	51	水口
10	小田原 酒匂川かち渡し	24	嶋田 大井川駿岸	38	藤川 山中宿商家	52	石部
11	箱根 (伊豆相模両国境)	25	金谷 大井川遠岸	39	岡崎 矢はぎのはし	53	草津
12	三嶋	26	日阪 小夜の中山夜啼石 無間山遠望	40	池鯉鮒	54	大津
13	沼津 名物鯉節を製す	27	かけ川 秋葉道追分之圖	41	鳴海 名物有松絞り店	55	京 三条大橋之圖
14	原 柏原立場ふじの沼	28	袋井	42	宮 熱田濱之鳥居		

* 作品はすべて、制作年は1842(天保13)年頃、技法・材質は木版・紙、寸法(縦×横)は19.5×26.0cm(中判錦絵)。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵(個人寄託)。

ようこそ、バルビゾン村へ

会期＝平成29年7月1日(土)－9月3日(日) 56日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円
中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
高校生は毎週土曜日が無料
北海道みんなの日(7月17日)は観覧無料
()内は10名以上の団体の割引料金

関連事業

ミュージアム・ミステリー2017サマー

「バルビゾン村へ行こう！」

日時＝8月6日(日) 午前10時30分～12時、午後2時～3時30分

会場＝当館コレクション・ギャラリーほか(小学生参加無料、
応募制)

＊「よりどりみどりがおかウィーク！」連携事業

パリから南東約60kmのところに位置する小さな村・バルビゾン。19世紀、フォンテーヌブローの森のはずれにある自然豊かなこの地に、多くの芸術家が集まった。バルビゾンで営まれる質素な暮らしや、草木の生い茂る素朴な風景が、彼らの心をとらえたのである。のちにバルビゾン派と呼ばれる彼らは、産業革命の影響下で利便性を追求する都市からは距離を置き、あるがままの自然を描いていった。

本展では、バルビゾン派の画家をはじめ、のどかな自然を愛してやまなかった芸術家たちが、田園風景をとらえた19世紀の絵画や写真を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	アレクサンドル・ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0×68.0
2	ジャン＝フランソワ・ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0×34.0
3	ジャン＝フランソワ・ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2×25.0
4	ジュール・デュプレ	ベリー地方の農家	1830代	油彩、キャンバス	45.7×67.3
5	シャルル＝エミール・ジャック	蹄鉄場	1865	エッチング、紙	12.8×19.3
6	シャルル＝エミール・ジャック	オランダ牛	19世紀後半	エッチング、紙	11.0×17.9
7	シャルル＝エミール・ジャック	雄鶏と雌鶏	19世紀後半	エッチング、紙	12.1×17.0
8	シャルル＝エミール・ジャック	水飲み場	19世紀後半	エッチング、紙	14.5×21.0
9	シャルル＝エミール・ジャック	豚飼いの少年	19世紀後半	エッチング、紙	11.5×17.7
10	フランソワ＝ルイ・フランセ	風景－丘陵の牛	1859	パステル、紙	54.7×82.6
11	カール・ボドメール	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩、キャンバス	101.0×81.0
12	カール・ボドメール	鳥の水場	19世紀後半	リトグラフ、紙	48.8×34.4
13	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4×100.4
14	コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6×99.7
15	アルフレッド・ド・クニフ	春の水辺	1875頃	油彩、キャンバス	75.0×150.4
16	レオンス・シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンバス	32.0×47.5
17	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼い	1872	油彩、キャンバス	69.1×99.8
18	テオドール・ルソー	ビオーの平原	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	21.8×27.7
19	ジャン＝バティスト＝カミュー・コロ	植林された平野	1866	エッチング、紙	10.0×13.0
20	シャルル＝フランソワ・ドービニー	オーヴェールのりんごの木	1877	エッチング、紙	14.0×23.9
21	レオン・リッシュ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7
22	ウジェーヌ＝アントワヌ・ラヴィエイユ	村の眺め	19世紀後半	油彩、板	32.8×56.0
23	シャルル・ファマン	荷馬車	1874頃	鶏卵紙プリント	12.0×17.4
24	シャルル・ファマン	沼地	1874頃	鶏卵紙プリント	20.3×25.9
25	シャルル・ファマン	ダニョーの沼	1874頃	鶏卵紙プリント	19.3×25.0
26	シャルル・ファマン	羊の群れ	1874頃	鶏卵紙プリント	11.4×16.4
27	アシーユ・キネ	自然の習作 家屋	1868頃	鶏卵紙プリント	24.2×19.7
28	アシーユ・キネ	自然の習作 羊	1868頃	鶏卵紙プリント	19.0×24.8
29	アシーユ・キネ	自然の習作 農夫	1868頃	鶏卵紙プリント	19.2×24.3
30	アシーユ・キネ	自然の習作 小路	1868頃	鶏卵紙プリント	24.7×19.2

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵（No. 11, 14, 21は帯広市寄託）。

生誕120年 能勢眞美

会期＝平成29年 9月12日(火)～11月12日(日) 55日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日が無料

開館記念日(9月22日)、芸術週間(11月1日～11月7日)は観覧無料

()内は10名以上の団体の割引料金

関連事業

ワークショップ「大人の油絵入門：風景画編」

講師＝中西堯昭氏(画家)

日時＝9月16日(土)、9月17日(日) 午前10時～午後3時

会場＝当館講堂、コレクション・ギャラリー(参加料500円、応募制)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

キッズ・ミュージアム「木を描こう」

日時＝10月21日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

キッズ・ツアー

講師＝蘭部容子(当館主任学芸員)

日時＝11月4日(土) 午後2時～2時30分

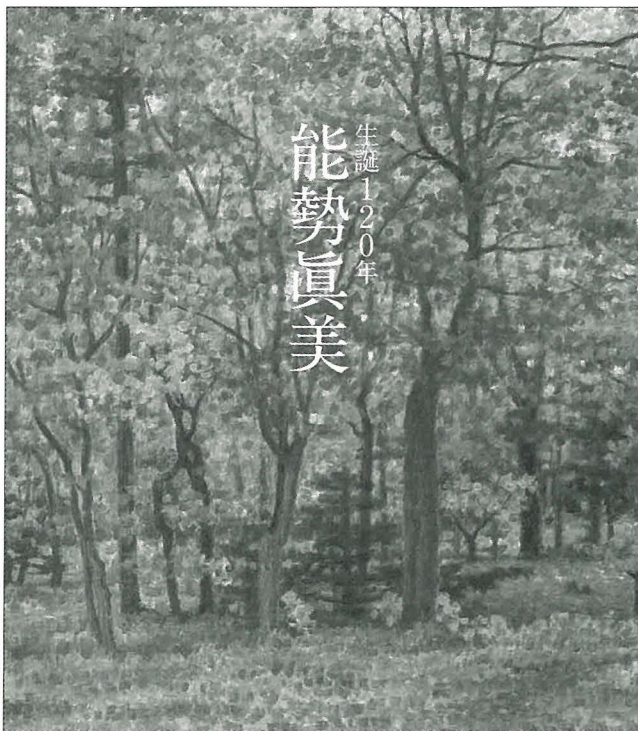
会場＝当館コレクション・ギャラリー(参加無料)

能勢眞美(1897～1982)は、緑ゆたかな自然の風景を描いた、北海道を代表する洋画家。白老に生まれ少年期に札幌に移った画家は、札幌中学(現・札幌南高校)で北海道における黎明期の油絵を育んだ林竹治郎の教えを受け、1925(大正14)年28歳で北海道美術協会(道展)の創立に参加した。戦前は、水辺の風景や雪の情景を、帝展や道展に発表している。戦後、健康上の理由から妻の出身地である帯広に移住。十勝地方の明るい光と空気の中、微細に移ろう樹木や草花を丹念に写實的に描き、日展や一水会、道展などで活躍した。晩年、車椅子の生活になってからは、自宅前の自然を四季折々に取り上げている。気さくな人柄もあって多くの人に慕われ、後進に大きな影響を与えた。

本展では、前年度当館に寄贈いただいた《ゴルフを遊ぶ庭》をはじめ、近年帯広に里帰りした《緑陰の佇》もお借りして、帯広で初公開となるこの2作品を含め、生誕120年を迎える能勢眞美の画業を振り返った。



会場風景



2017年9月12日(火)～11月12日(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時(帯広館・小入館は午後4時30分まで)

ただし、会期中の休館日は午後5時開館

休館日/月曜日(ただし9/18、10/9、11/6は開館)、9月19日(火)、10月10日(火)

観覧料 一般260(210)円、高大生150(110)円

()内は中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、

障害者手帳をお持ちの方などは無料、高校生は毎週土曜日が無料、開館記念日(9/22)・芸術週間(11/1～11/7)は観覧無料

会場 北海道立帯広美術館 コレクション・ギャラリー

主催 北海道立帯広美術館

新収蔵《ゴルフを遊ぶ庭》初公開

北海道立帯広美術館
Hokkaido Ohihiro Museum of Art

〒080-0846 帯広市緑ヶ丘5番地 緑ヶ丘公園 TEL 0155-22-6062

http://www.dob-yoku-pre.hokkaido.go.jp/080-0846/2006220000.htm

https://www.facebook.com/dobhms

※施設ご訪問の際は、0155-22-6062までお問い合わせください

チラシ

出品目録

No.	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	ゴルフを遊ぶ庭	1931 (昭和6)	油彩、キャンバス	130.5×193.5
2	池畔雪景	1933 (昭和8)	油彩、キャンバス	130.5×162.3
3	初秋池畔	1942 (昭和17)	油彩、キャンバス	96.5×106.0
4	自画像	1948 (昭和23) 頃	油彩、キャンバス	41.4×32.2
5	坐婦	1937 (昭和12)	油彩、キャンバス	128.5×79.3
6	樹木と池	制作年不詳	油彩、キャンバス	27.3×40.9
7	樹庭	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	148.0×91.0
8	緑陰の佇	1955 (昭和30)	油彩、キャンバス	100.0×73.0
9	春近き日	1960 (昭和35)	油彩、キャンバス	65.0×100.0
10	木々	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	162.1×130.3
11	疎林初秋	1967 (昭和42)	油彩、キャンバス	97.0×162.0
12	門のある風景	1962 (昭和37)	油彩、キャンバス	116.5×91.0
13	樹列	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	145.5×89.5
14	涼夏	1972 (昭和47)	油彩、キャンバス	96.8×145.5
15	秋日	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	61.5×92.5
16	樹草	1973 (昭和48)	油彩、キャンバス	97.0×145.5
17	草木の径	1973 (昭和48)	油彩、キャンバス	89.0×130.0
18	はまなす	1953 (昭和28)	水彩、紙	36.0×25.5
19	千島スケッチ	1943-45 (昭和18-20) 頃	インク、紙	18.0×25.7
20	大津にて	1961 (昭和36)	水彩、紙	29.0×37.0
21	木々	1967 (昭和42)	水彩、紙	44.5×51.5
22	春近き日	1961 (昭和36)	水彩、紙	24.0×51.7

* 寸法は縦×横。

* No. 8は十勝毎日新聞社蔵、その他は北海道立帯広美術館蔵 (No. 3, 6, 12, 13, 15, 17, 18, 20-22は帯広市寄託、No. 14 は個人寄託)。

北海道・道東ぐるり旅

会期＝平成29年11月25日(土)－平成30年2月25日(日) 75日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

関連事業

ミュージアム・ミステリー2017ウィンター

「ぐるり道東 旅の絵日記」

日時＝12月9日(土) 午前10時30分～12時

会場＝当館コレクション・ギャラリー(小学生参加無料、応募制)



会場風景

北海道の東部、十勝・釧路・根室・オホーツクの4つの管内にまたがる道東地方。日高山脈および大雪山系、そしてオホーツク海と太平洋に囲まれたこの地方は、おおむね寒冷小雪な気候を特徴とする。広大な大地と峻厳な山脈、豊穡な海を有し、厳しく寒い冬と短いながらも生命の躍動する夏、またその間の変化にあふれた春と秋を、人々は土地に根差して暮らしている。

当館は、開館以来「道東の美術」をコレクションの柱のひとつとして来た。美術家たちそれぞれが生まれ育った、または在住し生活を営む道東の自然や風物、そして光と空気を、写実的に、あるいは心象を投影しながら、あるいは情感豊かに表現している。さまざまな表情を持つ道東地方をめぐるような気持ちで、展覧会を鑑賞いただいた。

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	八鍬一郎	糠平の風景	1956 (昭和31)	油彩、キャンバス	50.0×60.6
2	伊藤隆二	曇り日	1932 (昭和7)	油彩、キャンバス	53.1×72.9
3	長尾栄三	山脈の見える風景	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	145.4×112.4
4	中西堯昭	凍林	1988 (昭和63)	油彩、キャンバス	130.3×162.1
5	熊代弘法	ウベサンケ山	1969 (昭和44)	油彩、キャンバス	130.7×145.7
6	神田日勝	瘦馬	1956 (昭和31)	油彩、板	52.3×61.0
7	望月正男	暮雪	1956 (昭和31)	油彩、キャンバス	97.2×145.7
8	羽生 輝	晩照 (悠々釧路湿原)	2014 (平成26)	岩絵具、板	181.5×227.1
9	高坂和子	叢・秋の幻影	2004 (平成16)	油彩、キャンバス	130.7×162.1
10	池田良二	Time of frozen ground (凍土の時)	1990 (平成2)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	114.0×180.0
11	池田良二	Architecture on the cape (岬の上の家)	1989 (平成元)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	37.0×53.0
12	阿部貞夫	くまげらと摩周	1958 (昭和33)	木版、紙	37.9×27.0
13	手島圭三郎	しまふくろう・なく	1990 (平成2)	木版、紙	53.0×75.0
14	田中 良	そよぐ	1997 (平成9)	油彩、キャンバス	162.1×130.5
15	松本早苗	午後のひざしの中で…	2006 (平成18)	水彩、水彩紙	91.0×116.7

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵 (No. 1, 2, 6は帯広市寄託)。

奇想天外 ―プリントアートの世界

会期＝平成30年 4月7日(土)－6月17日(日) 62日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上、高校の教育活動としての観覧、
障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

日本の版画は、1950年代に世界的に高い評価を確立し、60年代半ばになると新たな展開が次々と見られるようになった。嚟囀や磯辺行久らによって、シルクスクリーンを駆使するなどした大型作品が制作されるようになり、それらは斬新な表現とあいまって版画の概念を覆す革新的なものとして注目を集めた。また、この時期は写真製版を用いた作品が盛んに制作されるようになり、近年ではコンピューターやカラーコピーなど、日々進歩を遂げつつある技法を積極的に取り入れた意欲作が次々と制作されている。

こうした作品は、画像を複数化することのできる各種の技法と手作業によって、作者固有の表現を追求したもので、伝統的な版画という概念を超えたプリントアートと呼ぶにふさわしいといえよう。本展では、美術家たちの柔軟な発想により、奇想天外な表現が試みられているプリントアートの秀作を、当館の所蔵品から選りすぐって鑑賞いただいた。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法（縦×横cm）
1	磯辺行久	江戸障壁	1965（昭和40）	ミクストメディア（シルクスクリーン、レリーフプリント、紐、アクリル板、木、紙）	200.2×299.0
2	森村泰昌	寒雀寒鳩（御舟）	1990（平成2）	カラー写真プリント、印画紙	132.9×97.8
3	渋谷栄一	5-A	1993（平成5）	カラーコピー、紙	27.9×142.6
4	渋谷栄一	5-B	1993（平成5）	カラーコピー、紙	27.7×135.8
5	嚟 囀	オープニング或いは再び田園	1992（平成4）	シルクスクリーン、紙	各105.0×157.0（2点組）
6	横尾忠則	ブルー・ワンダーランド	1973（昭和48）	シルクスクリーン、紙	各103.2×72.6
7	ジェームズ・ローゼンクvist	火の家	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスド・ペーパー、パルプ（着彩手漉き紙）	138.4×304.2
8	デイヴィッド・ホックニー	グランド・キャニオンの北側を見る 1982年9月	1982	フォト・コラージュ（写真、印画紙）	114.0×252.7
9	奥野稔和	94V-0202X	1994（平成6）	タイプCプリント	100.0×185.0
10	郭 徳俊	レーガンと郭	1981（昭和56）	シルクスクリーン、紙	53.8×37.2
11	郭 徳俊	ブッシュ（父）と郭	1989（平成元）	シルクスクリーン、紙	53.9×37.8
12	郭 徳俊	ブッシュ2001と郭	2001（平成13）	シルクスクリーン、紙	55.0×36.2
13	郭 徳俊	オバマと郭	2009（平成21）	シルクスクリーン、紙	51.3×36.8
14	島 州一	ゲバラ	1972（昭和49）	シルクスクリーン、布	104.2×121.3
15	出店久夫	磯岩石通走図 〈A Fugue from the Sea〉	2005（平成17）	ゼラチンシルバート、寒冷紗、パネル	155.0×624.0 （3点組、各155.0×208.0）

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

絵具の国 ―抽象表現の試み―

会期＝平成30年 6 月30日(土)－12月 2 日(日) 128日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日が無料

北海道みんなの日(7月17日)と開館記念日(9月22日)、
芸術週間(11月1日～11月7日)は観覧無料

()内は10名以上の団体の割引料金

関連事業

ミュージアム・ミステリー2018サマー

「はじめてのチュウショウ画」

日時＝7月28日(土) 午前10時30分～12時

会場＝当館コレクション・ギャラリー、講堂(小学生参加無料、
応募制)

キッズ・ツアー

日時＝8月4日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館コレクション・ギャラリー(要観覧券、中学生以下
無料)

絵画が対象の再現・描写を離れて、形や色そのもの、あるいは感情や雰囲気といった目に見えないものを表現することが広く行われるようになったのは、20世紀初頭のこと。写真の普及とも相まって、絵画は記録者としての役割を一手に引き受ける必要がなくなった。ピカソやカンディンスキー、モンドリアンといった先駆者以降、抽象表現が現代絵画の主要な表現のひとつ



会場風景

つとなったのである。日本においても、西洋のこうした動向は大正から昭和戦前期(1920～30年代)には流入し、表現主義やキュビズム、未来派など広い意味での抽象に影響を受けたアクション、マヴォといった団体が勃興し、恩地孝四郎や三岸好太郎らが活躍した。

当館が位置する十勝地方において、抽象表現の萌芽が認められるようになるのは戦後に入ってからのこと。昭和30年代(1955～64)に寺島春雄らが対象をデフォルメした形態を描いており、その後、絵具の荒々しいタッチや色彩の力強さを追求した作品が登場してきた。こうした“熱い抽象”の一方で、幾何学的形態で抽象表現を試みる“冷たい抽象”作品も描かれている。所蔵作品によって抽象表現の動向すべてを追える訳ではないが、本展覧会では、絵具の生み出す形態のダイナミズムや色彩の力、画家が作品に込めた目に見えぬ思いなどを感じていただいた。

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	浅川 茂	流れー留まる	2012 (平成24)	油彩、キャンバス	45.5×37.9
2	浅川 茂	沈む地	2010 (平成22)	油彩、板	46.3×37.2
3	矢柳 剛	ブラジルの叫び	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	196.6×119.5
4	楢原武正	無題	1980 (昭和55)	油彩、キャンバス	183.5×259.0
5	楢原武正	大地／開墾 '93-A	1993 (平成5)	塗料、麻布、金属、廃品、釘、針金、トタン板	230.7×186.0
6	楢原武正	作品“赤”	1984 (昭和59)	塗料、釘、針金、トタン板	180.0×180.0
7	寺島春雄	深淵の声	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	130.7×162.5
8	武田伸一	凍土	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	182.0×229.0
9	寺島春雄	黒の凶地	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	130.9×194.2
10	寺島春雄	吃り勲章陳情	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	162.0×130.8
11	楢原武正	子供の国	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	181.5×227.5
12	近藤みどり	慰する旅人 I	2004 (平成16)	油彩、キャンバス	182.0×227.5
13	梅田マサノリ	compensation of balance #6	1995 (平成7)	アクリル絵具、石膏、キャンバス	90.8×99.8
14	森 健二	光年のメロディー No.3	1968 (昭和43)	油彩、キャンバス	130.5×162.5

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵 (No. 8は帯広市寄託、No. 12は個人寄託)。

描かれた物語

会期＝平成30年12月15日(土)－平成31年 3月31日(日) 80日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日が無料

()内は10名以上の団体の割引料金

絵画は、古くから神話や歴史書、文学、詩などに着想を得て、その世界を造形化してきた。それらの作品は、時に内容の理解を助ける役割を果たし、また時には言葉で表現されたもの以上に見る者の感情に訴えかける、独立した表現世界を展開している。

本展では、当館のコレクションから聖書や神話、詩、文学などを題材にした作品により、豊かな表現の広がりを紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	レンブラント・ファン・レイン	羊飼いに現れた天使	1634	エッチング、紙	25.2×21.5
2	レンブラント・ファン・レイン	エマオのキリスト	1654	エッチング、紙	20.9×15.7
3	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	ひざまづくマグダラのマリア	1858	クリシェ＝ヴェール、紙	16.5×11.4
4	増田 誠	ギリシャ神話 ゼウス	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	34.9×26.6
5	増田 誠	ギリシャ神話 バルナッソス山とムーサたち	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.3
6	増田 誠	ギリシャ神話 トロイの馬	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	33.5×24.9
7	増田 誠	ギリシャ神話 ゼウスとエウロペ	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	25.0×33.1
8	増田 誠	ギリシャ神話 ヘラクレスとクレタの牡牛	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.0
9	増田 誠	旧約聖書 バベルの塔	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	33.0×24.3
10	増田 誠	旧約聖書 紅海	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.5
11	増田 誠	旧約聖書 十戒	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	33.0×24.3
12	増田 誠	旧約聖書 エリコの陥落〈主の契約の箱〉	1976(昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.6
13	中谷有逸	碑・古事記 (一つが二つ)	2008(平成20)	ステンシル版、パネル	145.7×112.0
14	中谷有逸	碑・古事記 (建・御雷神)	2011(平成23)	ステンシル版、パネル	112.2×145.8
15	中谷有逸	碑・古事記 (二人)	2008(平成20)	ステンシル版、パネル	162.0×130.4
16	中谷有逸	碑・古事記 (アマノイワト考)	2009(平成21)	ステンシル版、パネル	145.5×112.2
17	矢柳 剛	飛んだえんびつ まどの水	1982(昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
18	矢柳 剛	飛んだえんびつ にじ	1982(昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
19	矢柳 剛	飛んだえんびつ 星	1982(昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
20	矢柳 剛	飛んだえんびつ 青い空のような花	1982(昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
21	矢柳 剛	飛んだえんびつ ぶた	1982(昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
22	矢柳 剛	飛んだえんびつ バレンタインデー	1982(昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
23	矢柳 剛	飛んだえんびつ おとうさんのちんこ	1982(昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
24	矢柳 剛	飛んだえんびつ 飛んだえんびつ	1982(昭和57)	シルクスクリーン、紙	38.7×38.7
25	中谷有逸	碑 (羅生門)	1996(平成8)	凹凸併用版、アルミ、銅、鉛、紙	186.4×186.5
26	矢柳 剛	古事記 II	1976(昭和51)	油彩、アクリル絵具、キャンバス	162.0×130.7
27	増田 誠	風車とドン・キホーテ	1982(昭和57)	油彩、キャンバス	45.5×37.9

特別展一覧

平成29年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主催・後援ほか	備 考
1	帯広美術館コレクション選 見る、感じる、アートのチカラ	4月29日(土)～ 6月18日(日)	44	主催＝北海道立帯広美術館 協賛＝帯広信用金庫、(株)ズコーシャ	
2	放浪の天才画家 山下 清展	7月1日(土)～ 9月3日(日)	56	主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、 帯広市教育委員会、北海道新聞 社、山下清展実行委員会 協力＝山下清作品管理事務局 企画協力＝ステップ・イースト	
3	追悼特別展 高倉 健	9月12日(火)～ 11月12日(日)	55	主催＝北海道立帯広美術館、高倉健展 実行委員会、十勝毎日新聞社、 NPO十勝文化会議、毎日新聞社 後援＝十勝管内各教育委員会 特別協力＝高倉プロモーション 協力＝一般社団法人日本映画製作者連 盟 特別協賛＝健康家族 協賛＝帯広信用金庫、帯広ハイヤー、 キクミ、共成レンタム、サカタ インクス、札幌新聞輸送、サン キット・エーイー、須田製版、 JDアローズ、損害保険ジャパ ン日本興亜株式会社東北海道支 店帯広自動車法人支社、太平ホー ム北海道帯広支店、竹川会計事 務所、第一生命保険株式会社帯 広支社、DICグラフィックス、 東京機械製作所、東洋印刷、十 勝信用組合、十勝バス、中井会 計事務所、日本新聞インキ、日 本生命、藤丸、富士フイルムグ ローバルグラフィックシステム ズ、北海道拓殖バス、まりもハ イヤー、三井住友海上火災保険 株式会社	
4	FACE／わたしとあなた ーアフリカン・マスクから舟越桂まで	11月25日(土)～ 2月25日(日)	75	主催＝北海道立帯広美術館 特別協賛＝帯広大谷短期大学 協賛＝帯広信用金庫、北海道クリーン・ システム株式会社帯広支店	

平成30年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主催・後援ほか	備 考
1	ナショナル ジオグラフィック 写真展 地球の真実	4月7日(土)～ 6月17日(日)	62	主催＝北海道立帯広美術館 協力＝日経ナショナル ジオグラフィック 社、キャノンマーケティングジャ パン株式会社、富士フィルム株式 会社 企画協力＝株式会社クレヴィス	
2	魔法の美術館	6月30日(土)～ 9月5日(水)	59	主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館 振興会、魔法の美術館実行委員会 後援＝十勝毎日新聞社、北海道新聞帯広 支社 協賛＝帯広美術館ボランティア「しらか ばの会」 企画協力＝ステップ・イースト	
3	北海道150年事業 アートギャラリー北海道 神田日勝と道東の画家たち & 岡沼淳一・木彫の世界	9月15日(土)～ 12月2日(日)	69	主催＝北海道立帯広美術館 協力＝神田日勝記念美術館 特別協賛＝帯広信用金庫、帯広大谷短期 大学 協賛＝東北海道日野自動車株式会社、北 海道クリーンシステム株式会社帯 広支店、FLOWMOTION café and gallery	
4	北海道150年事業 松浦武四郎 生誕200年記念 幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	12月15日(土)～ 2月11日(月・祝)	46	主催＝松浦武四郎展実行委員会（北海道 立帯広美術館、帯広市、帯広市教 育委員会、十勝毎日新聞社、NPO 十勝文化会議） 共催＝松浦武四郎記念館 協力＝松阪市 協賛＝共成レンテム、北洋銀行、帯広信 用金庫、帯広ビル管理会社、株式 会社パル・コーポレーション、株 式会社マテック、クレオユニオン 株式会社、損保保険ジャパン日本 興亜、竹川会計事務所、東洋印刷、 凸版印刷株式会社、中井会計事務 所、日本生命、三井住友海上火災 保険株式会社、藤丸、北海道拓殖 バス、帯広ハイヤー、株式会社中 島自工 後援＝公益社団法人北海道アイヌ協会	
5	北海道のオール・ブリュット こことこころの交差点	2月21日(木)～ 3月31日(日)	34	主催＝北海道アールブリュットネットワ ーク協議会、北海道立帯広美術館 協力＝社会福祉法人帯広福祉協会、北海 道教育大学岩見沢校美術文化専攻 アートマネジメント美術研究室 後援＝帯広市、NHK 帯広放送局、十勝 毎日新聞社、北海道新聞帯広支社 特別協賛＝宮坂建設工業株式会社 協賛＝愛灯学園家族会、愛灯学園利用者 の会、アムス、NC おびひろ、株 式会社 LOC、エル・ティー・エ ス株式会社、帯広信用金庫、株式 会社帯広中央ビル、帯広福祉協会 職員親交会、株式会社サエキ、総 合防災株式会社、株式会社曾我、 ティーケーコーポレーション、東 洋印刷株式会社、東洋通工株式会 社、十勝信用組合、日専連 ジェミ ス、フジ防災株式会社、北海道ク リーンシステム株式会社帯広支店、 有限会社前川工務店、ゆはら自動車	

帯広美術館コレクション選 見る. 感じる. アートのチカラ

会期＝平成29年 4月29日(土)－ 6月18日(日) 44日間
主催＝北海道立帯広美術館
協賛＝帯広信用金庫、(株)ズコーシャ

観覧料＝一般510(410)円、高大生300(250)円
()は10名以上の団体、リピーター割引料金
中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

関連事業

キッズ・ツアー

講師＝光岡幸治(当館学芸課長)
日時＝5月6日(土) 午後2時～2時30分
会場＝当館主展示室(要観覧券)

ギャラリー・ツアー

講師＝光岡幸治(当館学芸課長)、野田佳奈子(当館学芸員)
日時＝5月27日(土)、6月10日(土) 各日午後2時～2時40分
会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム「楽しい絵ざら時計」

日時＝6月3日(土) 午後1時30分～3時30分
会場＝当館講堂(託児無料)
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

アトリエ・ふらっと♪

(スタンプで絵を描いたり、ぬり絵の体験ができる、
簡単な造形あそびのコーナー)
期間＝展覧会会期中
会場＝当館ロビー(参加無料)

ロビー・カフェ～美術館でお花見

(期間限定メニューのさくらティーなどを用意した)
日時＝5月3日(水)～5月7日(日) 午前11時～午後2時
会場＝当館ロビー
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

帯広美術館
コレクション
選

見る
感じる
アートのチカラ

Power of Art - Selected Works from Our Collection

何が見えますか？何を感じますか？

2017.4.29(土) ▶ 6.18(日)

観覧料／一般 510(410)円、高大生 300(250)円
小学生以下 10名以上の団体、リピーター割引あり
中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

北海道立帯広美術館
帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

ポスター

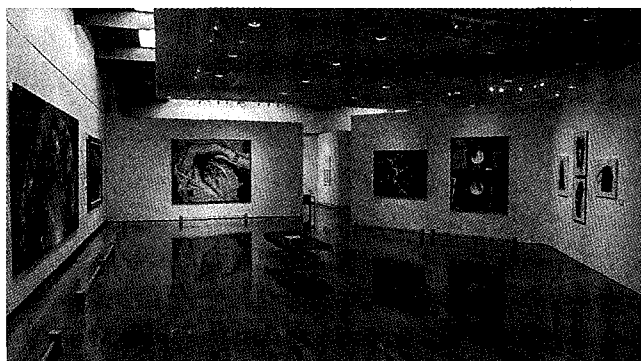
関連記事

石川友史「アートのチカラ感じて 帯広美術館 企画展が開幕」
十勝毎日新聞／5月2日(火)
中島佑斗「アートのチカラ 多彩70点 帯広美術館で特別展開催中」
十勝毎日新聞／5月18日(木)
稲塚寛子「作者の思い 心に響け 帯広美術館『見る 感じる アートのチカラ』」
北海道新聞(帯広・十勝版・夕刊)／5月18日(木)
「作品に心を重ねて対話を楽しもう」週刊 fit／5月26日号

美術の現場で語られる「力(ちから)」ということばは「表現力」、「写実力」、「デザイン力」などの様々な用語につなげて用いられている。しかしアートから伝わる「力」は、それらのみならず作品の造形や色彩表現が鑑賞者の心の中に伝わり広がる力、遠い記憶を呼び起こし別世界にいざなうような力など、幅広く、様々な意味が含まれている。

この展覧会は当館の所蔵品から約70点を選びすぎり、二つの

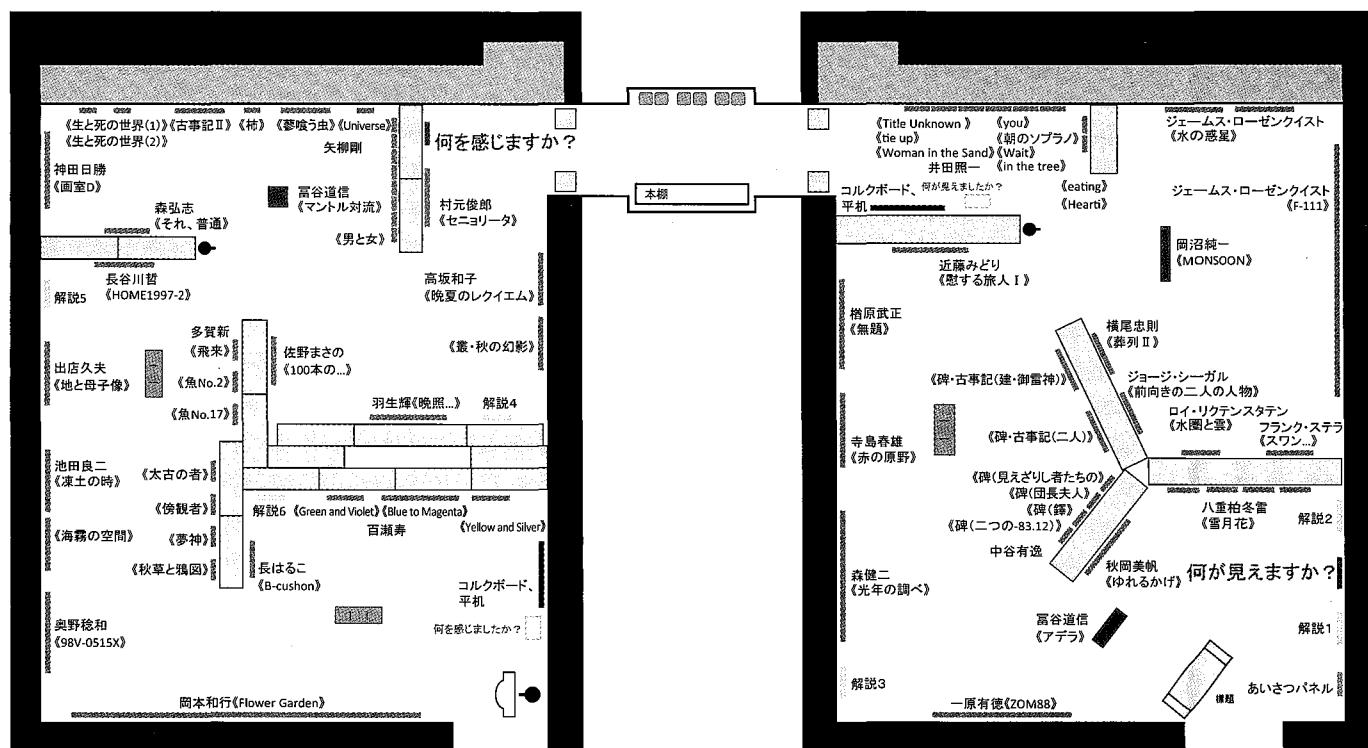
テーマを通じて美術に親しむことを狙いとした。展示は「何が見えますか?」「何を感じますか?」という二つのコーナーで構成し、何が見え何を感じるかを糸口に、アートが持つさまざまなチカラを提示。観覧者が出品作品の形態、色彩などから点描、線描やモチーフなどの対象について観察し、それらの要素の組み合わせから喚起される事項や、連想される情感について関心を深める工夫をこらした。来館者数は2,560人。



会場風景



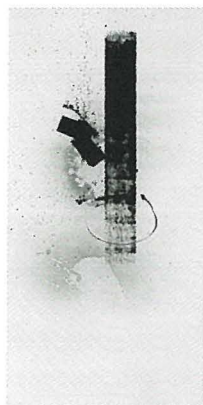
会場風景



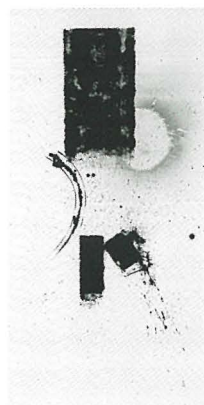
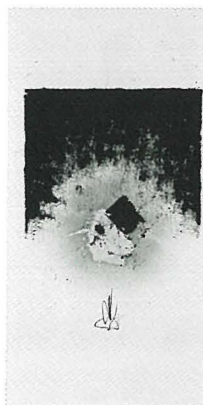
展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
■何が見えますか？					
1	八重柏冬雷	花鳥風月～寂韻の響き～	2012	墨、白抜き剤、和紙	各180.0×90.0 (4点組)
2	秋岡美帆	ゆれるかげ	1992	スクラップ (NECO)、麻紙	153.5×212.5
3	富谷道信	アデラの記憶	1980	木 (イチイ)	115.0×30.0×50.0
4	一原有徳	ZOM88	1988	モノタイプ (アルミ版)、鳥の子紙	151.0×425.0 (5点組)
5	檜原武正	無題	1980	油彩、キャンバス	183.5×259.0
6	森 健二	光年の導ベ	2002	油彩、キャンバス	194.0×391.5 (3点組)
7	寺島春雄	赤の原野	1959	油彩、キャンバス	131.0×194.3
8	近藤みどり	慰する旅人 I	2004	油彩、キャンバス	182.0×227.5
9	中谷有逸	碑 (見えざりし者たちの)	1988	凹凸併用版、紙	38.8×58.2
10	中谷有逸	碑 (二つの-83.12)	1983	凹凸併用版、紙	58.2×41.3
11	中谷有逸	碑 (団長夫人)	1984	凹凸併用版、紙	62.2×40.5
12	中谷有逸	碑 (鐸)	1976	凹凸併用版、紙	59.0×39.5
13	中谷有逸	碑・古事記 (二人)	2008	ステンシル版、キャンバス	162.0×130.4
14	中谷有逸	碑・古事記 (建・御雷神)	2011	ステンシル版、パネル	112.2×145.8
15	横尾忠則	葬列 II	1969 1985に再制作	シルクスクリーン、アクリルプレート	75.2×114.0×9.5
16	ジョージ・シーガル	前向きの二人の人物	1975	エッチング、アクアチント、紙	85.0×126.5
17	フランク・ステラ	スワン・エンブレヴィング、ブルー、 グリーン、グレー	1985	ミクストメディア (エッチング、レリーフ、 リント、紙)	169.0×133.0
18	ロイ・リクテンスタイン	睡蓮と雲	1992	シルクスクリーン、ステンレス	167.6×114.3
19	ジェームズ・ローゼンクイスト	F-111	1974	リトグラフ、シルクスクリーン、紙	92.8×737.6 (4点組)
20	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこ》 頭蓋のスナップ	1989	リトグラフ、コラージュ、エンボス、カラード・ プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	径151.1
21	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこ》 頭蓋のスナップ、ステート I	1989	リトグラフ、コラージュ、エンボス、カラード・ プレスト・ペーパー・バルブ (着彩手漉き紙)	径151.1
22	岡沼淳一	MONSOON	1988	埋もれ木 (ニレ)	185.0×44.3×190.0
23	井田照一	Woman in Sand No. 3	1965	リトグラフ、紙	44.5×53.0
24	井田照一	(無題)	1965	リトグラフ、紙	43.0×50.0
25	井田照一	Heart	1965	リトグラフ、紙	23.3×27.3
26	井田照一	tie up	1963	リトグラフ、紙	47.0×58.0
27	井田照一	you	1966	リトグラフ、紙	66.2×52.4
28	井田照一	in the tree	1966	リトグラフ、紙	66.4×52.6
29	井田照一	Wait	1966	リトグラフ、紙	50.3×62.5
30	井田照一	朝のソプラノ	1966	リトグラフ、紙	51.8×63.2
31	井田照一	eating	1965	リトグラフ、紙	42.0×30.5



1 八重柏冬雷「花鳥風月～寂韻の響き～」

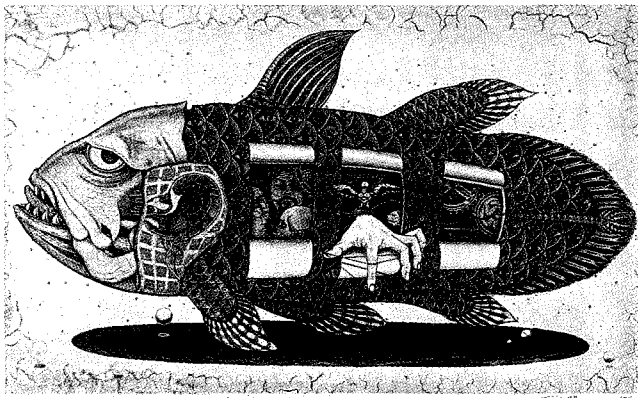


35 羽生 輝「晩照 (悠々釧路湿原)」

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
■何を感じますか？					
32	神田日勝	画室D	1967	油彩、板	163.3×183.0
33	高坂和子	叢・秋の幻影	2004	油彩、キャンバス	130.7×162.1
34	高坂和子	晩夏のレクイエム	1980	油彩、キャンバス	130.7×162.1
35	羽生 輝	晩照（悠々釧路湿原）	2014	岩絵の具、板	181.5×227.1
36	佐野まさの	100本のマッチの中で 最も美しい1本	1979	油彩、キャンバス	130.1×161.7
37	村元俊郎	セニョリータ	1991	油彩、キャンバス	130.5×162.0
38	矢柳 剛	生と死の世界（1）	1991	シルクスクリーン、手彩色、紙	76.8×57.0
39	矢柳 剛	生と死の世界（2）	1991	シルクスクリーン、手彩色、コラージュ、紙	79.7×57.0
40	矢柳 剛	男と女（1）	1977	シルクスクリーン、紙	37.1×52.7
41	矢柳 剛	男と女（3）	1977	シルクスクリーン、紙	36.2×53.0
42	矢柳 剛	男と女（6）	1977	シルクスクリーン、紙	38.8×53.7
43	矢柳 剛	男と女（2）	1977	シルクスクリーン、紙	52.1×37.8
44	矢柳 剛	男と女（4）	1977	シルクスクリーン、紙	51.9×37.0
45	矢柳 剛	男と女（5）	1977	シルクスクリーン、紙	52.0×37.5
46	矢柳 剛	男と女（7）	1977	シルクスクリーン、紙	52.6×38.4
47	矢柳 剛	男と女（8）	1977	シルクスクリーン、紙	53.0×38.8
48	矢柳 剛	Universe	1974	シルクスクリーン、紙	52.0×37.5
49	矢柳 剛	柿	1981	油彩、アクリル絵具、キャンバス	60.0×45.5
50	矢柳 剛	蓼喰う虫	1974	油彩、アクリル絵具、キャンバス	162.3×130.3
51	矢柳 剛	古事記Ⅱ	1976	油彩、アクリル絵具、キャンバス	162.0×130.7
52	森 弘志	それ、普通	1994-95	油彩、キャンバス	162.4×162.2
53	長谷川哲	HOME 1997-2	1997	写真、印画紙	86.3×148.5
54	出店久夫	地と母子像	2010-2011	ゼラチンシルバープリント、着彩、パネル	182.0×182.0
55	池田良二	Space of foggy ocean（海霧の空間）	1990	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	113.5×179.7
56	奥野稔和	98V-0515X	1998	インクジェットプリント、ポリフィルム	80.2×222.0
57	多賀 新	傍観者（自画像）	1974	エッチング、アクアチント、紙	24.0×21.3
58	多賀 新	秋草と鶴図	1998	エッチング、紙	36.5×24.0
59	多賀 新	太古の夢（ユニコーン）	1993	エッチング、アクアチント、紙	36.5×23.1
60	多賀 新	魚No2（食傷）	1978	エッチング、ルーレット、紙	26.7×36.5
61	多賀 新	夢神	1993	エッチング、紙	29.5×52.0
62	多賀 新	飛来	1977	エッチング、アクアチント、紙	48.0×36.5
63	多賀 新	魚 No.17（シーラカンス）	1979	エッチング、アクアチント、紙	36.5×60.0
64	岡本和行	Flower Garden	2009	インクジェットプリント、紙	各42.9×29.7（99点組）
65	長はるこ	B-cushion	1998	スキナグラフ（NECO）、ネパールロクタ紙	153.1×211.2
66	百瀬 寿	Square-Metallic Yellow and Silver	1984	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0
67	百瀬 寿	Square-Vertical Blue to Magenta	1981	スキナグラフ（NECO）、キャンバス	180.0×180.2
68	百瀬 寿	Square-Metallic Green and Violet	1984	シルクスクリーン、紙	90.0×90.0

* 寸法は平面作品が縦×横、立体作品は注記以外が幅×奥行×高さ。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



63 多賀 新「魚 No.17（シーラカンス）」

オビビ・キッズ・アートフェスタ

「ちぎり絵で山下清に挑戦!!」

日時＝8月5日(出) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂、コレクション・ギャラリー(参加無料、応募制)

主催＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、北海道立帯広美術館

*「よりどりみどりがおかウィーク!」連携事業

キッズ・ミュージアム

「おり紙キュービック」

日時＝9月2日(出) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

図録

規格＝30.1×22.6cm(A4判変形)／総頁数156ページ

構成＝ごあいさつ／山下浩『『山下清展』開催によせて』／「放浪の天才画家・山下清の真実」／図版・作品解説Ⅰ「少年期から放浪へ」、Ⅱ「放浪期から画家へ」、Ⅲ「円熟期から晩年へ」／山下清かく語りき／略年譜／作品リスト

関連記事

菌部容子「おびひろミュージアム通信『山下清作品一堂に』」

釧路新聞／6月26日(月)

稲塚寛子「放浪の足跡 作品に」北海道新聞／6月29日(休)

稲塚寛子「山下清展 一家で待望」北海道新聞／7月1日(出)

「放浪の生涯に迫る128点」北海道新聞(夕刊)／7月1日(出)

藤島諒司「天才画家・山下清 生涯作品を展示」十勝毎日新聞／7月1日(出)

「緻密な描写に感動」北海道新聞／7月3日(月)

菌部容子「放浪のまなざし 山下清展より 1～10」北海道新聞／7月11日(火)～15日(土)、17日(月)、19日(水)～22日(土)

広田まさの「山下清展 来場者5千人」北海道新聞／7月21日(金)

広田まさの「山下清展来場1万人を突破」北海道新聞／8月5日(出)

広田まさの「十勝フォトギャラリー 旅先の風景 色鮮やか」北海道新聞／8月24日(休)

山下清(1922～1971)は、昭和という激動の時代を歩んだ天才画家。極めて緻密な描写手法に基づきながらも、固有の素朴な美をたたえた彼の作品は、著名な芸術家をはじめとする多くの人々を魅了しつづけてきた。とりわけその代名詞として知られる貼絵は、彼が12歳から通った八幡学園において、教育の一環として手がけはじめたものだった。やがて18歳のころより、ときおり放浪に出かけるようになった彼は、ふらりと帰ったのち、放浪中の記憶をもとに絵の制作にとりくむようになった。戦後、1950年代半ば以降、国内外で注目を集めてからは、画家として各地を巡ってもいる。

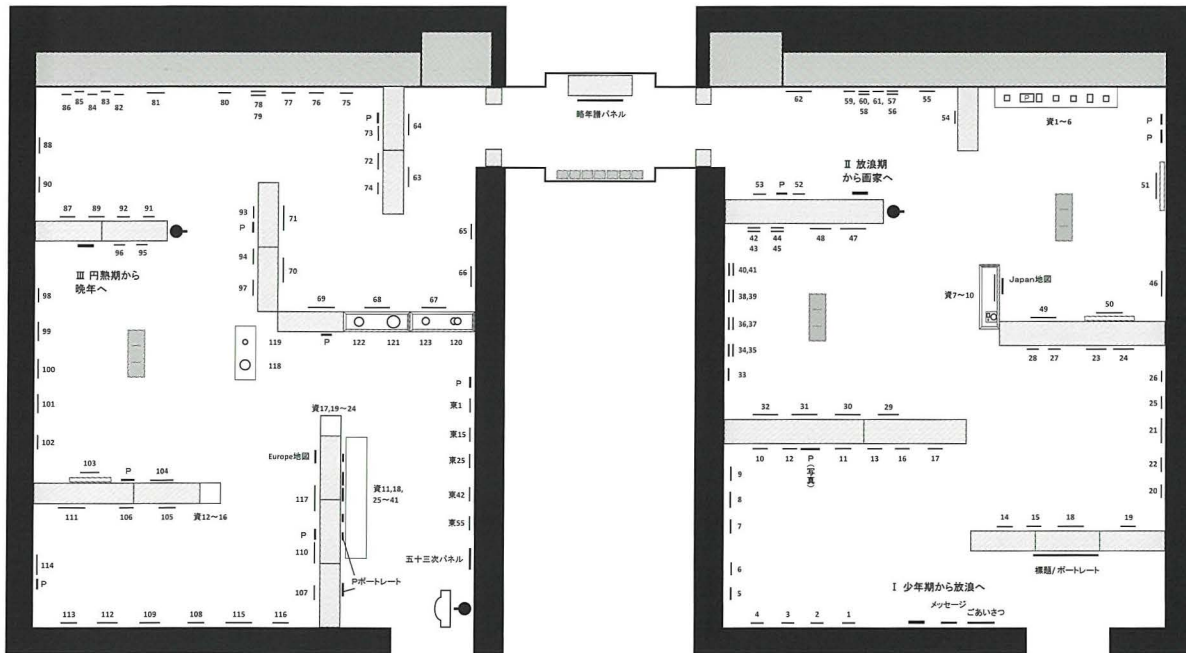
波乱に満ちたその人生は、映画やテレビドラマにもとりあげられ、美術の領域を超えて、幅広い層に親しまれてきた。そうして描かれてきたイメージは、しかしすべてが山下清の本当の姿ではないことを忘れてはならないだろう。この展覧会では、彼の代表的な貼絵に加え、ペン画、鉛筆画、油彩、陶磁器の絵付けなどの多彩な作品約130点とともに、彼が愛用した品々を展示。あわせて映像資料や、手記に記された言葉等も紹介し、山下清の生涯と芸術に迫った。多数の小中学校の団体見学や道内外からの来場者も多く、27,874人が鑑賞に訪れた。



会場風景



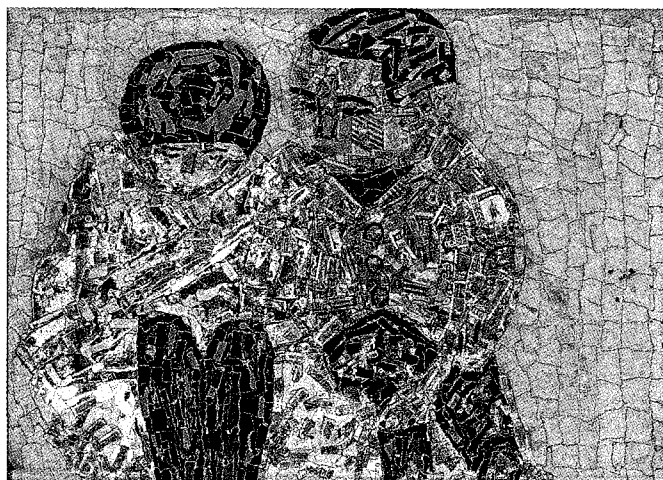
会場風景



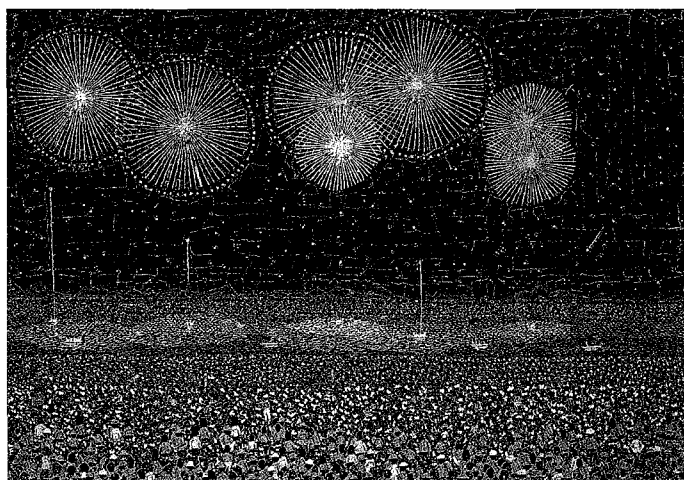
展示図面

出品目録

No.	作品名	制作年	種別	寸法 (cm)
I 少年期から放浪へ				
①少年期の山下清				
昆虫と清				
1	あしなが蜂	1934 (昭和9)	貼絵	13.0×19.5
2	蝶々	1934 (昭和9)	貼絵	12.0×17.0
3	ほたる	1934 (昭和9)	貼絵	12.0×17.5
4	せみ	1934 (昭和9)	貼絵	13.5×18.0
5	とんぼ	1934 (昭和9)	貼絵	12.0×17.0
6	蝶	1934 (昭和9)	貼絵	13.5×19.0
学園での出来事				
7	ラジオ体操	1936 (昭和11)	貼絵	29.0×37.5
8	餅つき	1935 (昭和10)	貼絵	28.0×37.0
9	剣道	1936 (昭和11)	貼絵	28.0×36.5
10	柔道	1937 (昭和12)	貼絵	29.0×38.0
11	寝る支度をしているところ	1936 (昭和11)	貼絵	27.5×36.5
12	身体検査	1937 (昭和12)	貼絵	29.0×37.0
13	就寝	1937 (昭和12)	貼絵	29.0×37.0
14	学校で活動写真を写している所	1938 (昭和13)	貼絵	28.0×36.5
15	ともだち	1938 (昭和13)	貼絵	24.0×33.0
16	農園	1937 (昭和12)	貼絵	29.0×37.5
17	雪だるま	1937 (昭和12)	貼絵	29.0×37.0
18	園芸作業	1939 (昭和14)	貼絵	58.5×76.0
風景画に生かされた清の静物画				
19	鉢花	1937 (昭和12)	貼絵	29.0×38.5
20	栗	1938 (昭和13)	貼絵	23.0×32.0
21	ゆり	1938 (昭和13)	貼絵	57.0×75.0
22	桜	1939 (昭和14)	貼絵	23.5×34.5
23	菊	1939 (昭和14)	貼絵	75.0×57.0
24	菊	1940 (昭和15)	貼絵	75.0×57.0
25	さるすべり	1940 (昭和15)	貼絵	25.0×30.5
26	もくれん	1940 (昭和15)	貼絵	30.0×24.0
27	アキノキリンソウ	1943 (昭和18)	貼絵	31.0×25.0
28	金せん花	1949 (昭和24)	貼絵	25.0×35.0



15「ともだち」

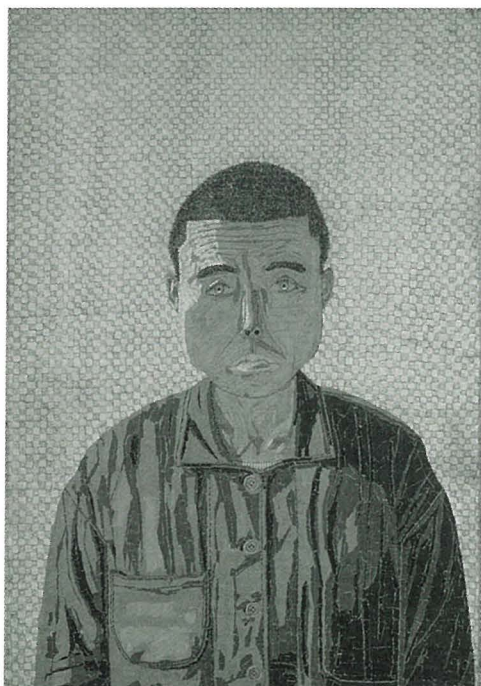


50「長岡の花火」

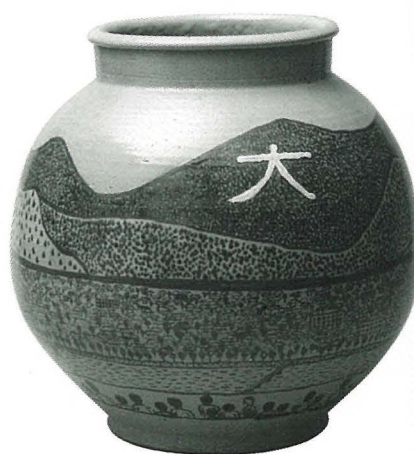
No.	作品名	制作年	種別	寸法 (cm)
②学園から飛び出して、放浪へ 戦争そして放浪へ				
29	観兵式	1937 (昭和12)	貼絵	38.0×58.5
30	軍艦	1938 (昭和13)	貼絵	57.5×76.0
31	高射砲	1938 (昭和13)	貼絵	58.0×76.0
32	鉄条網	1938 (昭和13)	貼絵	58.0×76.0
放浪の思い出				
33	学園から出かけるところ	1955 (昭和30)	鉛筆画	14.5×20.5
34	汽車道を歩いているところ	1954 (昭和29)	鉛筆画	14.5×20.5
35	袋井で夕飯を貰っているところ	1954 (昭和29)	鉛筆画	14.5×20.5
36	草津温泉の電車を歩いているところ	1954 (昭和29)	鉛筆画	14.5×20.5
37	トンネルをくぐる時のこと	1954 (昭和29)	鉛筆画	18.0×25.5
38	新しいリュックの中へ品物をしまうところ	1954 (昭和29)	鉛筆画	14.5×20.5
39	寝る時の事	1954 (昭和29)	鉛筆画	18.0×25.5
40	熱海の海岸の景色を見ながら歩いているところ	1954 (昭和29)	鉛筆画	14.5×20.5
41	水に溺れた時の事	1954 (昭和29)	鉛筆画	18.0×25.5
42	東海道線の島田で夕飯を貰いに行くところ	1954 (昭和29)	鉛筆画	14.5×20.5
43	易者に運勢を見て貰った時の事	1954 (昭和29)	鉛筆画	18.0×25.5
44	うすい峠	1954 (昭和29)	鉛筆画	14.5×20.5
45	埼玉県熊谷の花火	1955 (昭和30)	鉛筆画	14.5×20.5
放浪時代の日本の風景				
46	練兵場へ遠足	1940 (昭和15)	貼絵	58.5×76.5
47	上野不忍池	1940 (昭和15)	貼絵	58.0×76.0
48	上野の五重塔	1940 (昭和15)	貼絵	75.0×57.0
49	遠足	1950 (昭和25)	貼絵	53.0×76.0
50	長岡の花火	1950 (昭和25)	貼絵	53.0×75.0
③放浪を辞める誓い 大搜索そして放浪の終止符				
51	桜島	1954 (昭和29)	貼絵	54.0×76.5
II 放浪期から画家へ				
①芸術家山下清の誕生 画家としてのスタート、時の人・山下清				
52	横浜埠頭にて	1956 (昭和31)	ペン画	23.5×26.3
53	東京オリンピック	1964 (昭和39)	ペン画	38.5×30.0
54	本の挿し絵	1957 (昭和32)	ペン画	26.2×38.0
55	花の絵の下書き	制作年不詳	ペン画	24.2×33.0
56	蜂 1	制作年不詳	ペン画	27.0×24.0
57	蜂 2	制作年不詳	ペン画	27.0×24.0
58	蝶々	制作年不詳	ペン画	27.0×24.0
59	かたつむり	制作年不詳	ペン画	27.0×24.0
60	とんぼ	制作年不詳	ペン画	27.0×24.0
61	さかな	制作年不詳	ペン画	27.0×24.0
62	伊豆大島の風景	1954 (昭和29)	貼絵	54.0×76.0
②日本ぶらりぶらり 作品になった日本の風景				
63	二重橋	1937 (昭和12)	貼絵	37.0×56.0
64	上野の地下鉄	1937 (昭和12)	貼絵	36.0×56.0
65	庭	1937 (昭和12)	貼絵	30.0×39.0
66	田舎の風景	1937 (昭和12)	貼絵	47.0×62.0
67	上野の東照宮	1939 (昭和14)	貼絵	58.0×75.5
68	八幡様の鳥居	1939 (昭和14)	貼絵	58.0×76.0
69	神宮外苑	1950 (昭和25)	貼絵	60.0×80.0
70	金町の魚つり	1950 (昭和25)	貼絵	53.0×78.0
71	山の頂上から見た景色	1950 (昭和25)	貼絵	55.0×76.0
72	関門海峡	1956 (昭和31)	ペン画	36.5×40.0
73	阿波の鳴戸	1956 (昭和31)	ペン画	21.8×33.8
74	岩手の鹿踊り	1956 (昭和31)	ペン画	30.2×24.1

No.	作品名	制作年	種別	寸法 (cm)
75	富士山	1957 (昭和32)	ペン画	53.0×37.5
76	はまごう	1956 (昭和31)	ペン画	26.5×34.5
77	仙台の七夕	1956 (昭和31)	ペン画	39.0×30.0
78	松島風景 1	1956 (昭和31)	ペン画	27.9×36.4
79	松島風景 2	1956 (昭和31)	ペン画	27.9×36.4
80	秋田の竿灯	1957 (昭和32)	ペン画	39.5×30.3
③芸術家としての挑戦				
独特の手法で描かれた油彩				
81	市川の風景	1951 (昭和26)	油彩	52.0×44.0
82	つばき	1951 (昭和26)	油彩	直径20.5
83	桜	1951 (昭和26)	油彩	直径20.5
84	ストックと矢車草	1951 (昭和26)	油彩	直径20.5
85	ラッパ水仙	1951 (昭和26)	油彩	直径15.0
86	チューリップ	1951 (昭和26)	油彩	直径20.5
マジックペンで描かれた点描の世界				
87	お蝶夫人屋敷	1956 (昭和31)	ペン画	28.0×35.5
88	岐阜の大仏	1957 (昭和32)	ペン画	53.0×38.0
89	奈良二月堂	1957 (昭和32)	ペン画	35.5×43.0
90	養老の滝	1957 (昭和32)	ペン画	39.0×30.0
91	別府のワニ	1956 (昭和31)	ペン画	26.5×23.3
92	グレート・デン	1957 (昭和32)	ペン画	33.5×29.5
93	トンネルのある風景	1956 (昭和31)	ペン画	24.0×24.0
94	与賀神社	1957 (昭和32)	ペン画	30.8×38.8
95	阿波踊り	1956 (昭和31)	ペン画	23.2×26.3
96	天狗久さんの仕事場	1956 (昭和31)	ペン画	26.5×23.3
97	小石川の後楽園	1960 (昭和35)	ペン画	24.0×33.0
Ⅲ 円熟期から晩年へ				
①ヨーロッパぶらりぶらり				
貼絵になったヨーロッパ				
98	ハイデルベルクの古城	1964 (昭和39)	貼絵	44.0×52.0
99	パリのサクレール寺院	1962 (昭和37)	貼絵	45.5×53.0
100	スイスの町	1963 (昭和38)	貼絵	46.0×53.5
101	スイス風景	1963 (昭和38)	貼絵	45.5×53.0
102	ロンドンのタワーブリッジ	1965 (昭和40)	貼絵	44.0×52.0
ゴッホへのあこがれ				
103	自分の顔	1950 (昭和25)	貼絵	76.0×53.0
104	ラ・ムスメ (娘) -ゴッホによる	1940 (昭和15)	貼絵	75.0×57.0
105	ぼけ	1951 (昭和26)	油彩	58.0×44.0
106	白隠禅師の墓 (原)	制作年不詳	版画	27.0×35.0
ヨーロッパ水彩紀行				
107	オランダの風車	1961 (昭和36)	水彩画	54.0×36.5
108	ストックホルムの市役所	1961 (昭和36)	水彩画	76.0×56.0
109	ストックホルムの夜景	1961 (昭和36)	水彩画	54.0×74.0
110	コペンハーゲンの人魚像	1961 (昭和36)	水彩画	37.5×56.5
111	パリの凱旋門	1961 (昭和36)	ペン画	56.0×77.0
112	パリのノートルダム寺院	1961 (昭和36)	水彩画	76.0×56.0
113	パリのムーランルージュ	1961 (昭和36)	水彩画	56.0×38.0
114	パリのエッフェル塔	1961 (昭和36)	水彩画	73.5×54.0
115	ベニスのサンマルコ寺院	1961 (昭和36)	水彩画	55.5×76.0
116	ベニスのゴンドラ風景	1961 (昭和36)	水彩画	54.0×36.5
117	スイスの町	1961 (昭和36)	ペン画	54.5×74.0
②創造への挑戦				
円熟期に目覚めた陶磁器				
118	ベニスのゴンドラ風景	1956 (昭和31)	大皿	直径37.0
119	ヨーロッパの壺	制作年不詳	壺	高さ22.0 直径18.0
120	花もも (九谷焼)	1956 (昭和31)	色絵蓋物	高さ12.0 直径25.0
121	群鶏 (布志名焼)	制作年不詳	ガレナ釉大皿	直径45.0

No.	作品名	制作年	種別	寸法 (cm)
122	指書き模様の皿 (布志名焼)	1956 (昭和31)	大皿	直径33.3
123	大文字焼風景 (牛ノ戸焼)	1956 (昭和31)	鉄釉壺	高さ27.0 直径27.0
最後の大作・東海道五十三次				
東 1	皇居前広場 (東京)	制作年不詳	版画	27.0×35.0
東15	富士 (吉原)	制作年不詳	版画	27.0×35.0
東25	牧の原 (金谷)	制作年不詳	版画	27.0×35.0
東42	熱田神宮 (名古屋)	制作年不詳	版画	27.0×35.0
東55	三条大橋 (京都)	制作年不詳	版画	27.0×35.0
〈資料〉				
資1～6	放浪日記 6冊	1940～43 (昭和15～18)	遺品	
資7	絵日記帳		遺品	
資8	放浪中、身に着けていた認識票		遺品	
資9	放浪中に使用したリュックサック		遺品	
資10	放浪中に着用した浴衣		遺品	
資11	旅先から母に宛てたハガキ		遺品	
資12	愛用の蔵書『ヴァン・ゴッホ』		遺品	
資13	愛用の蔵書『世界の名画』		遺品	
資14	パスポート		遺品	
資15	エールフランスのチケット		遺品	
資16	馬の置物		遺品	
資17	知人から貰った勲章		遺品	
資18	絶筆となったしおりのサイン	1971 (昭和46)	遺品	
資19	湯呑み茶碗		遺品	
資20	腕時計		遺品	
資21	置時計		遺品	
資22	8 mmカメラ		遺品	
資23	将棋の駒		遺品	
資24	切手のスクラップブック		遺品	
資25	山下清 東海道五十三次	1971 (昭和46)	資料本	



103 「自分の顔」



123 「大文字焼風景 (牛ノ戸焼)」

No.	作品名	制作年	種別	寸法 (cm)
資26	ヨーロッパぶらりぶらり (ちくま書房)		資料本	
資27	ヨーロッパに行く	1983 (昭和58)	資料本	
資28	裸の大将放浪記 全4巻	1979 (昭和54)	資料本	
資29	山下清 放浪日記	1956 (昭和31)	資料本	
資30	山下清 日本の風物	1961 (昭和36)	資料本	
資31	放浪 牢屋から逃げたい	1971 (昭和46)	資料本	
資32	別冊サンケイ (表紙)	1957 (昭和32)	資料本	
資33	画集 山下清ひとりだけの旅	1970 (昭和45)	資料本	
資34	山下清作品集 (A) 1956	1956 (昭和31)	資料本	
資35	山下清作品集 (B) 1959	1959 (昭和34)	資料本	
資36	週刊朝日	1955 (昭和30)	資料本	
資37	新宿第一劇場 大歌舞伎	1959 (昭和34)	資料本	
資38	太陽 創刊号	1957 (昭和32)	資料本	
資39	太陽 第二号	1957 (昭和32)	資料本	
資40	日本ぶらりぶらり	1958 (昭和33)	資料本	
資41	山下清画集	1981 (昭和56)	資料本	
〈映像〉	〈ロビー上映〉			
	はだかの天才画家 山下清 (日本映画新社)	1957 (昭和32)	映像	約30分

* 寸法は特記以外は縦×横。

追悼特別展 高倉健

会期＝平成29年 9月12日(火)－11月12日(日) 55日間
主催＝北海道立帯広美術館、高倉健展実行委員会、
十勝毎日新聞社、NPO十勝文化会議、
毎日新聞社

後援＝十勝管内各教育委員会

特別協力＝高倉プロモーション

協力＝一般社団法人日本映画製作者連盟

特別協賛＝健康家族

協賛＝帯広信用金庫、帯広ハイヤー、キクミ、共成レンテム、
サカタインクス、札幌新聞輸送、サンキット・エーイー、
須田製版、JDアローズ、損害保険ジャパン日本興亜株
式会社東北北海道支店帯広自動車法人支社、太平ホーム北
海道帯広支店、竹川会計事務所、第一生命保険株式会社
帯広支社、DICグラフィックス、東京機械製作所、東
洋印刷、十勝信用組合、十勝バス、中井会計事務所、日
本新聞インキ、日本生命、藤丸、富士フイルムグローバ
ルグラフィックシステムズ、北海道拓殖バス、まりもハ
イヤー、三井住友海上火災保険株式会社

観覧料＝一般1000(800)円、高大生600(400)円、小中生無料
()は10名以上の団体、前売り、リピーター割引料金。
高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの
方などは無料

関連事業

高倉健映画ポスター展

期間＝8月17日(木)～29日(火)

会場＝かちまいサロン

映写室

特別映画上映会「幸福の黄色いハンカチ」

日時＝9月5日(火) 午前9時30分～(108分)

会場＝シネマ太陽 帯広(応募制)

特別展セミナー

講師＝光岡幸治(当館学芸課長)

日時＝9月30日(土)、10月28日(土) 各日午後2時～(約50分)

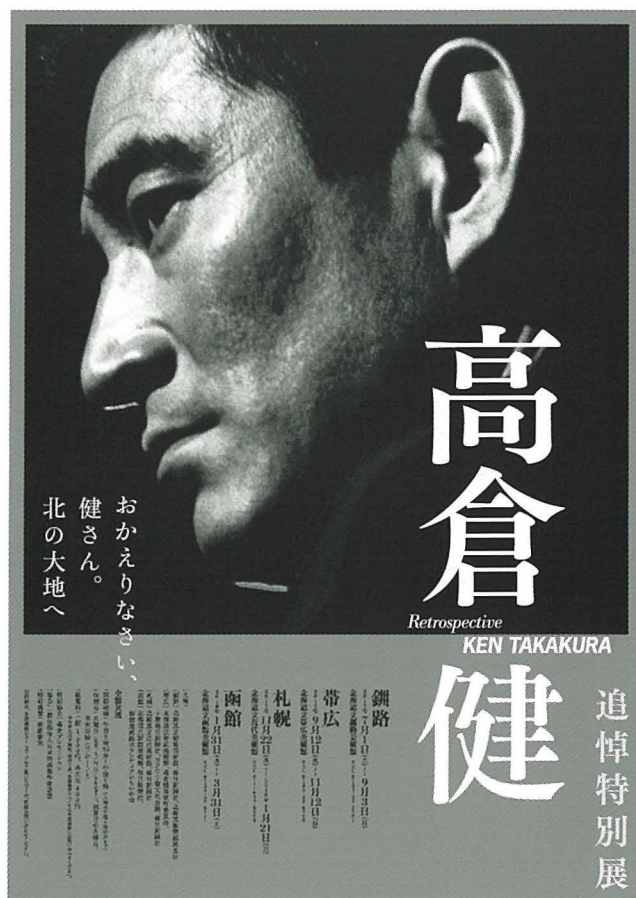
会場＝当館講堂(聴講無料)

ミュージアム・シアター「刑事」

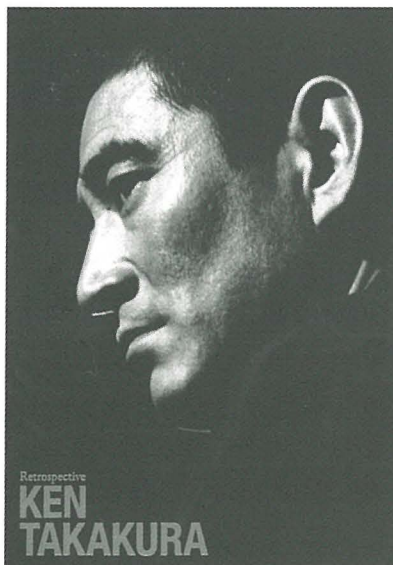
日時＝10月14日(土)、10月22日(土)、11月3日(金)

午後2時～(89分)

会場＝当館講堂(聴講無料)



ポスター



図録

ウェルカム・コンサート

出演＝和光憂人氏(バイオリン)、長尾崇人氏(ピアノ)

日時＝10月28日(土) 午後2時～(約60分)

会場＝当館ロビー(入場無料)

「幸福」のメッセージを夕張に！

(黄色い付箋に書いていただいた「幸福」のメッセージを夕張にとどけた。)

期間＝9月12日(火)～11月12日(日)

来館者プレゼント

「健さん」にもれなくプレゼント！

(氏名に「けん」の呼び名が使われている方には展覧会観覧ごとに絵葉書プレゼント)

期間＝9月12日(火)～11月12日(日)

いつまでも健やかに！

(60歳以上の観覧者先着100名に絵葉書プレゼント)

期間＝9月18日(月)

「鉄道の日」のプレゼント！

(観覧者先着50名に絵葉書(「鉄道員(ぼっばや)」)をプレゼント)

期間＝10月14日(土)

健さんの命日には珈琲をプレゼント！

(観覧者先着100名に「健さんの愛した珈琲」(ドリップバッグ)をプレゼント)

期間＝11月10日(金)

図録

規格＝29.8×21.0cm(A4判)／総頁数257ページ

構成＝ごあいさつ／伊藤彰彦「映画俳優、高倉健」／図版・解説「第一章 東映時代初期 1956-1963」、「第二章 東映時代中期 1964-1969」、「第三章 東映時代後期 1970-1975」、「第四章 独立時代初期 1976-1980」、「第五章 独立時代中期 1981-1994」、「第六章 独立時代後期 1995-2014」／富田章「高倉健のふたつの転機」／フィルモグラフィ

主要関連記事

三岡昭博「健さんありがとう 追悼特別展『高倉健』全国巡回」毎日新聞／2016年2月29日(月)

原山知寿子「高倉健さん追悼展開幕」十勝毎日新聞／2016年11月19日(土)

「銀幕に生きた男 高倉健さん 全205作品で生涯を回顧」

十勝毎日新聞／1月1日(日)

大木祐介「『高倉健』バス登場」十勝毎日新聞／8月10日(木)

大木祐介「映画看板を再現 美術館ロビーに設置」十勝毎日新聞／9月6日(火)

大木祐介「高倉健展まで一週間 代表作映画記念上映」十勝毎日新聞／9月6日(火)

大木祐介「高倉健さん全作ここに 帯広美術館追悼展開幕」十勝毎日新聞／9月12日(火)

大木祐介、折原徹也「『高倉健』特別展 男の魅力が壁一面」

十勝毎日新聞／9月12日(火)

大木祐介「BS朝日が取材 11月に放送予定」十勝毎日新聞／9月12日(火)

大木祐介「健さんと再会『鉄道員』ロケ協力幾寅婦人会の2人」十勝毎日新聞／9月13日(水)

「映像で再現 健さんの足跡 帯広美術館が追悼特別展」北海道新聞(全道版・朝刊)／9月13日(水)

光岡幸治「おびひろミュージアム通信 追悼特別展『高倉健』釧路新聞／9月25日(月)

原山知寿子「高倉健展インタビュー 東映多田憲之社長」十勝毎日新聞／9月27日(水)

光岡幸治「健さんの映画と時代① 個性模索していた初期」十勝毎日新聞／9月27日(水)

光岡幸治「健さんの映画と時代② 任侠映画で絶大な人気」十勝毎日新聞／9月28日(木)

光岡幸治「健さんの映画と時代③ 国民的大スターとして活躍」十勝毎日新聞／9月29日(金)

大木祐介「豪州観光客20人『高倉健』楽しむ」十勝毎日新聞／10月7日(土)

たかはしまりん「豆粒日記『肩で風切る…』」十勝毎日新聞／10月30日(月)

「札幌・北海道の週末イベント5選」Yahoo!ライフマガジン／11月2日(木)

河崎真以子「『黄色い付箋』夕張市へ 高倉健展メッセージ」十勝毎日新聞／11月27日(月)

八重柏冬雷「映画タイトルの書」毎日新聞(全道版・朝刊)／12月12日(土)

小田 貴「高倉健 台本に貼った大震災の写真」文藝春秋／2018年1月号

河崎真以子「特設コーナーにメッセージ展示」十勝毎日新聞／2018年5月14日(金)

高倉健は、1956年のデビューから日本映画界の第一線で活躍し日本を代表する俳優として知られる。「幸福の黄色いハンカチ」や「鉄道員(ぼっばや)」など北海道を舞台にした数々の映画でも主演をつとめ、北の地に生きることの悲哀を体現した名優であった。

本展は高倉健の映画俳優としての仕事を回顧し、その業績を顕彰しようとしたものである。映画の脚本や小道具、スチール写真、ポスター、プレスシートなど、貴重な資料を一堂に展示した。加えて最大の見どころとして、生涯の出演作205本の全てから抜粋した高倉健出演場面の映像の映像展示を行い、その業績を網羅して観覧する展示内容とした。

また、本展を開催した道立4館では「おかえりなさい、健さん。北の大地へ」をキャッチフレーズとして4館共通ポスターや北海道ロケ地マップを作成、関連資料の展示等を通じて稀代の名優と北海道の関わりも紹介した。

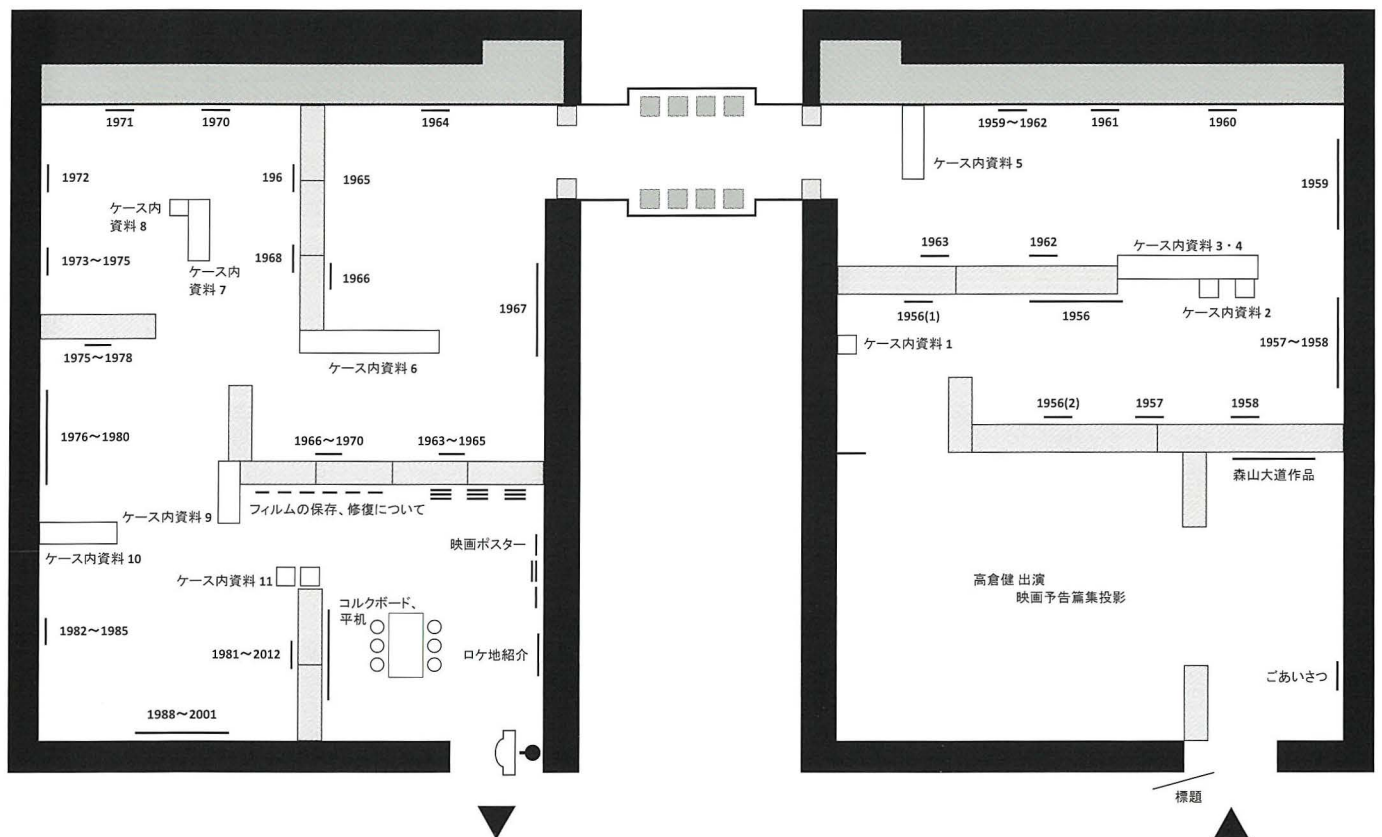
展示に加えて上映会や講演会などの事業を各種開催し、名優が映画史上に残した大きな足跡を様々な形で紹介することに努めた。その結果、地域の関心を引きつけ、観覧者数は12,125人を数えた。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

(写真展示)

森山大道 1968年頃撮影6点(横尾忠則編『憂魂、高倉健』所収)

森山大道 1973年頃撮影1点(一般社団法人森山大道写真財団提供)

(プロジェクトによる展示)

高倉健 出演映画予告篇集(展示ディレクション 横尾忠則)

『網走番外地』、『日本俠伝 関東篇』、『昭和残侠伝』、『網走番外地 望郷篇』、『昭和残侠伝 唐獅子牡丹』、『新網走番外地』

映像作品

題名	公開年	クレジット
1956 (1)	1分10秒	
電光空手打ち	1956 (昭和31)	©東映
チョップ先生	1956 (昭和31)	©東映
にっぽんGメン 特別武装班出動	1956 (昭和31)	©東映
1956 (2)	1分59秒	
大学の石松 ぐれん隊征伐	1956 (昭和31)	©東映
大学の石松 太陽族に挑戦す	1956 (昭和31)	©東映
夕日と拳銃 日本篇/大陸篇	1956 (昭和31)	©東映
母孔雀	1956 (昭和31)	©東映
恐怖の空中殺人	1956 (昭和31)	©東映
1956	1分39秒	
流星空手打ち	1956 (昭和31)	©東映
大学の石松	1956 (昭和31)	©東映
拳銃を捨てろ	1956 (昭和31)	©東映
1957	3分32秒	
無敵社員	1957 (昭和32)	©東映
第十三号棧橋	1957 (昭和32)	©東映
大学の石松 女群突破	1957 (昭和32)	©東映
多情佛心	1957 (昭和32)	©東映
霧の街	1957 (昭和32)	©東映
鯨と斗う男	1957 (昭和32)	©東映
血まみれの決闘	1957 (昭和32)	©東映
ジェット機出動 第101航空基地	1957 (昭和32)	©東映
1958	3分41秒	
娘十八 御意見無用	1958 (昭和33)	©東映
多羅尾伴内 十三の魔王	1958 (昭和33)	©東映
台風息子 修学旅行の巻	1958 (昭和33)	©東映
台風息子 最高殊勲の巻	1958 (昭和33)	©東映
恋愛自由型	1958 (昭和33)	©東映
季節風の彼方に	1958 (昭和33)	©東映
奴の拳銃は地獄だぜ	1958 (昭和33)	©東映
ひばりの花形探偵合戦	1958 (昭和33)	©東映
空中サーカス 嵐を呼ぶ猛獣	1958 (昭和33)	©東映
希望の乙女	1958 (昭和33)	©東映
娘の中の娘	1958 (昭和33)	©東映



映像作品「鉄道員 (ぼっばや)」1999
©「鉄道員 (ぼっばや)」製作委員会



映像作品「昭和残侠伝 唐獅子牡丹」©東映

題名	公開年	クレジット
1957～1958	3分7秒	
喧嘩社員	1957 (昭和32)	◎東映
青い海原	1957 (昭和32)	◎東映
非常線	1958 (昭和33)	◎東映
森と湖のまつり	1958 (昭和33)	◎東映
1959	3分33秒	
旋風家族	1959 (昭和34)	◎東映
無法街の野郎ども	1959 (昭和34)	◎東映
黒い指の男	1959 (昭和34)	◎東映
獣の通る道	1959 (昭和34)	◎東映
漂流死体	1959 (昭和34)	◎東映
地獄の底までつき合うぜ	1959 (昭和34)	◎東映
疑惑の夜	1959 (昭和34)	◎東映
高度7000米 恐怖の四時間	1959 (昭和34)	◎東映
空港の魔女	1959 (昭和34)	◎東映
1960	3分24秒	
続べらんめえ 藝者	1960 (昭和35)	◎東映
大いなる旅路	1960 (昭和35)	◎東映
ずべ公天使	1960 (昭和35)	◎東映
大空の無法者	1960 (昭和35)	◎東映
天下の怪男児 突進太郎	1960 (昭和35)	◎東映
続々べらんめえ 藝者	1960 (昭和35)	◎東映
砂漠を渡る太陽	1960 (昭和35)	◎東映
殴りこみ艦隊	1960 (昭和35)	◎東映
男ならやってみろ	1960 (昭和35)	◎東映
1961	2分49秒	
べらんめえ 藝者罷り通る	1961 (昭和36)	◎東映
俺が地獄の手品師だ	1961 (昭和36)	◎東映
天下の怪男児 旋風太郎	1961 (昭和36)	◎東映
男の血潮がこだまする	1961 (昭和36)	◎東映
魚河岸の女石松	1961 (昭和36)	◎東映
ひばり民謡の旅シリーズ べらんめえ 藝者佐渡へ行く	1961 (昭和36)	◎東映
万年太郎と姐御社員	1961 (昭和36)	◎東映
ひばり民謡の旅シリーズ べらんめえ 中乗りさん	1961 (昭和36)	◎東映
1959～1962	4分41秒	
静かなる兇弾	1959 (昭和34)	◎東映
天下の怪男児 万年太郎	1960 (昭和35)	◎東映
二発目は地獄行きだぜ	1960 (昭和35)	◎東映
花と嵐とギャング	1961 (昭和36)	◎東映
悪魔の手毬唄	1961 (昭和36)	◎東映
二・二六事件 脱出	1962 (昭和37)	◎東映
恋と太陽とギャング	1962 (昭和37)	◎東映
東京丸の内	1962 (昭和37)	◎東映
1962	3分3秒	
南太平洋波高し	1962 (昭和37)	◎東映
べらんめえ 芸者と大阪娘	1962 (昭和37)	◎東映
千姫と秀頼	1962 (昭和37)	◎東映
黄門社長漫遊記	1962 (昭和37)	◎東映
民謡の旅シリーズ 桜島 おてもやん	1962 (昭和37)	◎東映
三百六十五夜	1962 (昭和37)	◎東映
暗黒街最後の日	1962 (昭和37)	◎東映
東京アンタッチャブル	1962 (昭和37)	◎東映
遊民街の銃弾	1962 (昭和37)	◎東映
裏切り者は地獄だぜ	1962 (昭和37)	◎東映
1963	3分42秒	
暗黒街の顔役 十一人のギャング	1963 (昭和38)	◎東映
第八空挺部隊 壮烈鬼隊長	1963 (昭和38)	◎東映
東京アンタッチャブル 脱走	1963 (昭和38)	◎東映
最後の顔役	1963 (昭和38)	◎東映
親分を倒せ	1963 (昭和38)	◎東映
暗黒街最大の決斗	1963 (昭和38)	◎東映
宮本武蔵 二刀流開眼	1963 (昭和38)	◎東映
恐喝	1963 (昭和38)	◎東映

題名	公開年	クレジット
1964	3分12秒	
東京ギャング対香港ギャング	1964 (昭和39)	©東映
宮本武蔵 一乗寺の決斗	1964 (昭和39)	©東映
ならず者	1964 (昭和39)	©東映
暗黒街大通り	1964 (昭和39)	©東映
日本俠客伝	1964 (昭和39)	©東映
狼と豚と人間	1964 (昭和39)	©東映
いれずみ突撃隊	1964 (昭和39)	©東映
1965	3分46秒	
顔役	1965 (昭和40)	©東映
飢餓海峡	1965 (昭和40)	©東映
続網走番外地	1965 (昭和40)	©東映
日本俠客伝 関東篇	1965 (昭和40)	©東映
宮本武蔵 巖流島の決斗	1965 (昭和40)	©東映
昭和残俠伝	1965 (昭和40)	©東映
網走番外地 望郷篇	1965 (昭和40)	©東映
網走番外地 北海篇	1965 (昭和40)	©東映
1966	3分46秒	
日本俠客伝 血斗神田祭り	1966 (昭和41)	©東映
網走番外地 荒野の対決	1966 (昭和41)	©東映
カミカゼ野郎 真昼の決斗	1966 (昭和41)	©東映
男の勝負	1966 (昭和41)	©東映
昭和残俠伝 一匹狼	1966 (昭和41)	©東映
網走番外地 南国の対決	1966 (昭和41)	©東映
地獄の掟に明日はない	1966 (昭和41)	©東映
網走番外地 大雪原の対決	1966 (昭和41)	©東映
1967	3分59秒	
日本俠客伝 白刃の盃	1967 (昭和42)	©東映
網走番外地 決斗零下30度	1967 (昭和42)	©東映
あゝ同期の桜	1967 (昭和42)	©東映
昭和残俠伝 血染の唐獅子	1967 (昭和42)	©東映
網走番外地 悪への挑戦	1967 (昭和42)	©東映
日本俠客伝 斬り込み	1967 (昭和42)	©東映
俠客の掟	1967 (昭和42)	©東映
網走番外地 吹雪の斗争	1967 (昭和42)	©東映
1963～1965	6分12秒	
暴力街	1963 (昭和38)	©東映
人生劇場 飛車角	1963 (昭和38)	©東映
鬼検事	1963 (昭和38)	©東映
ジャコ萬と鉄	1964 (昭和39)	©東映
日本俠客伝 浪花篇	1965 (昭和40)	©東映
網走番外地	1965 (昭和40)	©東映
1966～1970	5分14秒	
昭和残俠伝 唐獅子牡丹	1966 (昭和41)	©東映
日本俠客伝 雷門の決斗	1966 (昭和41)	©東映
俠骨一代	1967 (昭和42)	©東映
緋牡丹博徒	1968 (昭和43)	©東映
日本俠客伝 花と龍	1969 (昭和44)	©東映
燃える戦場 Too Late The Hero	1970 (昭和45)	©Associates & Aldrich Company / Palomar Pictures / ABC Pictures
1968	4分17秒	
日本俠客伝 絶縁状	1968 (昭和43)	©東映
獄中の顔役	1968 (昭和43)	©東映
荒野の渡世人	1968 (昭和43)	©東映
俠客列伝	1968 (昭和43)	©東映
ごろつき	1968 (昭和43)	©東映
人生劇場 飛車角と吉良常	1968 (昭和43)	©東映
祇園祭	1968 (昭和43)	©日本映画復興協会
博徒列伝	1968 (昭和43)	©東映
新網走番外地	1968 (昭和43)	©東映
1969	4分33秒	
緋牡丹博徒 花札勝負	1969 (昭和44)	©東映
昭和残俠伝 唐獅子仁義	1969 (昭和44)	©東映
緋牡丹博徒 二代目襲名	1969 (昭和44)	©東映
戦後最大の賭場	1969 (昭和44)	©東映

題名	公開年	クレジット
懲役三兄弟	1969（昭和44）	© 東映
日本女侠伝 俠客芸者	1969（昭和44）	© 東映
新網走番外地 流人岬の血斗	1969（昭和44）	© 東映
日本暗殺秘録	1969（昭和44）	© 東映
昭和残侠伝 人斬り唐獅子	1969（昭和44）	© 東映
渡世人列伝	1969（昭和44）	© 東映
新網走番外地 さいはての流れ者	1969（昭和44）	© 東映
1970	4分19秒	
日本女侠伝 真赤な度胸花	1970（昭和45）	© 東映
博徒一家	1970（昭和45）	© 東映
捨て身のならず者	1970（昭和45）	© 東映
日本ダービー 勝負	1970（昭和45）	© 東映
遊侠列伝	1970（昭和45）	© 東映
新網走番外地 大森林の決斗	1970（昭和45）	© 東映
昭和残侠伝 死んで貰います	1970（昭和45）	© 東映
最後の特攻隊	1970（昭和45）	© 東映
日本俠客伝 昇り龍	1970（昭和45）	© 東映
新網走番外地 吹雪のはぐれ狼	1970（昭和45）	© 東映
1971	3分52秒	
日本やくざ伝 総長への道	1971（昭和46）	© 東映
日本女侠伝 血斗乱れ花	1971（昭和46）	© 東映
日本俠客伝 刃	1971（昭和46）	© 東映
ごろつき無宿	1971（昭和46）	© 東映
新網走番外地 嵐呼ぶ知床岬	1971（昭和46）	© 東映
昭和残侠伝 吼えろ唐獅子	1971（昭和46）	© 東映
任侠列伝 男	1971（昭和46）	© 東映
新網走番外地 吹雪の大脱走	1971（昭和46）	© 東映
1972	2分22秒	
純子引退記念映画 関東緋桜一家	1972（昭和47）	© 東映
望郷子守唄	1972（昭和47）	© 東映
博奕打ち外伝	1972（昭和47）	© 東映
新網走番外地 嵐呼ぶダンブ仁義	1972（昭和47）	© 東映
昭和残侠伝 破れ傘	1972（昭和47）	© 東映
1973～1975	5分50秒	
山口組三代目	1973（昭和48）	© 東映
現代任侠史	1973（昭和48）	© 東映
ゴルゴ13	1973（昭和48）	© 東映
三代目襲名	1973（昭和48）	© 東映
無宿（やどなし）	1973（昭和48）	©1974 東宝
ザ・ヤクザ The Yakuza	1974（昭和49）	©1975／Renewed©2003 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved
日本任侠道 激突篇	1975（昭和50）	© 東映
大脱獄	1975（昭和50）	© 東映
神戸国際ギャング	1975（昭和50）	© 東映
1975～1978	6分37秒	
新幹線大爆破	1975（昭和50）	© 東映
八甲田山	1977（昭和52）	© 橋本プロ/東宝/シナノ企画
幸福の黄色いハンカチ	1977（昭和52）	© 松竹
野性の証明	1978（昭和53）	© KADOKAWA 1978
1976～1980	4分11秒	
君よ憤怒の河を渉れ	1976（昭和51）	© KADOKAWA 1976
冬の華	1978（昭和53）	© 東映
動乱 第1部 海峡を渡る愛／第2部 雪降り止まず	1980（昭和55）	© 東映・シナノ企画
遙かなる山の呼び声	1980（昭和55）	© 松竹
1982～1985	4分13秒	
刑事物語	1982（昭和57）	©1982 SANRIO CO., LTD. TOKYO, JAPAN
海峡	1982（昭和57）	©1982 東宝
南極物語	1983（昭和58）	© フジテレビ／学研／蔵原プロ
居酒屋兆治	1983（昭和58）	©1983 東宝
夜叉	1985（昭和60）	©1985 東宝
1988～2001	2分11秒	
海へーSee youー	1988（昭和63）	©1988 東宝
あ・うん	1989（平成元）	©1989 東宝
ミスター・ベースボール Mr.Baseball	1993（平成5）	© UNIVERSAL CITY STUDIOS, INC.
四十七人の刺客	1994（平成6）	© 東宝／日本テレビ放送網／電通アドギア

題名	公開年	クレジット
ホタル	2001 (平成13)	©2001「ホタル」製作委員会
1981～2012	7分56秒	
駅 STATION	1981 (昭和56)	©1981 東宝
ブラック・レイン BLACK RAIN	1989 (平成元)	©1989 BY Paramount Pictures Corporaion. All Rights Reserved.
鉄道員 (ぽっぽや)	1999 (平成11)	©1999「鉄道員 (ぽっぽや)」製作委員会
単騎、千里を走る。	2006 (平成18)	©2005 Elite Group (2004) Enterprises Inc.
あなたへ	2012 (平成24)	©2012「あなたへ」製作委員会

ケース内資料リスト

資料名または映画題名	公開年	種別	数量	資料名または映画題名	公開年	種別	数量
東映の身分証明書		書類	1	純子引退記念映画 関東緋桜一家	1972 (昭和47)	脚本	1
電光空手打ち	1956 (昭和31)	脚本	1			スタジオ・メール	1
流星空手打ち	1956 (昭和31)	脚本	1			大判モノクロフ라이어	1
		梗概	1			スチール	3
大学の石松	1956 (昭和31)	脚本	1	望郷子守唄	1972 (昭和47)	脚本	1
		脚本 (準備用)	1			スタジオ・メール	1
夕日と拳銃 日本ノ大陸編	1956 (昭和31)	脚本	1			大判モノクロフ라이어	1
恐怖の空中殺人	1956 (昭和31)	脚本	1			スチール	3
無敵社員・喧嘩社員	1957 (昭和32)	脚本	1			脚本	1
		香盤	1	ゴルゴ13	1973 (昭和48)	脚本	1
霧の街	1957 (昭和32)	脚本	1			映画で使ったのと同型のサングラス	1
鯨と斗う男	1957 (昭和32)	脚本 (『龍巻』)	1	無宿 (やどなし)	1974 (昭和49)	脚本	1
青い海原	1957 (昭和32)	梗概	1			フライヤー	1
非常線	1958 (昭和33)	脚本	1			脚本	1
		梗概	1	ザ・ヤクザ The Yakuza	1974 (昭和49)	脚本	1
季節風の彼方に	1958 (昭和33)	スチール	1	新幹線大爆破	1975 (昭和50)	脚本	1
空中サーカス 嵐を呼ぶ猛獣	1958 (昭和33)	脚本 (『サーカス物語』)	1			スチール	2
無法街の野郎ども	1959 (昭和34)	スチール	1	君よ憤怒の河を渉れ	1976 (昭和51)	脚本	1
旋風家族	1959 (昭和34)	スチール	1			スチール	1
空港の魔女	1959 (昭和34)	スチール	1	八甲田山	1977 (昭和52)	脚本	1
天下の快男児 万年太郎	1960 (昭和35)	カラスチール	1			パンフレット	1
二発目は地獄行きだぜ	1960 (昭和35)	カラスチール	2			パンフレット	1
続べらんめえ藝者	1960 (昭和35)	カラスチール	1	幸福の黄色いハンカチ	1977 (昭和52)	脚本	1
大空の無法者	1960 (昭和35)	スチール	1			脚本 (準備稿)	1
天下の快男児 突進太郎	1960 (昭和35)	スチール	4			スチール	1
殴り込み艦隊	1960 (昭和35)	スチール	3	冬の華	1978 (昭和52)	脚本	1
遊民街の銃弾	1962 (昭和37)	スチール	7			脚本 (『HIDEJI』)	1
暴力街	1963 (昭和38)	スチール	6			スチール	1
人生劇場 飛車角	1963 (昭和38)	スチール	4	駅 STATION	1981 (昭和56)	脚本	1
横尾忠則編『憂魂、高倉健』(都市出版社)	1971 (昭和46)	書籍	1	南極物語	1983 (昭和58)	脚本	1
日本俠客伝	1964 (昭和39)	脚本 (準備用)	1			企画書「タロとジロは生きていた」	1
飢餓海峡	1965 (昭和40)	パンフレット	1	海へ -See you-	1988 (昭和63)	ロケで使ったトラシ	1
網走番外地	1965 (昭和40)	スチール	4			ンク	
昭和残俠伝	1965 (昭和40)	スチール	2	あ・うん	1989 (平成元)	脚本	1
網走番外地 望郷篇	1965 (昭和40)	スチール	2	鉄道員	1999 (平成11)	脚本	1
昭和残俠伝 唐獅子牡丹	1966 (昭和41)	アルバム	1			パンフレット	1
		スチール	1			厚紙折り畳みチラシ	1
俠骨一代	1967 (昭和42)	スチール	5	ホタル	2001 (平成13)	脚本	1
荒野の渡世人	1968 (昭和43)	スチール	1			スチール	1
日本俠客伝 花と龍	1969 (昭和44)	スチール	3	単騎、千里を走る。	2006 (平成18)	脚本	1
任俠列伝 男	1971 (昭和46)	脚本	1			スチール	1
		梗概	1			映画で使った笛	1
		スタジオ・メール	1	あなたへ	2012 (平成24)	脚本	1
		大判モノクロフ라이어	1			脚本 (決定稿)	1
		スチール	2			脚本 (撮影稿)	1
				風に吹かれて	-	脚本	1

壁面展示資料

資料名または映画題名	公開年	種別	資料名または映画題名	公開年	種別
東映入社の頃	—	スチール	網走番外地 望郷篇	1965 (昭和40)	スチール
東映入社の頃	—	スチール	昭和残侠伝 唐獅子牡丹	1966 (昭和41)	スチール
電光空手打ち	1956 (昭和31)	ポスター (複製)	日本俠客伝 血斗神田祭り	1966 (昭和41)	スチール
電光空手打ち	1956 (昭和31)	スチール	カミカゼ野郎 真昼の決斗	1966 (昭和41)	ポスター
大学の石松	1956 (昭和31)	ポスター (複製)	網走番外地 南国の対決	1966 (昭和41)	スチール
にっぽんGメン 特別武装班出動	1956 (昭和31)	スチール	昭和残侠伝 血染の唐獅子	1967 (昭和42)	スチール
大学の石松 太陽族に挑戦す	1956 (昭和31)	ポスター (複製)	網走番外地 吹雪の斗争	1967 (昭和42)	スチール
母孔雀	1956 (昭和31)	スチール	俠客列伝	1968 (昭和43)	ポスター
拳銃を捨てろ	1956 (昭和31)	スチール	緋牡丹博徒	1968 (昭和43)	スチール
恐怖の空中殺人	1956 (昭和31)	スチール	緋牡丹博徒 花札勝負	1969 (昭和44)	ポスター
第十三号桟橋	1957 (昭和32)	スチール	戦後最大の賭場	1969 (昭和44)	ポスター
青い海原	1957 (昭和32)	ポスター (複製)	昭和残侠伝 人斬り唐獅子	1969 (昭和44)	スチール
青い海原	1957 (昭和32)	スチール	新網走番外地 さいはての流れ者	1969 (昭和44)	ポスター
血まみれの決闘	1957 (昭和32)	スチール	捨て身のならず者	1970 (昭和45)	ポスター
非常線	1958 (昭和33)	ポスター (複製)	遊俠列伝	1970 (昭和45)	ポスター
非常線	1958 (昭和33)	スチール	新網走番外地 大森林の決斗	1970 (昭和45)	ポスター
森と湖のまつり	1958 (昭和33)	ポスター (複製)	燃える戦場 Too Late The Hero	1970 (昭和45)	ポスター
旋風家族	1959 (昭和34)	スチール	日本女俠伝 血斗乱れ花	1971 (昭和46)	ポスター
黒い指の男	1959 (昭和34)	スチール	ごろつき無宿	1971 (昭和46)	ポスター
獣の通る道	1959 (昭和34)	ポスター (複製)	昭和残侠伝 吼えろ唐獅子	1971 (昭和46)	スチール
静かなる兇弾	1959 (昭和34)	ポスター	博奕打ち外伝	1972 (昭和47)	スチール
静かなる兇弾	1959 (昭和34)	スチール	新網走番外地 嵐呼ぶダンプ仁義	1972 (昭和47)	ポスター
高度7000米 恐怖の四時間	1959 (昭和34)	スチール	現代任俠史	1973 (昭和48)	ポスター
二発目は地獄行きだぜ	1960 (昭和35)	スチール	ゴルゴ13	1973 (昭和48)	スチール
続べらんめえ藝者	1960 (昭和35)	スチール	無宿 (やどなし)	1974 (昭和49)	ポスター
大いなる旅路	1960 (昭和35)	スチール	無宿 (やどなし)	1974 (昭和49)	スチール
男ならやってみろ	1960 (昭和35)	スチール	新幹線大爆破	1975 (昭和50)	スチール
べらんめえ 藝者罷り通る	1961 (昭和36)	スチール	神戸国際ギャング	1976 (昭和51)	ポスター
天下の快男児 旋風太郎	1961 (昭和36)	スチール	君よ憤怒の河を渉れ	1976 (昭和51)	ポスター
花と嵐とギャング	1961 (昭和36)	ポスター	幸福の黄色いハンカチ	1977 (昭和52)	ポスター
恋と太陽とギャング	1962 (昭和37)	ポスター	野性の証明	1978 (昭和53)	スチール
恋と太陽とギャング	1962 (昭和37)	スチール	JAPAN SOCIETY PRESENTS : KEN TAKAKURA	1978 (昭和53)	横尾忠則制作ポ スター
東京丸の内	1962 (昭和37)	スチール	遙かなる山の呼び声	1980 (昭和56)	スチール
暗黒街最後の日	1962 (昭和37)	スチール	駅 STATION	1981 (昭和56)	スチール
遊民街の銃弾	1962 (昭和37)	スチール	ブラック・レイン BLACK RAIN	1989 (平成元)	スチール
暗黒街最大の決斗	1963 (昭和38)	スチール	あ・うん	1989 (平成元)	スチール
ギャング忠臣蔵	1963 (昭和38)	スチール	あ・うん	1989 (平成元)	ポスター
ならず者	1964 (昭和39)	ポスター	鉄道員 (ぼっばや)	1999 (平成11)	ポスター
日本俠客伝	1964 (昭和39)	スチール	あなたへ	2012 (平成24)	スチール
いれずみ突撃隊	1964 (昭和39)	ポスター	フィルムの経年劣化とその修復・保存	—	(パネル展示)
昭和残侠伝	1965 (昭和40)	スチール			
網走番外地 望郷篇	1965 (昭和40)	ポスター			

帯広展特別展示リスト

- * ポスターの所蔵はすべて、「レトロの街の映画・芸能資料館 松永文庫」。
- * 映画看板はロビーに展示。

資料名または映画題名	公開年	種別
北海道内、主なロケ地マップ	ー高倉健出演作品より	(パネル展示)
網走番外地 荒野の対決	1966 (昭和41)	ポスター
新網走番外地	1968 (昭和43)	ポスター
日本女侠伝 真っ赤な度胸花	1970 (昭和45)	ポスター
新網走番外地 吹雪の大脱走	1971 (昭和46)	ポスター
新網走番外地 嵐呼ぶ知床岬	1971 (昭和46)	ポスター
大脱獄	1975 (昭和50)	ポスター
遙かなる山の呼び声	1980 (昭和55)	ポスター
駅 STATION	1981 (昭和56)	ポスター
南極物語	1983 (昭和58)	ポスター
鉄道員 (ぽっぽや)	1999 (平成11)	ポスター
幸福の黄色いハンカチ	1977 (昭和52)	映画看板 (再製作)



資料「電光空手打ち」脚本 ©東映



映像作品「非常線」 ©東映

FACE／わたしとあなた -アフリカン・マスクから舟越桂まで

会期＝平成29年11月25日(土)－平成30年 2月25日(日) 75日間
主催＝北海道立帯広美術館

特別協賛＝帯広大谷短期大学

協賛＝帯広信用金庫、北海道クリーン・システム株式会社帯広支店

観覧料＝一般800(650)円、高大生500(400)円

中学生以下は無料(帯広美術館ボランティア「しらかばの会」平成29年度無料招待事業)

高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

()は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

アーティスト・トーク

講師＝①佐竹真紀氏(展覧会出品作家)、
②伽井丹彌氏(展覧会出品作家)

日時＝①11月25日(土) 午前10時～、
②1月14日(日) 午後2時～(各回約40分)

会場＝①当館主展示室(要観覧券)、
②当館講堂、主展示室(要観覧券)

アフリカの音楽と踊り

演奏＝瀧村正樹氏(パーカッショニスト)、
刈根克伸氏(パーカッショニスト)、
永原美幸氏(アフリカンダンサー)

日時＝11月25日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館ロビー(入場無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

トーク&ワーク「“顔”にまつわるカタチの不思議」

講師＝橋本信夫氏(北海道大学名誉教授、12/16)、
野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝12月16日(土)～17日(日) 各日午後2時～3時30分

会場＝当館講堂、主展示室

(参加料一般650円、高大生400円、12/17のみ応募制)

ワークショップ「作って、飾って、楽しい仮面」

講師＝宮澤克忠氏(画家)

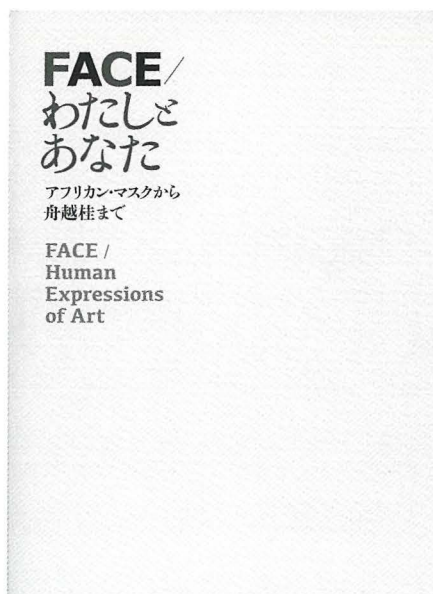
日時＝1月6日(土)～7日(日) 各日午後1時30分～4時

会場＝当館講堂、主展示室(参加料500円、応募制)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会



ポスター



図録

キッズ・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝1月13日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ワークショップ「いきなり！大人の油絵入門：自画像編」

講師＝中谷有逸氏(美術家)

日時＝1月20日(土)～21日(日) 各日午前10時～午後3時

会場＝当館講堂、主展示室(参加料一般1,150円、高大生900円、
中学生500円、応募制)

ギャラリー・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝1月27日(土)、2月10日(土) 午後2時～(約40分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

プレミアム鑑賞会「『FACE』を語ろう マスクで語ろう」

講師＝小笠原洋子氏、近藤みどり氏、齊藤隆博氏、
瀧川秀敏氏、中西堯昭氏、中谷有逸氏、宮澤克忠氏ほか

日時＝1月28日(日)、2月11日(日)、18日(日)、25日(日)

午後2時～(約40分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

キッズ・ミュージアム「お面をつくろう」

日時＝2月10日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、

帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

おびひろ氷まつり協賛事業

「美術館 de 氷まつり 2018」

日時＝2月2日(金)～4日(日)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

・「ミッション in てんらんかい☆」

日時＝2月2日(金)～4日(日) 午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館主展示室(要観覧券)

・「ミュージアム・シアター『ブリューゲルの動く絵』」

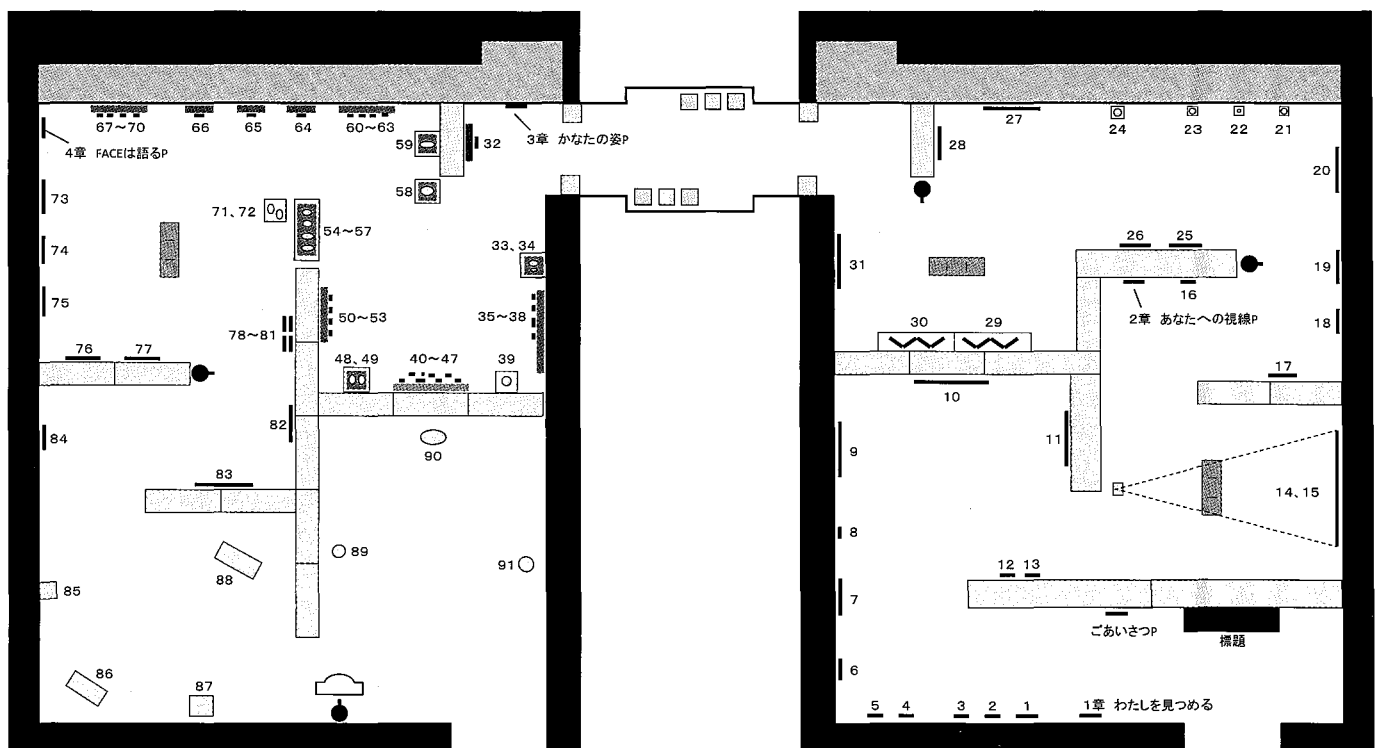
日時＝2月3日(土)、4日(日) 午後2時～(96分)

会場＝当館講堂(入場無料)

・「ミュージアム・ツアー」

日時＝2月3日(土)、4日(日) 午後4時～(約50分)

会場＝当館主展示室ほか(要観覧券)



展示図面

図録

規格=25.3×18.8cm／総頁数72ページ

構成=ごあいさつ／野田佳奈子『FACE／わたしとあなた』
展に寄せて／図版／作家解説／出品リスト／主要参考文献

関連記事

大木祐介「自画像や肖像、仮面 あすから『FACE』展」十勝
毎日新聞／11月24日(金)

大木祐介「古今東西の『顔』100点」十勝毎日新聞／11月25日(土)
広田まさの「人物画や仮面 表情豊か 帯広美術館で『FACE』
展」北海道新聞／11月26日(日)

長尾悦郎「アフリカの仮面 特徴や背景解説」十勝毎日新聞／
12月20日(木)

石川友史「伽井さん作品の歩み紹介」十勝毎日新聞／1月16日(火)
広田まさの「とちかちフォトギャラリー 自己と他者向き合う表
情」北海道新聞／1月18日(木)

野田佳奈子「おびひろミュージアム通信65 アフリカの仮面見
どころ」釧路新聞／1月22日(月)

久才秀樹「テーマは『顔』 帯広で展覧会」北海道新聞／1月
26日(金)

正井晶子「数々の『顔』 芸術家が解説」北海道新聞／1月29日(月)

野田佳奈子「FACE to FACE 1～7」十勝毎日新聞／1月29
日(月)、30日(火)、2月1日(水)、6日(火)、7日(水)、9日(金)

片山新平「作品解説に耳傾け鑑賞」十勝毎日新聞／2月1日(水)

金谷信「編集余録 まなざし」十勝毎日新聞／2月8日(木)

大木祐介「下音更中学生がFACE展鑑賞」十勝毎日新聞／2
月23日(金)

人間の顔や姿かたちは、これまで多くの芸術家によって表現されてきた。私たちは、それらの作品に何を見出せるのだろうか。

私たちは他者と関わり様々な価値観に出会う。これは、自己を省み、相手に想いを馳せ、そして人間のありようについて広く考える契機ともなりえる。美術作品に目を向けてみると、自画像や家族の肖像をはじめ、顔貌に注目したものや人間像を題材としたものは、芸術家がまさに“わたし”や“あなた”を見つめ、向き合ってきた軌跡と言えよう。これらの作品は、人と人とのつながりの中でいかに生きるかを考えさせるものである。

本展では、「第1章 わたしを見つめる」、「第2章 あなたへの視線」、「第3章 かなたの姿」、「第4章 FACEは語る」の4章により、近現代の人物画や立体作品、アフリカの仮面など91点を展示。様々な作品から自己と他者をめぐる様々な表現をたどった。

会期中は、出品作家による「アーティスト・トーク」や、アフリカン・マスクを収集した橋本信夫氏を招いた講座、十勝在住の作家による「プレミアム鑑賞会」、コンサートやワークショップなど、多彩な関連事業を実施し、様々な視点から展覧会の作品に親しんでもらうことを試みた。来場者数は3,144人。



会場風景



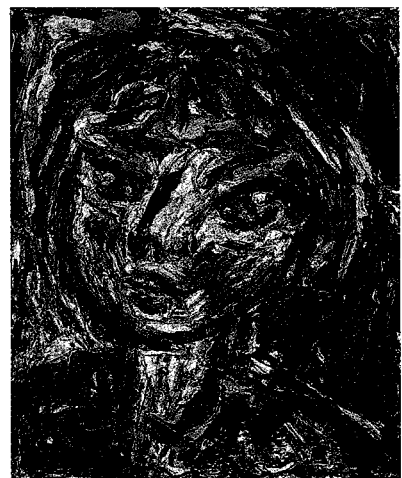
会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵先
第1章 わたしを見つめる						
1	上野山清貢	自画像	1927	油彩、キャンバス	65.1×53.3	北海道立近代美術館蔵
2	上野山清貢	ある日の憂鬱	1941	油彩、板	32.7×23.7	北海道立近代美術館蔵
3	上野山清貢	愛馬譜のモデル (自画像)	1954	油彩、キャンバス	52.6×33.2	北海道立近代美術館蔵
4	能勢眞美	自画像	1921	油彩、キャンバス	32.8×23.7	北海道立近代美術館蔵
5	能勢眞美	自画像	1948頃	油彩、キャンバス	41.4×32.2	北海道立帯広美術館蔵
6	深井克美	自画像	1970	油彩、キャンバス	53.0×45.5	北海道立近代美術館蔵
7	伊東将夫	男 (絵をかく)	1972	油彩、キャンバス	145.5×97.2	北海道立近代美術館蔵
8	藤田嗣治	家族の肖像	1954	油彩、ボード	17.5×12.5	北海道立近代美術館蔵
9	松樹路人	わたくし像「窓」	1993	油彩、キャンバス	162.1×162.1	北海道立近代美術館蔵
10	松樹路人	懐郷	1997	油彩、キャンバス	180.0×225.8	北海道立近代美術館蔵
11	松樹路人	M氏の日曜日	1979	油彩、キャンバス	193.9×162.0	北海道立近代美術館蔵
12	多賀 新	傍観者 (自画像)	1974	エッチング、アクアチント、紙	24.0×21.3	北海道立帯広美術館蔵
13	多賀 新	伝・源頼朝・新像 (自画)	1998	エッチング、紙	24.0×18.2	北海道立帯広美術館蔵
14	佐竹真紀	おもかげ	2010	映像		作家蔵
15	佐竹真紀	走馬灯	2017	映像		作家蔵
第2章 あなたへの視線						
16	俣野第四郎	良子像	1922	油彩、キャンバス	60.5×45.6	北海道立近代美術館蔵
17	本間紹夫	室内	1925	油彩、キャンバス	90.5×72.4	北海道立近代美術館蔵
18	林竹治郎	母と娘	1921頃	油彩、キャンバス	60.9×91.0	北海道立近代美術館蔵
19	林竹治郎	野の花・庭の花	1922-27頃	油彩、キャンバス	48.7×68.7	北海道立近代美術館蔵
20	一木万寿三	エレベーター	1933	油彩、キャンバス	97.3×130.5	北海道立近代美術館蔵
21	佐藤忠良	建築家	1957	ブロンズ	18.5×23.0×34.0	札幌芸術の森美術館蔵
22	佐藤忠良	フード	1959	ブロンズ	10.0×13.0×13.0	札幌芸術の森美術館蔵
23	佐藤忠良	智恵子抄のオリエ	1971	ブロンズ	19.0×22.0×38.0	札幌芸術の森美術館蔵
24	鈴木吾郎	石あたま	1974	コンクリート	22.5×18.7×19.5	北海道立近代美術館蔵
25	岡田 敦	I am	2007	タイプCプリント	81.0×100.0	北海道立近代美術館蔵
26	岡田 敦	I am	2007	タイプCプリント	81.0×100.0	北海道立近代美術館蔵
27	村元俊郎	セニョリータ	1991	油彩、キャンバス	130.5×162.0	北海道立帯広美術館蔵
28	檜原武正	子供	1976	油彩、キャンバス	135.0×110.0	北海道立帯広美術館蔵
29	片岡球子	「還城楽と八仙の舞」のうち 雅楽・陵王と還城楽	1967	紙本彩色	136.3×204.0	北海道立近代美術館蔵
30	片岡球子	「還城楽と八仙の舞」のうち 雅楽・還城楽と鶴舞	1967	紙本彩色	136.5×206.0	北海道立近代美術館蔵
31	栃内忠男	ふたつの顔	1972-88	油彩、キャンバス	130.3×162.1	北海道立近代美術館蔵
第3章 かなたの姿						
32	マリ	マリンケ族の仮面	不詳	彩色、木	33.0×18.0×91.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)



15 佐竹真紀「走馬灯」



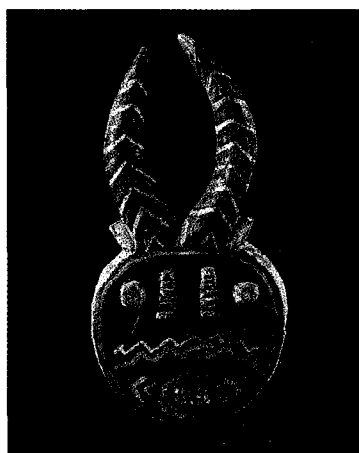
28 檜原武正「子供」

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵先
33	マリ	ドゴン族またはバンバラ族の仮面	不詳	木	18.0×15.0×34.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
34	マリ	マルカ族の仮面	不詳	木	10.0×7.0×22.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
35	コートジボアール・リベリア	ダン族またはマノ族の戦闘用仮面	不詳	木、金属	27.0×11.0×75.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
36	コートジボアール・リベリア	ダン族またはマノ族の仮面	不詳	木	19.0×9.0×29.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
37	コートジボアール・リベリア	ダン族またはマノ族の仮面	不詳	木	16.5×10.5×33.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
38	コートジボアール・リベリア	ダン族またはマノ族の仮面	不詳	木、植物種子、布	19.5×10.5×28.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
39	シエラレオネ	メンデ族のヘルメット型仮面	不詳	木、貝	24.4×26.0×34.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
40	コートジボアール・リベリア	ダン族(推定)の仮面	不詳	木	15.5×11.5×27.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
41	コートジボアール・リベリア	ダン族の仮面	不詳	木	12.0×9.0×20.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
42	コートジボアール・リベリア	ダン族(推定)の仮面	不詳	木	35.0×25.0×38.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
43	リベリア	ジョ族またはマノ族の仮面	不詳	木、貝	22.0×14.0×33.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
44	コートジボアール・リベリア	ダン族の仮面	不詳	木、貝	17.0×7.5×23.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
45	ギニア	ナル族またはバガ族の仮面	不詳	木、彩色	25.0×8.5×96.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
46	コートジボアール・リベリア	ダン族の仮面	不詳	木	12.0×9.0×19.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
47	リベリア	仮面	不詳	木	24.5×14.5×34.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
48	リベリア	マノ族の仮面	不詳	木	16.5×9.5×38.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
49	リベリア	マノ族の仮面	不詳	木	18.5×12.0×32.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
50	ナイジェリア	仮面	不詳	木	18.0×9.5×42.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
51	ギニア・リベリア	クベレ族の仮面	不詳	木、貝	20.5×9.5×25.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
52	リベリア	ジョ族の仮面	不詳	彩色、木、貝	13.0×10.0×29.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
53	コートジボアール	パウレ族の仮面 “ゴリ・プレブレ”	不詳	彩色、木	23.0×5.5×46.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
54	コートジボアール	セヌフォ族の仮面	不詳	木	22.5×10.0×47.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
55	コートジボアール	セヌフォ族の仮面 “クベリエ”	不詳	木	22.5×9.0×34.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
56	コートジボアール	セヌフォ族の仮面 “クベリエ”	不詳	木	20.5×7.5×35.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
57	コートジボアール	セヌフォ族の仮面 “クベリエ”	不詳	木	20.0×7.0×45.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
58	ガボン(推定)	仮面	不詳	木	13.5×9.0×26.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
59	コンゴ(旧ザイール)	ソング族の仮面 “キフェベ”	不詳	木	22.5×10.5×53.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
60	ガボン	ブヌ族またはルンゴ族の仮面 “オキューイ”	不詳	白陶土、木	20.0×10.0×35.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
61	ガボン	ブヌ族またはルンゴ族の仮面	不詳	白陶土、木	19.0×10.5×33.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
62	ガボン(推定)	ファン族(推定)の仮面	不詳	彩色、木	18.0×9.0×22.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
63	ナイジェリア	ヌベ族の仮面	不詳	木	15.0×10.5×25.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
64	コンゴ(旧ザイール)	ソング族の仮面 “キフェベ”	不詳	白陶土、彩色、木	24.0×20.0×42.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
65	コンゴ(旧ザイール)	ソング族の仮面 “キフェベ”	不詳	木	30.0×28.0×61.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵先
66	コンゴ (旧ザイール)	バソング族の仮面 “キフェベ” (雌)	不詳	木	20.0×17.0×37.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
67	コンゴ (旧ザイール)	ソング族 (推定) の仮面	不詳	彩色、木	20.5×10.0×37.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
68	コンゴ (旧ザイール)	ルバ族の仮面	不詳	彩色、木	23.0×10.5×24.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
69	コンゴ (旧ザイール)	ペンデ族の仮面 “ムブヤ”	不詳	木	13.5×9.0×22.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
70	コンゴ (旧ザイール)	子ども用仮面	不詳	彩色、木	13.5×11.0×24.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
71	モザンビーク	マコンデ族のヘルメット型仮面	不詳	木	19.0×27.0×22.5	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
72	モザンビーク	マコンデ族のヘルメット型仮面	不詳	木	20.5×28.0×24.0	札幌芸術の森美術館蔵 (橋本信夫・邦江コレクション)
4章 FACEは語る						
73	深井克美	黄昏	1973	油彩、キャンバス	116.3×80.6	北海道立近代美術館蔵
74	深井克美	バラード	1973	油彩、キャンバス	116.5×73.6	北海道立近代美術館蔵
75	深井克美	作品 1	1972	油彩、キャンバス	116.8×91.0	北海道立近代美術館蔵
76	森村泰昌	寒雀寒鳩 (御舟)	1990	カラー写真プリント、印画紙	132.9×97.8	北海道立帯広美術館蔵
77	森村泰昌	野菜涅槃 (若冲)	1990	カラー写真プリント、印画紙	185.3×100.1	北海道立帯広美術館蔵
78	郭 徳俊	カーターと郭	1981	シルクスクリーン、紙	52.0×36.0	北海道立近代美術館蔵
79	郭 徳俊	ブッシュ2001Ⅱと郭	2005	シルクスクリーン、紙	52.5×36.7	北海道立近代美術館蔵
80	郭 徳俊	クリントンと郭	1993	シルクスクリーン、紙	54.8×41.2	北海道立近代美術館蔵
81	郭 徳俊	オバマと郭	2009	シルクスクリーン、紙	51.6×36.7	北海道立近代美術館蔵
82	鈴木涼子	私は…No.30	2015	タイプCプリント	160.0×120.0	北海道立近代美術館蔵
83	鈴木涼子	私は…No.12	2015	タイプCプリント	120.0×180.0	北海道立近代美術館蔵
84	クリスチャン・ボルタ ンスキー	モニュメント：ディジョンの 子どもたち	1987	写真、メタルフレーム、ガラ ス、電球、電線	75.0×7.2×164.0	北海道立近代美術館蔵
85	伽井丹彌	ひーかがみ	2014	アクリル絵具、桐塑、ガラス 他	高さ120.0	作家蔵
86	伽井丹彌	Anima	2015	アクリル絵具、桐塑、ガラス 他	高さ120.0	作家蔵
87	伽井丹彌	Lilith	2017	アクリル絵具、桐塑、ガラス 他	高さ120.0	作家蔵
88	伽井丹彌	精霊 (プシュケ) の蘇生 V	2011	オールビスク・ガラス他	高さ145.0	作家蔵
89	舟越 桂	そこだけの冬	1997	楠に彩色、大理石、ブリキ	37.0×38.0×87.0	中原悌二郎記念 旭川市彫刻美術館蔵
90	舟越 桂	雪の上の影	2002	楠に彩色、大理石	70.0×46.0×129.0	札幌芸術の森美術館蔵
91	舟越 桂	点の中の距離	2003	楠に彩色、大理石	55.0×30.0×91.0	中原悌二郎記念 旭川市彫刻美術館蔵

* 第3章については制作された国名を表記した。

* 寸法は平面作品が縦×横、立体作品は注記以外が幅×奥行×高さ。



53 不詳「バウレ族の仮面 “ゴリ・プレプレ” コートジボアール」



88 伽井丹彌「精霊 (プシュケ) の蘇生 V」

ナショナル ジオグラフィック写真展 地球の真実

会期＝平成30年 4月7日(土)－6月17日(日) 62日間

主催＝北海道立帯広美術館

協力＝日経ナショナル ジオグラフィック社、キャノンマーケティングジャパン株式会社、富士フイルム株式会社
企画協力＝株式会社クレヴィス

観覧料＝一般720(550)円、高大生410(300)円、中学生以下無料
(帯広美術館ボランティア「しらかばの会」平成30年度無料招待事業)

高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料。

()内は10名以上の団体、前売り、リピーター割引料金。

関連事業

ギャラリー・ツアー

日時＝4月7日(土)、5月19日(土) 午後2時～(約30分)

ご案内＝蘭部容子(当館主任学芸員)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「分身マン」

日時＝4月21日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

美術講演会

「ナショナル ジオが見た地球の真実」

講師＝大塚茂夫氏(『ナショナル ジオグラフィック日本版』編集長)

日時＝5月5日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料)

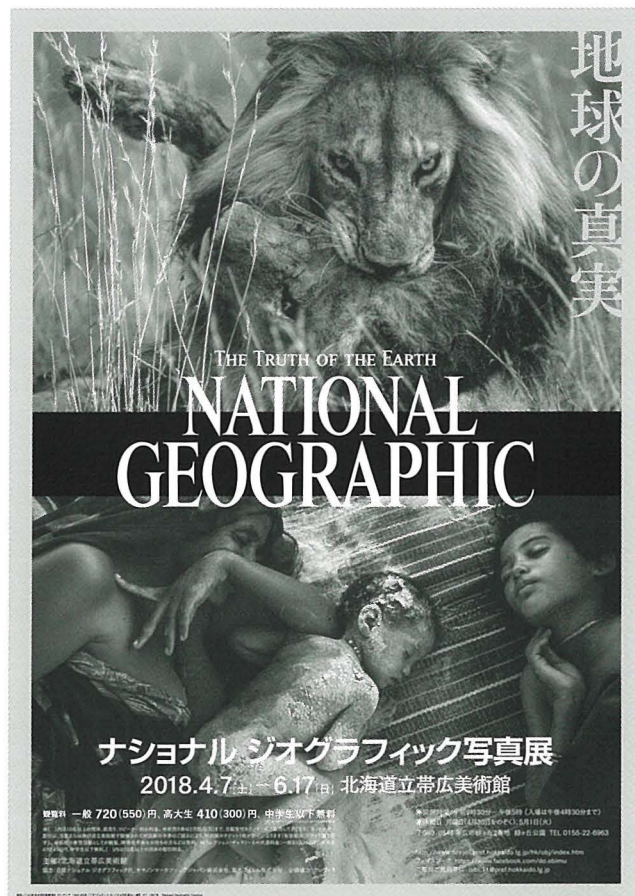
ギャラリー・トーク

「編集長によるナショナル ジオ作品解説」

講師＝大塚茂夫氏(『ナショナル ジオグラフィック日本版』編集長)

日時＝5月6日(日) 午後2時～(約40分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)



ポスター

美術講演会

「北海道と写真の記録性」

講師＝飯沢耕太郎氏(写真評論家)

日時＝5月12日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料)

ギャラリー・トーク

講師＝飯沢耕太郎氏(写真評論家)

日時＝5月13日(日) 午後1時～(約40分)

会場＝当館講堂、主展示室(聴講無料)

キッズ・ツアー

日時＝6月2日(土) 午後2時～(約30分)

講師＝藺部容子(当館主任学芸員)

会場＝当館主展示室(要観覧券、中学生以下無料)

関連記事

池谷智仁「自然の驚異 伝える108点」十勝毎日新聞／4月7日(土)

米田真梨子「タイタニック、海中洞窟…ずらり108点」北海道新聞(帯広・十勝版 朝刊)／4月8日(日)

村本典之「ナショナルジオ写真展」北海道新聞(朝刊 管内版)／4月21日(土)

藺部容子「おびひろミュージアム通信67 ナショナルジオグラフィック写真展」／4月30日(月)

東野純也「日本版編集長 写真を解説」北海道新聞(帯広・十勝版 朝刊)／5月8日(火)

東野純也「好評の写真展、若い人に見てほしい」北海道新聞(帯広・十勝版 朝刊)／5月16日(木)

松田亜弓「ナショナルジオ展5000人達成」十勝毎日新聞／5月16日(金)

藺部容子「地球の真実 ナショナルジオ写真展から 1～6」十勝毎日新聞／5月18日(金)～5月23日(木)

大庭イサク「とかちフォトギャラリー 地球の真実 胸に迫る」北海道新聞(帯広・十勝版 朝刊)／5月31日(木)

「ナショナル ジオグラフィック協会」は、1888年に「地理知識の普及と振興」を目指して設立され、米国ワシントンD.C.に本部を構える世界有数の非営利科学・教育団体である。一世紀以上にわたり、自然・動物・文化・歴史・科学などさまざまな「まだ見ぬ地球の姿」を、月刊誌『ナショナル ジオグラフィック』を通じて世界に伝えてきた。「マチュピチュの発掘」や「タイタニック号の発見」など、多くの著名な探検家や科学者、研究者たちの活動を支援して得られた記録の数々は、徹底した取材と世界有数の写真家たちによる美しく迫力あふれる作品によって、驚嘆と感動を与え続けている。

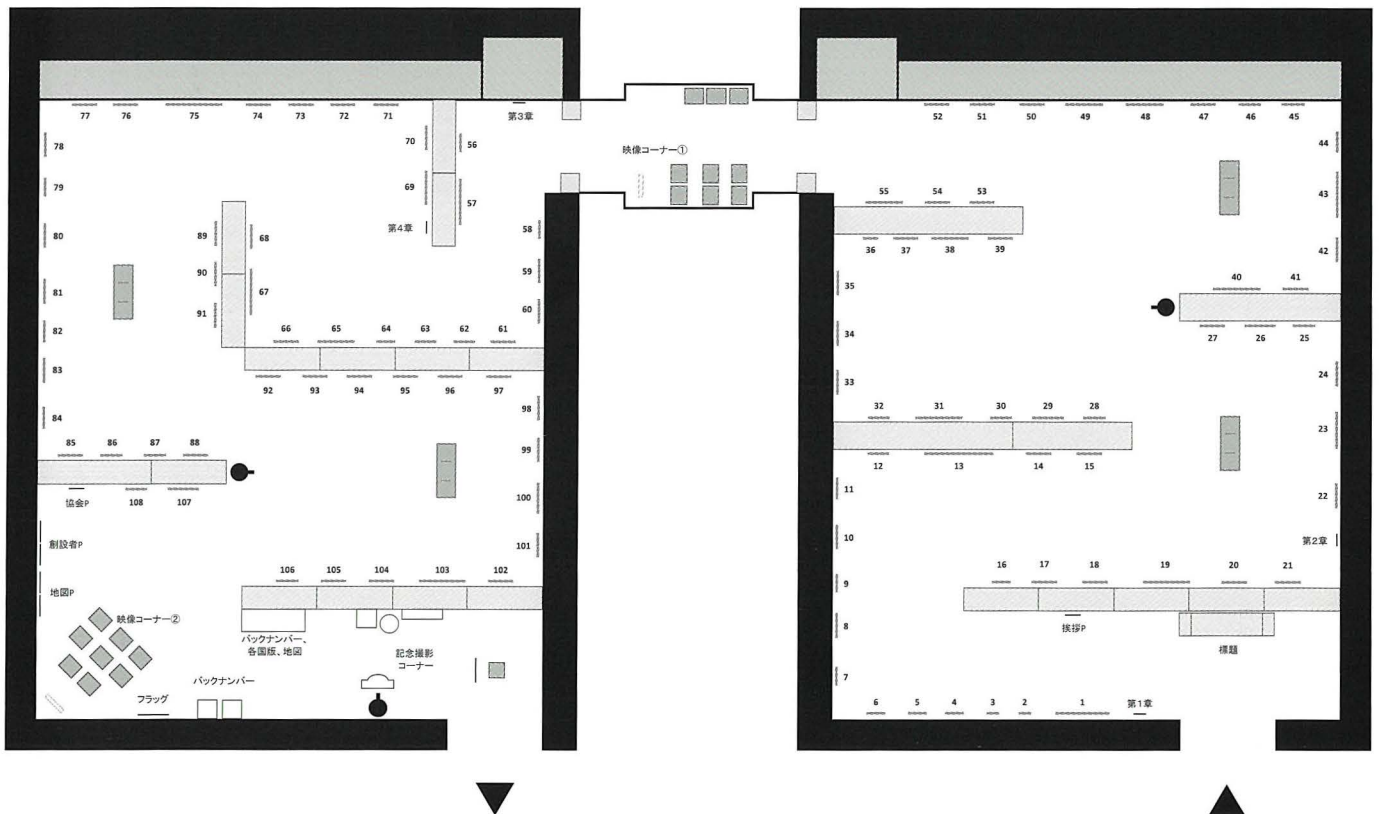
本展覧会は、1,100万点におよぶ膨大な写真コレクションの中から、大自然の驚異や野生動物の未知なる姿、異国の多様な暮らしや文化、古代遺跡の発見など、観る者の心に深く刻み込まれる写真の数々を紹介した。写真が持つ“真実を伝える力”を感じ取り、「地球と人をより広く、より深く知る」手がかりとなることを図った。展示室出口には記念撮影コーナーを設けて動物のぬいぐるみや民族衣装とともに撮影を楽しんでいた子どもなど、子供から大人まで7,840人にのぼる入場者を迎えた。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

No.	撮影者	作品名	撮影場所	撮影年	寸法 (cm)
■冒険・探検の記録					
1	ハイラム・ビンガム	伝説の都市、マチュピチュ	ペルー	1912	54.0×174.0
2	撮影者不詳	ロバート・E・ピアリ	カナダ北極地域	1906	60.0×40.0
3	撮影者不詳	インドへ	インド	1947	60.0×40.0
4	ドナルド・マクリーシュ	地球半周の旅	エジプト	1921	40.0×60.0
5	パシフィック&アトランティック・フォト	グアノ	ペルー	1927	40.0×60.0
6	メイナード・オーエン・ウィリアムズ	シトロエン・アールト中央アジア探検隊	中国	1931	40.0×60.0
7	ニール・M・ジャッド	正確な地図を作る	米国	1922	40.0×60.0
8	スティーブン・アルバレス	南アンデス霊峰プロジェクト	ペルー	1987	54.0×81.0
9	ヨハン・ラインハルト	氷の少女	ペルー	1995	81.0×54.0
10	ウィル・スティーガー	束の間の休息	南極	1989	54.0×81.0
11	デビッド・デュビレ	深海に向かう	日本	1989	48.0×72.0
12	デビッド・デュビレ	空と海、アカエイと雲	英国領ケイマン諸島	1990	48.0×72.0
13	ウェス・C・スカイルズ	バハマの水中洞窟	バハマ	2009	63.0×220.0
14	デビッド・デュビレ	眠る零戦	バプアニューギニア	1986	54.0×81.0
15	エモリー・クリストフ	タイタニック号の発見	北大西洋	1991	54.0×81.0
16	カーステン・ペーター	エトナ山	イタリア	2001	81.0×54.0
17	カーステン・ペーター	噴火口の縁で	エチオピア	2004	54.0×81.0
18	カーステン・ペーター	地球の鼓動	コンゴ	2011	54.0×81.0
19	カーステン・ペーター	世界最大の結晶洞窟	メキシコ	2008	100.0×150.0
20	カーステン・ペーター	世界最大級の洞窟群	ベトナム	2010	54.0×81.0
21	スティーブン・アルバレス	マジリス・アル・ジン洞窟	オマーン	2003	54.0×81.0
■野生の世界					
22	クリス・ジョンズ	乾いた大地を行く	南アフリカ	1996	54.0×81.0
23	岩合光昭	挑戦者	タンザニア	1982-83	80.0×120.0
24	岩合光昭	親子のきずな	タンザニア	1982-83	54.0×81.0
25	ジョージ・スタインメッツ	湿原を行く	ケニア	2005	48.0×72.0
26	フランス・ランティンダ	たそがれどきの巨人たち	ボツワナ	1988	66.5×100.0
27	マイケル・ニコルズ	威嚇するマルミミゾウ	中央アフリカ	1993	54.0×81.0
28	ビバリー・ジュベール	夜の水場	ボツワナ	1992	48.0×72.0
29	マイケル・ニコルズ	泥浴び	ケニア	2008	66.5×100.0
30	フランス・ランティンダ	アフリカスイギュウ	ボツワナ	2011	48.0×72.0
31	ジム・ブランデンバーク	砂丘のオリックス	ナミビア	1981	100.0×150.0
32	マイケル・ニコルズ	キリンの群れ	タンザニア	2011	48.0×72.0
33	マイケル・ニコルズ	消えゆく怪獣たち	チャド	2007	54.0×81.0
34	マイケル・ニコルズ	ゲラダヒヒの群れ	エチオピア	2002	54.0×81.0
35	スティーブン・アルバレス	デッケンシファカ	マダガスカル	2009	54.0×81.0



23 岩合光昭「挑戦者」



42 ジム・ブランデンバーク「ホッキョクオオカミ」

No.	撮影者	作品名	撮影場所	撮影年	寸法 (cm)
36	岩合光昭	スノーモンキー	日本	1993	72.0×48.0
37	クリスチャン・ツィーグラ	ヒクイドリ	オーストラリア	2012	54.0×81.0
38	ティム・レイマン	極楽鳥	インドネシア	2010	80.0×120.0
39	クリスチャン・ツィーグラ	決定的瞬間	パナマ	2008	54.0×81.0
40	ポール・ニックレン	スピリット・ベア	カナダ	2011	100.0×150.0
41	ボルゲ・オウスラン	好奇心	ロシア	2007	54.0×81.0
42	ジム・ブランデンバーグ	ホッキョクオオカミ	カナダ	1986	54.0×81.0
43	ジョエル・サートレイ	畏にかかったオオカミ	米国	1997	100.0×150.0
44	フリップ・ニクリン	イッカクのオス	カナダ	1987	48.0×72.0
45	イバ・モマトーク&ジョン・イーストコット	ミナミゾウアザラシの兄弟	英国領 サウスジョージア島	2010	48.0×72.0
46	ポール・ニックレン	穴の中から	カナダ	2004	48.0×72.0
47	デビッド・デュビレ	ペンギンと氷塊	南極	2011	54.0×81.0
48	ポール・ニックレン	海を飛ぶペンギン	南極	2012	80.0×120.0
49	マリア・ステンゼル	ヒゲペンギン	南極	2006	80.0×120.0
50	ポール・ニックレン	ヒョウアザラシの贈り物	南極	2006	54.0×81.0
51	デビッド・デュビレ	グレート・バリア・リーフ	オーストラリア	2011	54.0×81.0
52	デビッド・デュビレ	アシカの楽園	オーストラリア	1984	54.0×81.0
53	ビル・カートシンガー	30余年を経て	マーシャル諸島	1990	54.0×81.0
54	ブライアン・スケリー	ミナミセミクジラ	ニュージーランド	2008	54.0×81.0
55	ブライアン・スケリー	ジンベエザメ	メキシコ	2009	80.0×120.0
映像 映像で見る National Geographic の世界					約 8 分

■自然科学

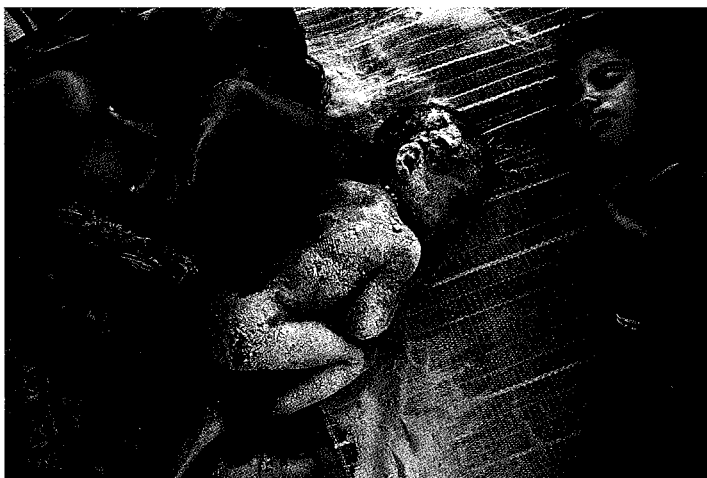
56	マイケル・ニコルズ	静かなる森の巨人	米国	2008	210.0×63.0
57	フランス・ランティング	朝日が描く絵画	ナミビア	2011	100.0×150.0
58	ジェームズ・L・スタンフィールド	干ばつとの戦い	オーストラリア	1974	40.0×60.0
59	ステーブ・マッカリー	モンスーン前の砂嵐	インド	1983	54.0×81.0
60	カーステン・ペーター	巨大竜巻との死闘	米国	2003	54.0×81.0
61	アリソン・ライト	崩壊した首都	ハイチ	2010	54.0×81.0
62	レアード・S・ブラウン	皆既日食	カナダ	1963	81.0×54.0
63	ロジャー・H・レスマイヤー	人工の星	米国	1992	48.0×72.0
64	ブルース・デール	光の軌跡	米国	1977	48.0×72.0
65	ボブ・サシャ	地図が開く新世界	米国	1998	80.0×120.0
66	ブレント・スタートン	マウンテンゴリラの悲劇	コンゴ	2007	54.0×81.0
67	マイケル・ニコルズ	動物の心が開いた瞬間	コンゴ	1991	100.0×150.0
68	スーザン・ミドルトン&デビッド・リトシュワガー	幼いコアホウドリの死因	ハワイ	撮影年不明	54.0×81.0

■人類と文化

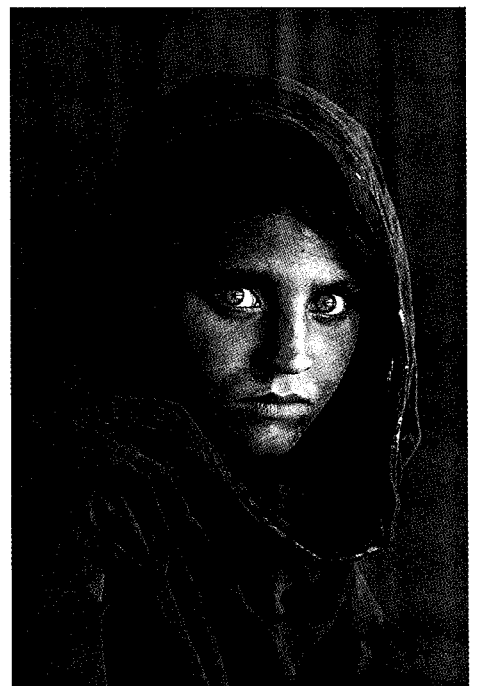
69	マーティン・ショラー	ハッザ族の少年、ナイジャ	タンザニア	2008	150.0×110.0
70	クリス・ジョンズ	村の夜明け	ザンビア	1996	54.0×81.0
71	キャロル・ベックウィズ	ヤアケ	ニジェール	1983	54.0×81.0
72	ジェームズ・ナクトウェイ	コーサ族の若者	南アフリカ	1992	54.0×81.0
73	ジョアンナ・B・ビネオ	永遠の一瞬	マリ	1997	54.0×81.0
74	ジェームズ・L・スタンフィールド	泥のモスク	マリ	1990	54.0×81.0
75	野町和嘉	タッシリ・ナジェール	アルジェリア	1978	144.0×180.0
76	クリス・ジョンズ	長い影	ジブチ	1989	54.0×81.0
77	ステーブ・マッカリー	戦地を逃げ惑うラクダ	クウェート	1991	54.0×81.0
78	トマス・J・アパークロンビー	イスラム最大の巡礼	サウジアラビア	1965	54.0×81.0
79	トマス・J・アパークロンビー	かごの中の鳥	アフガニスタン	1967	81.0×54.0
80	ステーブ・マッカリー	アフガン難民の少女	パキスタン・アフガニスタン国境	1984	120.0×80.0
81	リンジー・アダリオ	出産間近のトラブル	アフガニスタン	2009	54.0×81.0
82	デビッド・アラン・ハーベイ	セヌ川を下る船で	フランス	1988	48.0×72.0
83	デビッド・アラン・ハーベイ	若さと享楽	スペイン	1991	54.0×81.0
84	デビッド・アラン・ハーベイ	ベンテコステの巡礼	スペイン	1992	48.0×72.0
85	ジェームズ・L・スタンフィールド	ローマ水道橋	スペイン	1997	54.0×81.0
86	ロバート・カプート	特別な存在	エリトリア	1996	54.0×81.0
87	アルバート・モルドベイ	羊飼いの男たち	ハンガリー	1971	48.0×72.0
88	ジェームズ・P・ブレア	撮る側と撮られる側	旧ユーゴスラビア	1969	54.0×81.0

No.	撮影者	作品名	撮影場所	撮影年	寸法 (cm)
89	ディーン・コンガー	オイミヤコン	旧ソ連	1974	54.0×81.0
90	サム・エイベル	洋梨とクレムリン	旧ソ連	1983	54.0×81.0
91	ウィリアム・アルバート・アラード	ヘンリー・グレイ	米国	1970	54.0×81.0
92	ウィリアム・アルバート・アラード	孤独のカウボーイ	米国	1979	54.0×81.0
93	サム・エイベル	モンタナのカウボーイ	米国	1984	54.0×81.0
94	ダイアン・クック& レン・ジェンシェル	マンハッタンの中公園	米国	2011	54.0×81.0
95	ジョディ・コップ	アメリカの縮図	米国	1988	54.0×81.0
96	ジョディ・コップ	地下鉄のサンタ	米国	1987	54.0×81.0
97	ステファニー・シンクレア	一夫多妻制を掲げる教団	米国	2010	54.0×81.0
98	トマス・トマシェフスキー	信仰と家族	メキシコ	1996	54.0×81.0
99	ウィリアム・アルバート・アラード	羊飼いの少年の涙	ペルー	1981	54.0×81.0
100	ケネス・ギャレット	コパン遺跡	ホンジュラス	1988	54.0×81.0
101	ウィルバー・E・ギャレット	ベトナム人の母親	旧南ベトナム	1968	48.0×72.0
102	マイケル・ヤマシタ	メコン川	ベトナム	1991	54.0×81.0
103	スティーブ・マッカリー	スリランカの漁師	スリランカ	1997	100.0×150.0
104	ランディ・オルソン	鳥に忍び寄るハンター	パキスタン	1998	54.0×81.0
105	スティーブ・レイマー	バングラデシュ 飢饉	バングラデシュ	1974	54.0×81.0
106	ブルース・デール	30年ぶりに	中国	1979	66.5×100.0
107	マイケル・ヤマシタ	ラプラン寺	中国	2001	66.5×100.0
108	デビッド・エドワーズ	鷹匠	モンゴル	1999	48.0×72.0
映像 傑作写真に秘められた物語					約15分30秒

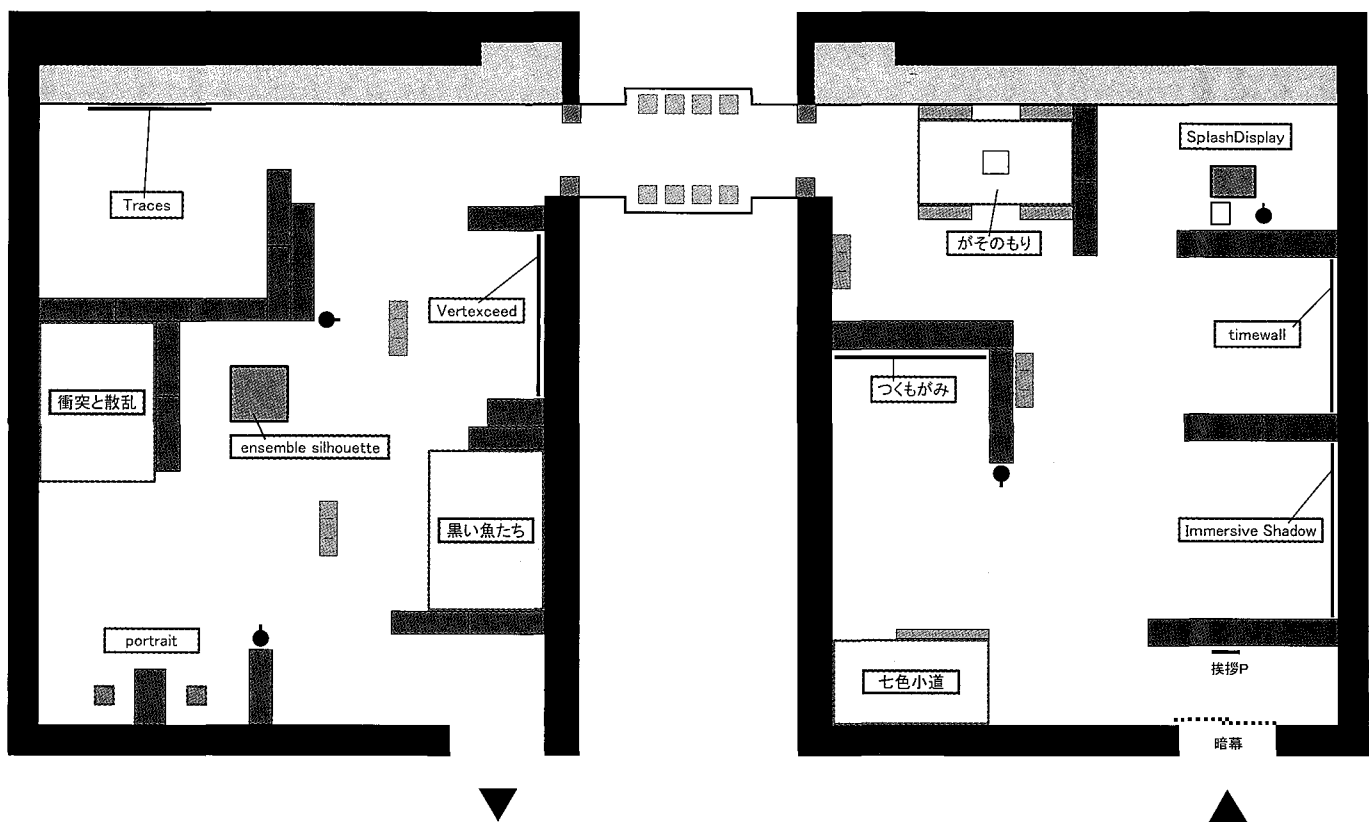
* 寸法は縦×横。



73 ジョアンナ・B・ピネオ「永遠の瞬間」



80 スティーブ・マッカリー
「アフガン難民の少女」



展示図面



4 田中 陽「timewall」 ©you TANAKA



6 重田佑介「がそのもり」 ©yusuke SHIGETA

関連記事

鰐淵小百合「光と映像のアート ビックリ」北海道新聞／7月1日(日)
 石川友史「見て触ってびっくり『魔法の美術館』開幕」十勝毎日新聞／7月1日(日)
 野田佳奈子「おびひろミュージアム通信68 動きに合わせ光や映像変化」釧路新聞／7月2日(月)
 石川友史、細谷敦生「触って楽しむ メディアアート」十勝毎日新聞／7月7日(土)
 「体験型アート『楽しい』」十勝毎日新聞／7月15日(日)
 石川友史「小学生向けに工作 小箱の中に水族館」十勝毎日新聞／7月31日(火)
 大庭イサク「とかちフォトギャラリー 楽しい！体験型アート」北海道新聞／8月2日(木)
 牧内奏「形や音の『不思議』体験」十勝毎日新聞／8月23日(木)
 池田緑「編集余録 魔法の美術館」十勝毎日新聞／9月2日(日)

近年、“メディア・アート”と呼ばれる美術作品が注目を集めている。これは、コンピューターなどのデジタル技術を駆使して制作された作品を主に指し、鑑賞者の動作に反応して様々に変化するという特徴を有している。

本展は、“見て、触って、楽しめる体感型の展覧会”をテーマに、気鋭のアーティストたちによるメディア・アート12点を紹介。鑑賞者が参加することであふれ出る光、はじける音、移り変わる映像など、作品の意外な反応や美しさを楽しむことを通じて、美術に親しんでいただく機会となることを目指した。

会期中には、身近な物の中にある美しさや面白さを見出すワークショップ「体験！カタチと音のふしぎ」や、帯広美術館振興会幹事の方々を講師とした工作ワークショップ「光の水族館」などを実施。また「しらかばの会」の運営によるミュージアムショップとティーラウンジで関連グッズや期間限定メニューを取り扱うなど、全館上げて展覧会を盛り上げる工夫に取り組んだ。

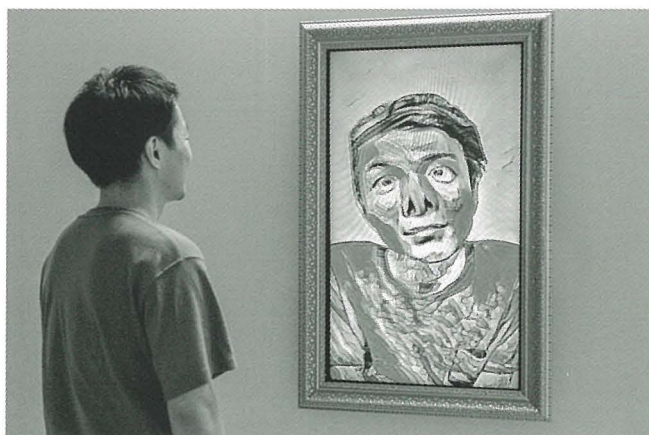
学校での団体利用だけでなく、家族連れの方々などで連日賑わい、閉幕までに30,492人の来場者を迎えた。未就学児を連れた来館者も多く見られ、本展が美術館に初めて足を運ぶきっかけとなったと考えられる。

出品目録

No.	作家名	作品名	所蔵先
1	坪倉輝明	七色小道	作家蔵
2	坪倉輝明	つくもがみ	作家蔵
3	藤本直明	Immersive Shadow	作家蔵
4	田中 陽	timewall	作家蔵
5	的場やすし、山野真吾、徳井太郎	SplashDisplay	作家蔵
6	重田佑介	がそのもり	作家蔵
7	岡田憲一	Traces	作家蔵
8	坪倉輝明	Vertexceed	作家蔵
9	宮本昌典、小岩原直志	ensemble silhouette	作家蔵
10	藤本直明	黒い魚たち	作家蔵
11	藤本直明	衝突と散乱	作家蔵
12	宮本昌典、田中 陽	portrait	作家蔵



8 坪倉輝明「Vertexceed」©teruaki TSUBOKURA



12 宮本昌典／田中陽「portrait」
©masanori MIYAMOTO/you TANAKA

神田日勝と道東の画家たち & 岡沼淳一・木彫の世界

会期＝平成30年 9月15日(土)－12月2日(日) 69日間
主催＝北海道立帯広美術館

協力＝神田日勝記念美術館

特別協賛＝帯広信用金庫、帯広大谷短期大学

協賛＝東北海道日野自動車株式会社、北海道クリーンシステム
株式会社帯広支店、FLOWMOTION café and gallery

観覧料＝一般700(530)円、高大生400(290)円、中学生以下無料
()内は、10名以上の団体、前売り、リピーター割引
料金
高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの
方などは無料

関連事業

特別展セミナー「神田日勝、岡沼淳一：作品を読み解く」

講師＝光岡幸治(当館学芸課長)

日時＝9月22日(土)、11月24日(土) 各日午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料)

キッズ・ミュージアム「はっぱで遊ぼう」

日時＝9月29日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

アーティスト・トーク

「ニレの木に魅せられて－その半世紀を語る」

講師＝岡沼淳一氏(彫刻家、本展出品作家)

日時＝10月6日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂および主展示室

(参加料：一般530円、高大生290円)

トーク＆ワーク

「神田日勝の絵画－デッサン帳、スクラップ・ブックの調査か
らわかること」

講師＝川岸真由子氏(神田日勝記念美術館学芸員)、
光岡幸治(当館学芸課長)

日時＝10月13日(土)、14日(日) 各日午後2時～3時30分

会場＝当館講堂および主展示室

(参加料：一般530円、高大生290円)

ワークショップ「おとなの油絵入門」

講師＝齊藤隆博氏(画家、全道展会員、本展出品作家)

日時＝10月27日(土)、28日(日) 各日午前10時～午後3時

会場＝当館講堂および主展示室(参加料500円)

共催＝帯広美術館振興会



ポスター

キッズ・ツアー

講師＝光岡幸治(当館学芸課長)

日時＝11月10日(出) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券、中学生以下無料)

ミュージアム・コンサート「オーボエの演奏」

出演＝太田妃佳里氏(オーボエ)

日時＝11月11日(日) 午後3時～(約40分)

会場＝当館ロビー(入場無料)

共催＝帯広美術館振興会

オビビ・キッズ・アートフェスタ2018

日時＝11月17日(出) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂、展示室(保護者の方は要観覧券)

関連記事

池谷智仁「神田日勝展が開幕 岡沼さん彫刻展も」十勝毎日新聞／9月15日(出)

石垣総静「神田日勝 作風の変遷は 帯広美術館で企画展」北海道新聞(帯広・十勝版・朝刊)／9月16日(日)

光岡幸治「アート@音更町 彫刻家・岡沼淳一 山登りの記憶 結晶化」北海道新聞(全道版・夕刊)／10月1日(日)

光岡幸治「おびひろミュージアム通信 二つの企画展を開催」釧路新聞／10月15日(日)

光岡幸治「ほっかいどうアート紀行 十勝 悠久の時を表現する 岡沼淳一」朝日新聞(北海道版)／10月17日(水)

奥野秀康「画家講師に油絵を楽しむ 帯広美術館で講座」十勝毎日新聞／11月10日(出)

大庭イサク「道東芸術の系譜たどる 帯広美術館で神田日勝、岡沼淳一らの秀作展示」北海道新聞(帯広・十勝版・朝刊)／11月15日(水)

神田日勝(1937-70)は、東京生まれ鹿追町に開拓農民として入植した。農業に従事するかたわら画家として旺盛な制作活動を展開。その短い生涯において人や農耕馬、牛、画室、社会風俗などをモチーフに、真摯なまなざしと深い思索によって生み出された数々の作品は高い評価を受け、現在北海道美術史を代表する作家の一人と位置づけられている。

本展は、神田日勝記念美術館の所蔵品を中心に、初期から晩年までの作品と、同時代を生きた画家たちの作品で構成し、道東地域の活発な美術動向の一端を紹介した。また、関連事業においては最新の日勝研究の結果を発表する機会を設けた。

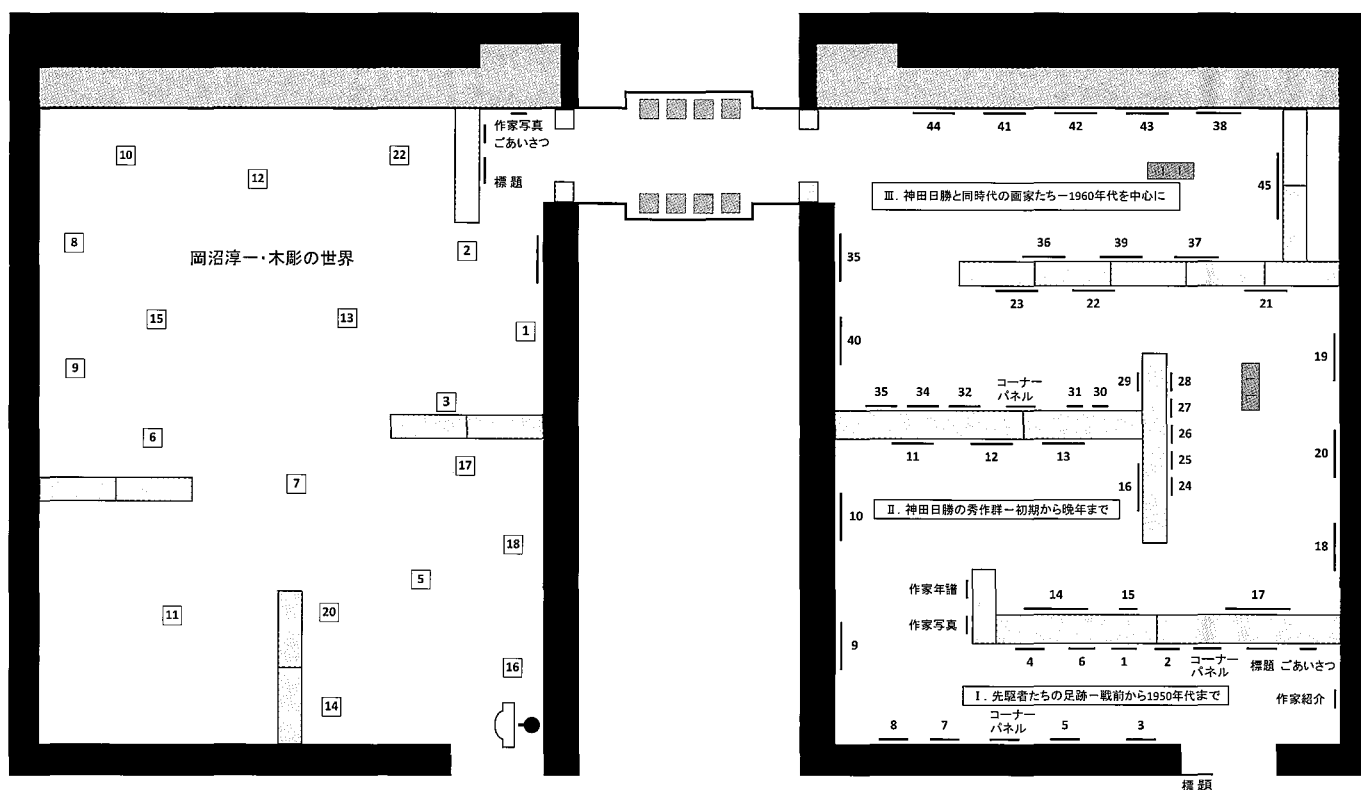
岡沼淳一(1944-2019)は函館市生まれ、22歳の時に教員として赴任した十勝の地を拠点に、長きにわたって全道展、自由美術展(2003年退会)や各種のグループ展、個展に出品を重ねた。本展では十勝川水系のニレの埋もれ木を素材にした、緊張感あるフォルムを特徴とする木彫作品を中心に岡沼淳一の造形世界を紹介、合わせて作家自身が自作を語る事業を開催した。



会場風景／神田日勝と道東の画家たち



会場風景／岡沼淳一・木彫の世界



「岡沼淳一・木彫の世界」出品作品のうち
No.4は当館中庭に展示
Nos.19、21は当館ロビーに展示

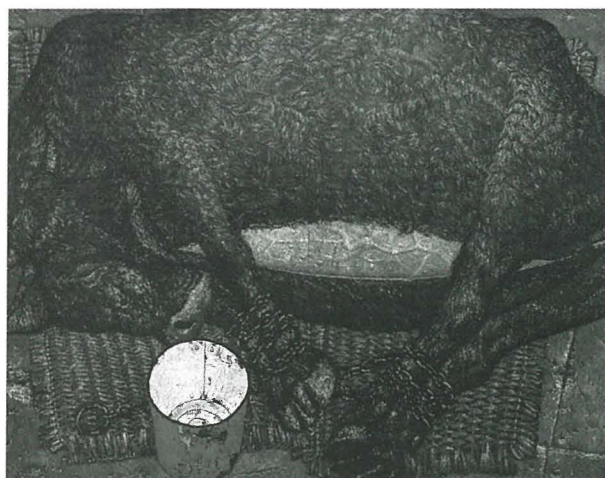
展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵
神田日勝と道東の画家たち						
I. 先駆者たちの足跡ー戦前から1950年代まで						
1	伊藤隆二	初秋	1935 (昭和10)	油彩、キャンバス	80.7×116.8	帯広市蔵 当館寄託
2	菅野 要	温室の見える風景	1941 (昭和16)	油彩、キャンバス	38.2×45.6	当館蔵
3	小林守材	風景	1948 (昭和23)	油彩、板	58.0×79.0	当館蔵
4	八楯一郎	糠平の風景	1956 (昭和31)	油彩、キャンバス	50.0×60.6	帯広市蔵 当館寄託
5	寺島春雄	柵と人	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	162.1×130.7	当館蔵
6	能勢真美	木々	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	162.1×130.3	当館蔵
II. 神田日勝の秀作群ー初期から晩年まで						
7	神田日勝	自画像	1956 (昭和31) 頃	油彩、キャンバス	41.4×28.0	神田日勝記念美術館蔵
8	神田日勝	瘦馬	1956 (昭和31)	油板、板	52.3×61.0	帯広市蔵 当館寄託
9	神田日勝	家	1960 (昭和35)	油彩、板	121.0×152.4	神田日勝記念美術館蔵
10	神田日勝	ゴミ箱	1961 (昭和36)	油彩、板	121.0×184.0	神田日勝記念美術館蔵
11	神田日勝	人	1962 (昭和37)	油彩、板	120.0×168.0	北海道立近代美術館蔵
12	神田日勝	板・足・頭	1963 (昭和38)	油彩、板	144.0×165.0	北海道立近代美術館蔵
13	神田日勝	一人	1964 (昭和39)	油彩、板	102.0×182.4	北海道立近代美術館蔵
14	神田日勝	飯場の風景	1964 (昭和39)	油彩、板	113.5×183.5	北海道立近代美術館蔵
15	神田日勝	自画像	1964 (昭和39) 頃	油彩、板	61.3×50.0	神田日勝記念美術館蔵
16	神田日勝	牛	1966 (昭和41)	油彩、板	144.0×182.8	北海道立近代美術館蔵
17	神田日勝	静物	1966 (昭和41)	油彩、板	143.9×183.0	神田日勝記念美術館蔵
18	神田日勝	画室 A	1966 (昭和41)	油彩、板	144.0×183.5	神田日勝記念美術館蔵
19	神田日勝	画室 D	1967 (昭和42)	油板、板	163.3×183.0	当館蔵
20	神田日勝	画室 E	1967 (昭和42)	油板、板	163.0×183.0	帯広市蔵 当館寄託

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	所蔵
21	神田日勝	人と牛 B	1968 (昭和43)	油板、板	183.5×182.5	帯広市蔵 当館寄託
22	神田日勝	室内風景	1968 (昭和43)	油彩、板	150.0×186.9	北海道立近代美術館蔵
23	神田日勝	ヘイと人	1969 (昭和44)	油彩、板	183.0×184.1	神田日勝記念美術館蔵
24	神田日勝	風景	1956 (昭和31) 頃	油彩、板	60.7×73.5	神田日勝記念美術館蔵
25	神田日勝	家	1962 (昭和37)	油彩、板	38.0×45.5	個人蔵・神田日勝記念美術館寄託
26	神田日勝	家	1962 (昭和37) 頃	油彩、板	38.6×46.9	個人蔵・神田日勝記念美術館寄託
27	神田日勝	荒野の廃家	1965 (昭和40) 頃	油彩、板	37.9×45.2	神田日勝記念美術館蔵
28	神田日勝	ポプラの道	1969 (昭和44)	油彩、キャンバス	32.0×41.3	神田日勝記念美術館蔵
29	神田日勝	扇ヶ原展望	1969 (昭和44)	油彩、キャンバス	45.5×52.9	佐野力氏蔵 神田日勝記念美術館寄託
30	神田日勝	広尾海岸	1969 (昭和44)	油彩、板	39.0×76.0	個人蔵・神田日勝記念美術館寄託
31	神田日勝	雪の農場	1970 (昭和45) 頃	油彩、キャンバス	37.5×44.7	個人蔵・神田日勝記念美術館寄託
Ⅲ. 神田日勝と同時代の画家たちー1960年代を中心に						
32	米山将治	邂逅	1958 (昭和33)	油彩、キャンバス	58.0×49.0	神田日勝記念美術館蔵
33	山本時市	作品 (追)	1960 (昭和35)	油彩、キャンバス	80.3×100.0	神田日勝記念美術館蔵
34	神田一明	赤い室内	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	123.5×144.3	北海道立近代美術館蔵
35	おおとひでお	北の砦の大将	1964 (昭和39)	油彩・紙、板	165.0×132.0	神田日勝記念美術館蔵
36	岡沼秀雄	北辺の夜〈赤い馬〉	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	162.0×131.0	神田日勝記念美術館蔵
37	齊藤隆博	開演	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	131.0×162.0	神田日勝記念美術館蔵
38	霜村英靖	闘鶏	1970 (昭和45)	油彩、キャンバス	131.0×162.0	神田日勝記念美術館蔵
39	渡邊慎祥	廃車 (B)	1970 (昭和45)	油彩、板	168.0×186.0	神田日勝記念美術館蔵
40	岸本裕躬	居間の母子	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	192.0×132.0	神田日勝記念美術館蔵
41	加地保良	オホーツクの流水 (冬の詩)	1993 (平成5)	油彩、キャンバス	116.7×91.0	神田日勝記念美術館蔵
42	徳丸 滋	雪の原	1997 (平成9)	油彩、キャンバス	33.3×53.2	神田日勝記念美術館蔵
43	中谷有逸	大地の神・碑 (月の生まれる杜)	2001 (平成13)	ステンシル版、木炭粉・石粉・ア クリル絵具等と樹脂を練り合わせ たインク、腐蝕版、アルミ、パネル	117.0×91.0	神田日勝記念美術館蔵
44	中西堯昭	緑の諧調	2013 (平成25)	油彩、キャンバス	132.0×165.0	神田日勝記念美術館蔵
45	宮澤克忠	食・喰・触・私欲・SHOCK	2013 (平成25)	油彩、板	167.0 × 265.0 (3点組)	神田日勝記念美術館蔵

* 寸法は、縦×横。



16 神田日勝「牛」



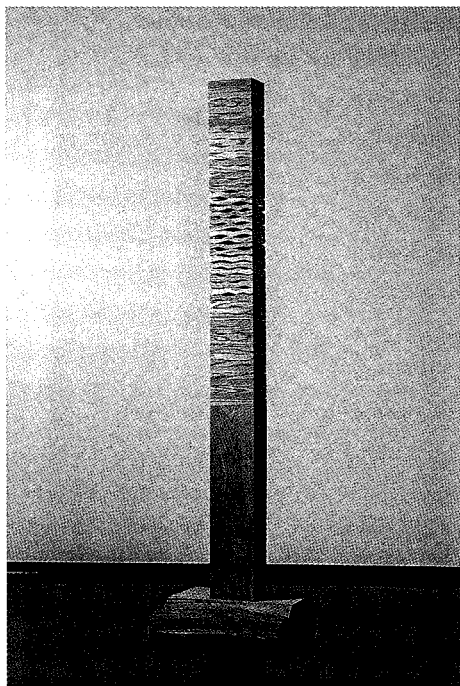
18 神田日勝「画室A」

岡沼淳一・木彫の世界

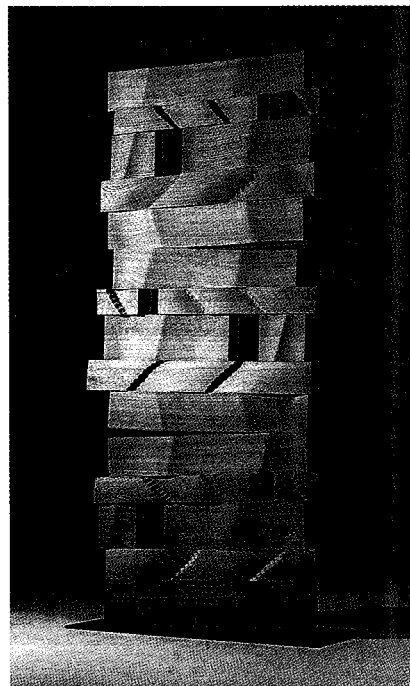
No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	標	1980 (昭和55)	埋もれ木 (ニレ)、着色 (オイルフィニッシュ)	50.0×17.0×72.0
2	源流	1982 (昭和57)	埋もれ木 (ニレ)、着色 (オイルフィニッシュ)	150.0×40.0×80.0
3	幽閉	1986 (昭和61)	埋もれ木 (ニレ)、着色 (オイルフィニッシュ)	125.0×91.0×236.0
4	溯行	1986 (昭和61) 鋳造: 1991 (平成3)	ブロンズ (原型は木彫)	150.0×300.0×135.0
5	MONSOON	1988 (昭和63)	埋もれ木 (ニレ)	185.0×44.3×190.0
6	回帰	1990 (平成2)	埋もれ木 (ニレ)、鉄	198.0×16.0×200.0
7	森を見た日	1995 (平成7)	埋もれ木 (ニレ)	223.0×13.5×222.0
8	WINTER	1996 (平成8)	埋もれ木 (ニレ)	173.5×11.5×245.0
9	空模様	1997 (平成9)	埋もれ木 (ニレ)	145.5×14.0×266.0
10	SKY-HIGH	1999 (平成11)	埋もれ木 (ニレ)	256.0×11.0×299.0
11	札内川早春	1999 (平成11)	埋もれ木 (ニレ)	298.5×298.5×90.0
12	BASIN OF FALL	2000 (平成12)	埋もれ木 (ニレ)	130.0×130.0×240.0
13	六月の翳	2004 (平成16)	埋もれ木 (ニレ)、ナラ	57.0×220.0×60.0
14	北東の空に吸われし心	2008 (平成20)	埋もれ木 (ニレ)	145.0×33.0×195.0
15	霞か雲か	2009 (平成21)	埋もれ木 (ニレ)	63.0×40.0×247.0
16	LANDSCAPE (Ripple mark)	2013 (平成25)	埋もれ木 (ニレ)	188.0×55.0×63.0
17	FROM THE HILL	2014 (平成26)	埋もれ木 (ニレ)	156.0×106.0×100.0
18	AT THE OLD ROAD	2015 (平成27)	埋もれ木 (ニレ)	105.0×10.0×230.0
19	深林をゆく	2016 (平成28)	埋もれ木 (ニレ)	69.0×69.0×295.0
20	雨のち晴れ	2017 (平成29)	埋もれ木 (ニレ)	49.0×22.0×265.0
21	MOUNTAIN TORRENT	2018 (平成30)	埋もれ木 (ニレ)	205.0×63.0×221.0
22	MOUNTAIN STREAM	2018 (平成30)	埋もれ木 (ニレ)	400.0×40.0×132.0

* 寸法は、幅×奥行き×高さ。

* No.4, 5は、当館蔵。ほかはすべて作家蔵。



15 岡沼淳一「霞か雲か」



18 岡沼淳一「AT THE OLD ROAD」

幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎 ー見る、集める、伝えるー

会期＝平成30年12月15日(土)ー平成31年2月11日(月・祝) 46日間

主催＝松浦武四郎展実行委員会(北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、十勝毎日新聞社、NPO十勝文化会議)

共催＝松浦武四郎記念館

協力＝松阪市

協賛＝共成レンテム、北洋銀行、帯広信用金庫、帯広ビル管理会社、株式会社パル・コーポレーション、株式会社マテック、クレオユニオン株式会社、損保保険ジャパン日本興亜、竹川会計事務所、東洋印刷、凸版印刷株式会社、中井会計事務所、日本生命、三井住友海上火災保険株式会社、藤丸、北海道拓殖バス、帯広ハイヤー、株式会社中島自工

後援＝公益社団法人北海道アイヌ協会

観覧料＝一般800円(600)、高大生500(390)円、中学生以下無料
高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料。

()内は10名以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。

関連事業

講演会 I

「武四郎を育んだ江戸時代の三重」

講師＝太田光俊氏(三重県総合博物館学芸員)

日時＝12月15日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料、応募制)

ワークショップ

「武四郎を支えた てん刻づくり教室」

講師＝八重柏冬雷氏(書家)

日時＝12月22日(土)、12月23日(日) 各日とも午後2時～4時

会場＝当館講堂(参加料300円程度、応募制)

キッズ・ツアー

講師＝蘭部容子(当館主任学芸員)

日時＝1月12日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券、中学生以下無料)

ワークショップ

「アイヌ刺繍作り」

講師＝高田絹代氏(かちまいアカデミー アイヌ刺繍講座講師)

日時＝1月13日(日) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(参加料300円、応募制)

北海道150年事業 | 松浦武四郎生誕200年記念 | 十勝毎日新聞創刊100周年記念事業

幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎

ー見る、集める、伝えるー 北海道立帯広美術館 Hokkaido Obihiro Museum of Art

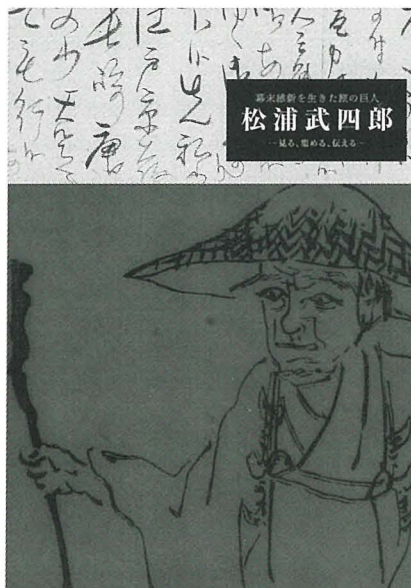
2018.12月15日(土)～2019.2月11日(月・祝)

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館日 1月15日(土)、2月11日(月・祝)、2月12日(火) 2月22日(土)～2月23日(日)、2月24日(月) 観覧券 12月15日(土)～2月11日(月・祝) 前売券 12月15日～1月14日、後期券 1月15日～2月11日 ※一部の作品を展示替え

観覧料：一般800(600)円、高大生500(390)円、中学生以下無料

※1 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※2 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※3 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※4 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※5 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※6 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※7 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※8 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※9 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※10 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※11 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※12 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※13 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※14 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※15 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※16 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※17 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※18 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※19 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※20 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※21 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※22 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※23 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※24 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※25 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※26 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※27 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※28 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※29 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※30 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※31 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※32 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※33 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※34 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※35 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※36 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※37 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※38 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※39 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※40 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※41 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※42 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※43 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※44 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※45 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※46 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※47 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※48 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※49 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※50 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※51 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※52 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※53 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※54 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※55 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※56 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※57 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※58 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※59 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※60 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※61 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※62 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※63 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※64 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※65 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※66 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※67 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※68 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※69 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※70 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※71 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※72 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※73 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※74 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※75 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※76 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※77 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※78 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※79 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※80 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※81 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※82 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※83 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※84 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※85 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※86 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※87 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※88 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※89 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※90 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※91 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※92 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※93 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※94 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※95 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※96 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※97 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※98 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※99 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。
※100 1円は最低以上の団体、前売、リピーター、相互割引料金。

ポスター



図録

講演会Ⅱ

「武四郎研究の今」

講師＝三浦泰之氏(北海道博物館学芸員)

日時＝1月14日(月) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料、応募制)

講演会Ⅲ

「天下の奇男児に御座候」

講師＝河治和香氏

(小説『がいなもん－松浦武四郎一代－』著者)

日時＝1月20日(日) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料、応募制)

武四郎誕生日プレゼント

(先着100名にポストカードのプレゼント)

日時＝2月6日(木)

会場＝当館総合受付

キッズ・ミュージアム

「たんけん！地図づくり」

日時＝2月9日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

「武四郎スゴロクで遊ぼう！」

日時＝会期中の講堂が使われていない日

会場＝当館講堂(参加無料)

おびひろ氷まつり協賛事業

「美術館 de 氷まつり 2019」

日時＝2月1日(金)～2月3日(日)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、松浦武四郎展実行委員会(北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、十勝毎日新聞社、NPO十勝文化会議)

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みどり花のセンター

・「武四郎とめぐる緑ヶ丘スタンプラリー」

日時＝2月1日(金)～2月3日(日) 各日とも午前9時30分～午後5時

会場＝当館ロビー、氷まつり本会場(午前10時～)、帯広百年記念館、帯広市児童会館、みどり花のセンター(参加無料)

・「ミッション in てんらんかい☆」

日時＝2月1日(金)～2月3日(日)

各日とも午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館主展示室(要観覧券、中学生以下無料)

・「武四郎スゴロクで遊ぼう！」

日時＝2月1日(金)～2月3日(日)

各日とも午前9時30分～午後5時

会場＝当館講堂(入場無料)

・「ミュージアム・ツアー」

日時＝2月2日(土)、2月3日(日) 各日とも午後3時～(約60分)

案内＝当館学芸員

会場＝当館主展示室、収蔵庫、地下ほか(要観覧券、中学生以下無料)

図録

規格＝29.7×21.0cm(A4判)／総頁数160ページ

構成＝ごあいさつ／三浦泰之「3つのキーワードでひもとく松浦武四郎の生涯」／松浦武四郎、主な旅の足跡／プロローグ 一畳敷／第1章 〈旅の巨人〉武四郎の誕生／第2章 〈憂北の志士〉武四郎／第3章 〈情報通〉武四郎／第4章 〈北海道の名付け親〉武四郎／第5章 〈旅の終焉〉武四郎の晩年／第6章 〈蒐集家〉武四郎／エピローグ ふたたび一畳敷へ／山本命「武四郎の道は未来へとつづく」／資料編／松浦武四郎年譜／武四郎が交友した主な人物／展示資料リスト／松浦武四郎を知るために(参考文献・関連文献)

関連記事

宮木宗久『『北海道』命名から150年』十勝毎日新聞／2018年1月1日(月)

藤島諒司・宮木宗久「お宝と昼寝 これも武四郎」十勝毎日新聞(特別版 Motto かちまい)／11月24日(土)

藺部容子「おびひろミュージアム通信 武四郎の生涯たどる」釧路新聞／12月3日(月)

藺部容子「ほっかいどうアート紀行 晩年の武四郎を取り巻く収集品」朝日新聞／12月5日(水)

宮木宗久「武四郎通信①～⑥」十勝毎日新聞／12月5日(水)、8日(土)、11日(火)、12日(水)、15日(土)、26日(水)

藤島諒司「旅の巨人 お宝『開封』」十勝毎日新聞／12月8日(土)

藤島諒司「武四郎を語る①～⑤」十勝毎日新聞／12月10日(月)～12月14日(金)

若林聖子「武四郎のプロジェクションマッピング」十勝毎日新聞／12月14日(金)

藤島諒司「帯広美術館『特別展』あす開幕」十勝毎日新聞／12月14日(金)

藤島諒司「特別展が開幕」十勝毎日新聞／12月15日(土)

藤島諒司「『旅見える伊勢』巨人育む」十勝毎日新聞／12月16日(日)

藤島諒司「武四郎冒険 子どもたちに」十勝毎日新聞／12月21日(金)

藤島諒司「武四郎 功績に話題沸騰」十勝毎日新聞／2019年1月1日(火)

宮木宗久「木彫りの武四郎登場」十勝毎日新聞／1月4日(金)

藺部容子「奇才逸品 武四郎展から①～⑥」十勝毎日新聞／1月8日(火)～10日(木)、2月5日(火)～2月7日(木)

大庭イサク「とかちフォトギャラリー『旅の巨人』に迫る」北海道新聞(帯広・十勝版朝刊)／1月10日(木)

牧内奏「子ども記者がゆく！ 武四郎の生涯」十勝毎日新聞(特別版 こどもしんぶん)／1月19日(土)

宮木宗久・藤島諒司「武四郎ドラマ化でパネル展」十勝毎日新聞／1月26日(土)

「武四郎ドラマは必見」十勝毎日新聞(特別版 Motto かちまい)／2月2日(土)

池田緑「編集余録 武四郎展」十勝毎日新聞／2月8日(金)
 藤島諒司「旅の足跡 見納め」十勝毎日新聞／2月9日(土)

幕末期に蝦夷地と呼ばれていた北海道を6回踏査し、明治維新後は当代随一の“蝦夷地通”として新政府の北方政策に関わった松浦武四郎(1818～1888)。北海道命名150年、そして、武四郎生誕200年を迎える機会に、その生涯やアイヌ民族との交流について紹介した。

また、武四郎は北海道との関わりのみならず、幕末の志士や

政治家、知識人・文人たちと幅広い交友を持ち、情報収集家・古物収集家としても著しい実績を残すなど、さまざまな顔を持ったことでも知られている。本展では、そのような点にも焦点を当てて、激動の幕末・維新期の政治・社会情勢も絡めつつ、武四郎の生涯について多角的に展覧した。

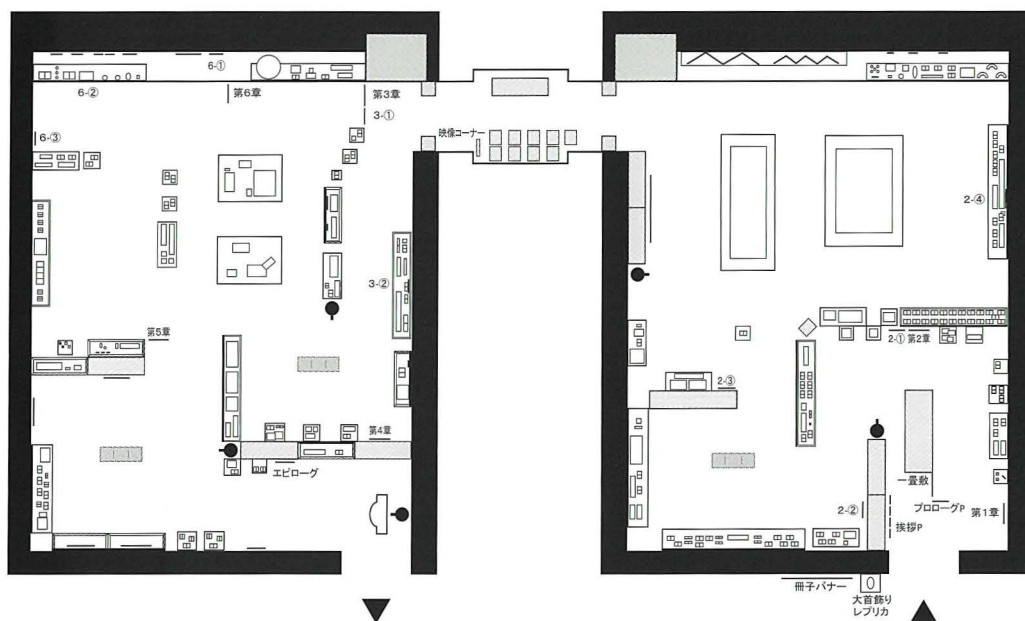
国指定重要文化財を中心に前期後期で約90点を入れ替え、計400点近くを展示した。会期中は3回の講演会を含めさまざまな関連事業を行い、リピーターも訪れるなど、9,948人の入場者を迎えた。



会場風景



会場風景

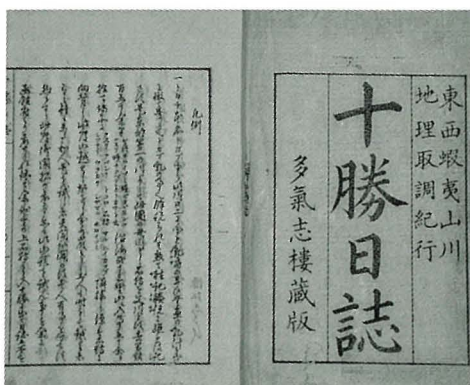


展示図面(前期)

出品目録

No.	図録番号	指	資料名	年代	所蔵者	展示
プロローグ：一畳敷						
1	0-1		一畳敷 原寸大模型	—	松浦武四郎記念館	全期
第1章：〈旅の巨人〉武四郎の誕生						
2	1-2	◎	矢立	江戸後期	松浦武四郎記念館	前期
3	1-3	◎	矢立	江戸後期	松浦武四郎記念館	後期
4	1-4	◎	印章「馬角斎印」	明治期	松浦武四郎記念館	前期
5	1-6	◎	印章「烟霞行者」	江戸後期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
6	1-7	◎	印章「子重」	江戸後期～明治期	松浦武四郎記念館	前期
7	1-8	◎	印章「北海」	江戸後期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
8	1-12	◎	松本屋弥兵衛用状	天保4年（1833）2月9日付	松浦武四郎記念館	前期
9	1-11	◎	飛岡銀兵衛用状	天保4年（1833）3月4日付	松浦武四郎記念館	後期
10	1-14	◎	松浦武四郎書簡	天保4年（1833）2月12日付	松浦武四郎記念館	前期
11	1-15	◎	暁航書簡	天保15年（1844）8月26日付	松浦武四郎記念館	後期
12	1-17	◎	四国遍路道中雑志 二	天保15年（1844）	松浦武四郎記念館	前期
13	1-18	◎	四国遍路道中雑志 三	天保15年（1844）	松浦武四郎記念館	後期
14	1-20	◎	東奥沿海日誌 南・軽・津・部	嘉永3年（1850）	松浦武四郎記念館	全期
15	1-19		西海雑志 上・中・下	天保14年（1843）	石水博物館	全期
16	1-25	◎	弔北雑志	嘉永5年（1852）	松浦武四郎記念館	後期
17	1-22	◎	佐渡日誌 上・下	嘉永4年（1851）	松浦武四郎記念館	全期
18	1-26		足代弘訓書簡	（嘉永5年（1852）頃）11月7日付	石水博物館	全期
19	1-27		松浦武四郎絵画手習い粉本	江戸後期	松浦武四郎記念館	全期
第2章：〈憂北の志士〉武四郎 —蝦夷地への旅とアイヌ民族—						
① 蝦夷地の踏査 —一介の志士として—						
20	2-22		蝦夷大概図	嘉永3年（1850）刊	十勝毎日新聞社	全期
21	2-23		蝦夷沿革図	嘉永4年（1851）刊	十勝毎日新聞社	全期
22	2-3	◎	松浦武四郎書簡	弘化2年（1845）1月7日付	松浦武四郎記念館	前期
23	2-4	◎	松浦武四郎書簡	嘉永2年（1849）12月16日	松浦武四郎記念館	後期
24	2-5	◎	初航蝦夷日誌 三	嘉永3年（1850）	松浦武四郎記念館	前期
25	2-7	◎	初航蝦夷日誌 七	嘉永3年（1850）	松浦武四郎記念館	後期
26	2-9	◎	初航蝦夷日誌 九	嘉永3年（1850）	松浦武四郎記念館	前期
27	2-10	◎	初航蝦夷日誌 十	嘉永3年（1850）	松浦武四郎記念館	後期
28	2-12	◎	再航蝦夷日誌 七	嘉永3年（1850）	松浦武四郎記念館	前期
29	2-13	◎	再航蝦夷日誌 九	嘉永3年（1850）	松浦武四郎記念館	後期
30	2-15	◎	再航蝦夷日誌 十二	嘉永3年（1850）	松浦武四郎記念館	前期
31	2-16	◎	再航蝦夷日誌 十三	嘉永3年（1850）	松浦武四郎記念館	後期
32	2-18	◎	三航蝦夷日誌 三	嘉永3年（1850）	松浦武四郎記念館	前期
33	2-19	◎	三航蝦夷日誌 四	嘉永3年（1850）	松浦武四郎記念館	後期
34	2-20	◎	蝦夷日誌付録 秘めおくべし	嘉永3年（1850）	松浦武四郎記念館	前期
35	2-21	◎	蝦夷婆南誌 坤	嘉永4年（1851）	松浦武四郎記念館	後期
36	2-25		松浦武四郎書簡	弘化4年（1847）頃	高木崇世芝	全期
37	2-24		角田桜岳日記	嘉永7年（1854）	富士宮市教育委員会	全期
38	2-26		頼三樹三郎書簡	弘化4年（1847）正月25日付	高木崇世芝	全期
39	2-28	◎	印章「清晨」	江戸後期	松浦武四郎記念館	前期
40	2-30	◎	印章「山気日夕佳」	江戸後期	松浦武四郎記念館	後期
41	2-31		鴨匠頼先生一日百詩	元治元年（1864）刊	高木崇世芝	全期
42	2-32	◎	以書付愚存申上候一條 [控]	嘉永6年（1853）8月6日付	松浦武四郎記念館	前期
43	2-34		松浦武四郎推挙の呈書稿	嘉永7年（1854）	高橋清賀子 （茨城県立歴史館寄託）	後期
② 蝦夷地の踏査 —幕府の「御雇」として—						
44	2-35		函府人名録	安政3年～4年（1856～57）頃	高木崇世芝	全期
45	2-36		竹四郎廻浦日記 六	安政3年（1856）	北海道大学附属図書館	全期
46	2-37		竹四郎廻浦日記 八	安政3年（1856）	北海道大学附属図書館	全期
47	2-38		竹四郎廻浦日記 十	安政3年（1856）	北海道大学附属図書館	全期
48	2-39		竹四郎廻浦日記 十四	安政3年（1856）	北海道大学附属図書館	全期
49	2-40		竹四郎廻浦日記 十七	安政3年（1856）	北海道大学附属図書館	全期

No.	図録番号	指	資料名	年代	所蔵者	展示
50	2-41		竹四郎廻浦日記 十八	安政3年 (1856)	北海道大学附属図書館	全期
51	2-42		竹四郎廻浦日記 廿四	安政3年 (1856)	北海道大学附属図書館	全期
52	2-43		竹四郎廻浦日記 廿五	安政3年 (1856)	北海道大学附属図書館	全期
53	2-44		竹四郎廻浦日記 廿六	安政3年 (1856)	北海道大学附属図書館	全期
54	2-46	◎	野帳 辰 二	安政3年 (1856)	松浦武四郎記念館	前期
55	2-47	◎	野帳 辰 三	安政3年 (1856)	松浦武四郎記念館	後期
56	2-49	◎	野帳 辰 五	安政3年 (1856)	松浦武四郎記念館	前期
57	2-50	◎	野帳 辰 六	安政3年 (1856)	松浦武四郎記念館	後期
58	2-52	◇	野田竹溪宛て松浦武四郎書簡集 二	嘉永7年～文久3年 (1854～63)	松浦武四郎記念館	後期
59	2-53		松浦武四郎書簡	安政2年～4年 (1855～57)	北海道立図書館	全期
60	2-58	◎	野帳 巳 第一番	安政4年 (1857)	松浦武四郎記念館	前期
61	2-61	◎	野帳 巳 第四番	安政4年 (1857)	松浦武四郎記念館	後期
62	2-62	◎	野帳 巳 第五番	安政4年 (1857)	松浦武四郎記念館	前期
63	2-63	◎	野帳 巳 第六番	安政4年 (1857)	松浦武四郎記念館	後期
64	2-54		丁巳志利辺津日誌 * 丁巳東西蝦夷山川地理取調日誌 第一巻	安政4年 (1857)	十勝毎日新聞社	A 期
65	2-55		丁巳曾宇津計日誌 * 丁巳東西蝦夷山川地理取調日誌 第二巻	安政4年 (1857)	北海学園大学附属図書館	B 期
66	2-57		丁巳志古津日誌 * 丁巳東西蝦夷山川地理取調日誌 第十七巻	安政4年 (1857)	北海学園大学附属図書館	C 期
67	2-66	◎	東部登加知留字知之誌 四 * 戊午東西蝦夷山川地理取調日誌 第七巻	安政5年 (1858)	松浦武四郎記念館	前期
68	2-67	◎	東部安加武留宇智之誌 一 * 戊午東西蝦夷山川地理取調日誌 第九巻	安政5年 (1858)	松浦武四郎記念館	後期
69	2-69	◎	西部志礼登古誌 坤 * 戊午東西蝦夷山川地理取調日誌 第二十二巻	安政5年 (1858)	松浦武四郎記念館	前期
70	2-70	◎	西部新道誌 * 戊午東西蝦夷山川地理取調日誌 第三十四巻	安政5年 (1858)	松浦武四郎記念館	後期
71	2-71	◎	野帳 午 第一番	安政5年 (1858)	松浦武四郎記念館	前期
72	2-72	◎	野帳 午 第五番	安政5年 (1858)	松浦武四郎記念館	後期
73	2-74	◎	野帳 午 第十三番	安政5年 (1858)	松浦武四郎記念館	前期
74	2-76	◎	野帳 午 外第二番	安政5年 (1858)	松浦武四郎記念館	後期
75	2-77	◎	燼心余赤 一	安政2年～3年 (1855～56)	松浦武四郎記念館	前期
76	2-78	◎	燼心余赤 六・七	安政3年～4年 (1856～57)	松浦武四郎記念館	後期
77	2-79	◎	燼心余赤 八・九	安政4年 (1857)	松浦武四郎記念館	前期
78	2-87		松浦武四郎書簡	文久3年 (1863) 2月12日付	別海町加賀家文書館	前期
79	2-86		松浦武四郎書簡	文久元年 (1861) 8月22日付	別海町加賀家文書館	後期
80	2-82	◎	燼心余赤 十四・十五	安政5年 (1858)	松浦武四郎記念館	後期
81	2-83		松浦武四郎書簡	安政3年 (1856) 6月13日付	高木崇世芝	全期
82	2-88		松浦武四郎書簡集	嘉永5年～明治元年 (1852～68)	石水博物館	全期
83	2-85		日記	安政5年～6年 (1858～59)	別海町加賀家文書館	全期
84	2-89		松浦武四郎書簡集	嘉永7年～明治3年 (1854～70)	石水博物館	全期
85	2-90		雲津雁影 六	江戸後期～明治期	草雲美術館	前期
86	2-91		雲津雁影 八	江戸後期～明治期	草雲美術館	後期
87	2-93		松浦武四郎和歌短冊	江戸後期～明治期	高木崇世芝	全期
88	2-94		箱館ちよぼくれ	江戸後期	函館市中央図書館	全期



89 「十勝日誌」



100 「北海道国郡検討図」

No.	図録番号	指 資料名	年代	所蔵者	展示
③ 「多気志楼物」の大流行					
89	2-110	十勝日誌	文久2年(1862)刊	北海道博物館	全期
90	2-96	壺の石 東部 西部	嘉永7年(1854)刊	三重県立図書館	全期
91	2-97	壺の石 東部 西部 後編	安政5年(1858)刊	三重県立図書館	全期
92	2-95	◎ 松浦武四郎書簡	文久元年(1861)6月18日付	松浦武四郎記念館	前期
93	2-98	於幾能以志	安政2年(1855)刊	北海道立図書館	全期
94	2-99	箱館往来	安政3年(1856)刊	北海道立文書館	全期
95	2-100	新選末和留辺志	安政4年(1857)刊	函館市中央図書館	全期
96	2-101	まわるべし	安政4年(1857)刊	石水博物館	全期
97	2-127	樺太闊境之図	安政7年(1860)	北海道立図書館	A期
98	2-128	北蝦夷山川地理取調図 一～十八	安政7年(1860)	北海道大学附属図書館	B期
99	2-129	樺太州全図	明治2年(1869)頃使用	北海道立図書館	C期
100	2-126	北海道国郡検討図	明治2年(1869)使用	北海道ホテル (北海道博物館寄託)	前期
101	2-124	蝦夷新図	嘉永7年(1854)	宇和島伊達文化保存会	後期
102	2-102	蝦夷闊境山川地理取調大概図	安政7年(1860)刊	北海道立図書館	全期
103	2-104	新板箱館道中名所寿語六	元治元年(1864)刊	函館市中央図書館	全期
104	2-103	新板蝦夷土産道中寿五六	元治元年(1864)刊	北海道博物館	全期
105	2-105	北蝦夷余誌	万延元年(1860)刊	北海道立文書館	全期
106	2-106	石狩日誌	文久元年(1861)刊	北海道博物館	全期
107	2-107	久摺日誌	文久元年(1861)刊	北海道博物館	全期
108	2-108	後方羊蹄日誌	文久元年(1861)刊	北海道博物館	全期
109	2-109	夕張日誌	文久2年(1862)刊	北海道博物館	全期
110	2-111	天塩日誌	文久2年(1862)刊	北海道博物館	全期
111	2-112	納紗布日誌	文久3年(1863)刊	北海道博物館	全期
112	2-113	知床日誌	文久3年(1863)刊	北海道博物館	全期
113	2-114	東蝦夷日誌 初編～五編	慶応元年～明治3年(1865～70)刊	北海道博物館	全期
114	2-115	東蝦夷日誌 六編～八編	明治4年～11年(1871～78)刊	北海道大学附属図書館	全期
115	2-116	西蝦夷日誌 初編～五編	慶応元年～明治4年(1871)刊	北海道博物館	全期
116	2-118	西蝦夷日誌 四編[草稿]	江戸後期～明治期	十勝毎日新聞社	全期
117	2-117	西蝦夷日誌 六編	明治5年(1872)刊	北海道大学附属図書館	全期
118	2-119	東西蝦夷山川地理取調図 尾巻	安政7年(1860)刊	北海道博物館	全期
119	2-120	蝦夷年代記	明治3年(1870)刊	北海道立図書館	全期
120	2-121	壺之碑考	明治3年(1870)刊	北海道立文書館	全期
121	2-123	竹島雑誌	明治4年(1871)刊	函館市中央図書館	
122	2-122	林氏雑纂 上・下	明治3年(1870)刊	高木崇世芝	全期
④ 武四郎とアイヌ民族					
123	2-136	東西蝦夷山川地理取調図 首巻	安政6年(1859)刊	北海道博物館	全期
124	2-137	北蝦夷山川地理取調図 首巻	安政7年(1860)	北海道博物館	全期
125	2-131	近世蝦夷人物誌 初編 上・中・下	安政4年(1857)	石水博物館	全期
126	2-133	◎ 近世蝦夷人物志 二編 上	安政5年(1858)	松浦武四郎記念館	前期
127	2-135	◎ 近世蝦夷人物誌 三編 下	安政5年(1858)	松浦武四郎記念館	後期
128	2-138	◎ 蝦夷訓蒙図彙 巻之一	万延元年(1860)	松浦武四郎記念館	前期
129	2-139	◎ 蝦夷訓蒙図彙	万延元年(1860)	松浦武四郎記念館	後期
130	2-142	● 蝦夷家財図説	江戸後期	函館市中央図書館	全期
131	2-140	◎ 蝦夷山海名産図会	万延元年(1860)	松浦武四郎記念館	後期
132	2-143	カムイノミ図扇面	安政5年(1858)	高木崇世芝	全期
133	2-146	車百合之図扇面	明治期	石水博物館	前期
134	2-147	黒百合之図扇面	明治期	石水博物館	後期
135	2-144	熊図扇面	明治5年(1872)	石水博物館	前期
136	2-145	昆布漁図扇面	明治5年(1872)	石水博物館	後期
137	2-148	後方羊蹄路志	安政2年(1855)刊	北海道大学附属図書館	全期
138	2-149	蝦夷葉那誌	安政4年(1857)刊	北海道博物館	全期
139	2-152	蝦夷漫画	安政6年(1859)刊	十勝毎日新聞社	全期
140	2-153	蝦夷志	明治2年(1869)刊	北海道立文書館	全期
141	2-150	蝦夷地名奈留辺志	安政6年(1859)刊	北海道立文書館	全期

No.	図録番号	指	資料名	年代	所蔵者	展示
142	2-155	◎	蝦夷志異同弁 坤	嘉永3年 (1850)	松浦武四郎記念館	前期
143	2-156	◎	雑纂 (蝦夷奇観抄他九編)	江戸後期	松浦武四郎記念館	後期
144	2-168	◎	首飾り	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	前期
145	2-175	◎	杓子	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
146	2-170	◎	木盆	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	前期
147	2-171	◎	木盆	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
148	2-177	◎	手鉢	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	前期
149	2-178	◎	小箱	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
150	2-173	◎	木盆	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	前期
151	2-174	◎	木碗	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
152	2-179	◎	舟型小物入	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	前期
153	2-186	◎	紙入れ	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
154	2-181	◎	茶托	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	前期
155	2-187	◎	足袋	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
156	2-183	◎	小刀	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	前期
157	2-184	◎	小刀	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
158	2-159		アイヌ舞蹈の図	江戸後期～明治期	北海道博物館	前期
159	2-161		輪舞 (熊伏せ振舞いの図)	江戸後期～明治期	十勝毎日新聞社	後期
160	2-162		蝦夷神祈りの図	江戸後期～明治期	十勝毎日新聞社	全期
161	2-163	◎	蝦夷人舞蹈之図	明治3年 (1870)	松浦武四郎記念館	前期
162	2-164	◎	蝦夷人舞蹈之図	明治3年 (1870)	松浦武四郎記念館	後期
163	2-166	◎	熊狩図	明治期	松浦武四郎記念館	後期
164	2-193	◎	蝦夷屏風 [右隻の表面]	江戸後期～明治期	松浦武四郎記念館	前期
165	2-158	◎	蝦夷人物図屏風	江戸後期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
166	2-189	◎	草皮衣	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
167	2-190		臺北の人	昭和45～54年 (1970～79)	北海道立近代美術館	全期
168	2-191		阿寒湖畔の松浦武四郎	昭和45年 (1970)	北海道	全期
第3章：〈情報通〉武四郎 一幕末の動乱の中で－						
① 尊王攘夷派の志士として						
169	3-10		表忠崇義集	嘉永4年 (1851) 刊	北海道大学附属図書館	全期
170	3-11		断壁残圭	嘉永4年 (1851) 刊	函館市中央図書館	全期
171	3-12		盍徹問答	嘉永4年 (1851) 刊	函館市中央図書館	全期
172	3-13		婆心録	嘉永4年 (1851) 刊	三重県立図書館	全期
173	3-15	◎	平松翁書簡 附足代大人 下	嘉永元年～4年 (1848～1851)	松浦武四郎記念館	前期
174	3-16		平松楽斎宛て松浦武四郎書簡集	天保7年～嘉永5年 (1836～52)	津市教育委員会	後期
175	3-7	◎	和歌三首	江戸後期	松浦武四郎記念館	前期
176	3-4	◎	新田義貞図	嘉永6年 (1853)	松浦武四郎記念館	後期
177	3-18	◎	灰心余赤 下	江戸後期	松浦武四郎記念館	前期
178	3-21	◎	巡豆日誌	嘉永7年 (1854)	松浦武四郎記念館	後期
179	3-8	◎	「梓弓」詠草	江戸後期	松浦武四郎記念館	前期
180	3-5	◎	楠木正成図	嘉永6年 (1853)	松浦武四郎記念館	後期
181	3-17		雲津雁影 五	江戸後期～明治期	草雲美術館	全期
182	3-22		足代弘訓書簡	安政元年 (1854) 12月6日付	石水博物館	全期
183	3-23		日誌 安政元寅十月十九日より霜月三日まで之義申上候	安政元年 (1854)	宇和島伊達文化保存会	全期
184	3-24		日誌 安政元寅霜月四日より同月十九日まで之義申上候	安政元年 (1854)	宇和島伊達文化保存会	全期
185	3-26		浩然隨筆 二十六・二十七・三十四	嘉永6年～7年 (1853～54)	神奈川県立歴史博物館	全期
186	3-28		日記 寅閏七月六日より八月晦日迄	安政元年 (1854)	北海道立文書館	全期
187	3-27		首藤貫通書簡	嘉永7年 (1854) 4月1日付	北海道立文書館	全期
188	3-30		三好監物書簡	安政3年 (1856) 2月21日付	北海道立文書館	全期
② 激動の時代とともに						
189	3-34		角田桜岳日記	文久3年 (1863)	富士宮市教育委員会	全期
190	3-36		松浦武四郎書簡	慶応3年 (1867) 12月24日付	富士山かぐや姫ミュージアム	全期
191	3-31		万延年中風説記	万延元年～2年 (1860～61)	石水博物館	全期
192	3-35		矢野連蔵より松浦竹四郎等往復書翰留	元治2年～慶応3年 (1865～67)	函館市中央図書館	全期
193	3-44	◎	ヘママシヨ入道図	江戸後期	松浦武四郎記念館	前期
194	3-45	◎	天狗図	江戸後期	松浦武四郎記念館	後期

No.	図録番号	指	資料名	年代	所蔵者	展示
195	3-32	◎	野田竹溪書簡	江戸後期	松浦武四郎記念館	前期
196	3-39	◎	灰心余赤 上	江戸後期	松浦武四郎記念館	後期
197	3-37		雲津雁影 十	江戸後期～明治期	草雲美術館	全期
第4章：〈北海道の名付け親〉武四郎 ―明治維新と北海道の「命名」―						
198	4-1	◎	辞令（御用召出）	慶応4年（1868）閏4月4日付	松浦武四郎記念館	前期
199	4-5	◎	明治二年東海道山すし日記	慶応4年～明治2年（1868～69）	松浦武四郎記念館	前期
200	4-2	◎	辞令（上京被仰出）	慶応4年（1868）閏4月5日付	松浦武四郎記念館	後期
201	4-4		松浦武四郎書簡	慶応4年（1868）閏4月26日付	富士山かぐや姫ミュージアム	全期
202	4-8		松浦武四郎意見書草稿	慶応4年（1868）8月22日付	北海学園大学北駕文庫	全期
203	4-7		野帳	慶応4年（1868）頃	北海学園大学北駕文庫	全期
204	4-10		開拓使日誌 明治二年己巳第一号 自五月至八月	明治2年（1869）刊	函館市中央図書館	全期
205	4-15		松浦判官手折明治二己巳年開拓使官員録	明治2年（1869）8月頃	函館市中央図書館	全期
206	4-17	◎	英豪手翰	慶応4年～明治2年（1868～69）	松浦武四郎記念館	前期
207	4-14	◎	辞令（任開拓判官）	明治2年（1869）8月付	松浦武四郎記念館	後期
208	4-16		雲津雁影 九	江戸後期～明治期	草雲美術館	全期
209	4-19		雲津雁影 二	江戸後期～明治期	草雲美術館	前期
210	4-20		雲津雁影 三	江戸後期～明治期	草雲美術館	後期
211	4-21		雲津雁影 四	江戸後期～明治期	草雲美術館	前期
212	4-22		雲津雁影 七	江戸後期～明治期	草雲美術館	後期
213	4-31		南蝦夷地図	明治2年（1869）5月	宇和島伊達文化保存会	全期
214	4-30		蝦夷開拓一件	慶応4年～明治3年（1868～70）	宇和島伊達文化保存会	全期
215	4-32		北蝦夷地図	明治2年（1869）5月	宇和島伊達文化保存会	全期
216	4-24		松浦武四郎意見書草稿	明治2年～3年（1869～70）	北海学園大学北駕文庫	全期
217	4-26		芸窓雁影 卷十	明治期	草雲美術館	全期
218	4-28		島義勇書簡	明治3年（1870）4月1日付	北海道立文書館	全期
219	4-37		国名之儀ニ付申上候書付〔写本〕	明治2年（1869）7月付	北海学園大学北駕文庫	全期
220	4-35		道名之儀申上候書付〔写本〕	明治2年（1869）7月17日付	北海学園大学北駕文庫	全期
221	4-36	◎	北海道国名撰定上申書〔草稿〕	明治2年（1869）6月17日付	松浦武四郎記念館	前期
222	4-38	◎	北海道郡名撰定上申書〔控〕	明治2年（1869）7月付	松浦武四郎記念館	後期
223	4-39		郡名之儀ニ付申上候書付〔写本〕	明治2年（1869）7月付	北海学園大学北駕文庫	全期
224	4-44		千島一覽	明治3年（1870）刊	北海道博物館	全期
225	4-42		北海道国郡図	明治2年（1869）刊	高木崇世芝	全期
226	4-43		北海道国郡略図	明治2年（1869）刊	高木崇世芝	全期
227	4-23	◎	蝦夷図寄書	明治2年（1869）頃	松浦武四郎記念館	後期
228	4-34		松浦武四郎蝦夷地道名之儀勘弁申上候書付〔控〕	明治2年（1869）7月17日付	北海学園大学北駕文庫	全期
229	4-27	◎	辞令（依頼免官）	明治3年（1870）3月付	松浦武四郎記念館	前期
230	4-29	◎	額字集観	江戸後期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
231	4-40		開拓使日誌 明治二年己巳第二号 自七月至八月	明治2年（1869）刊行	函館市中央図書館	全期
232	4-41		開拓使文書（北海道国郡図出版の件）	明治3年（1870）2月付	高木崇世芝	全期
233	4-45		皇太子殿下行啓の際の「松浦竹四郎」著書台覧の件〔控〕	明治44年（1911）7月23日付	北海学園大学北駕文庫	全期
234	4-46		北海道小学郷土読本 卷七	昭和7年（1932）	北海道博物館	全期
235	5-55	◎	寄書縫付傘	明治18年（1885）	松浦武四郎記念館	前期
236	5-56	◎	骸骨図縫付傘	明治19年（1886）	松浦武四郎記念館	後期
第6章：〈蒐集家〉武四郎						
① 武四郎涅槃図の世界						
237	6-1	◎	武四郎涅槃図	明治19年（1886）	松浦武四郎記念館	前期
238	3-43	◎	蝦夷屏風〔右隻の裏面〕	江戸後期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
239	6-14		松浦武四郎葉書	明治16年（1883）1月6日付	富士山かぐや姫ミュージアム	全期
240	6-18	◎	火用心袋	明治16年（1883）	松浦武四郎記念館	前期
241	6-19	◎	火用心袋	明治期	松浦武四郎記念館	後期
242	6-20	◎	鉄製懸仏	江戸期	松浦武四郎記念館	前期
243	6-21	◎	鉄製大黒像	江戸期	松浦武四郎記念館	後期
244	6-22	◎	妙楽菩薩塑像	明治10年（1877）	松浦武四郎記念館	前期
245	6-23	◎	老子像	江戸期	松浦武四郎記念館	後期
246	6-25	◎	壁書図	室町期	松浦武四郎記念館	前期
247	6-24	◎	蛤観音図	室町期	松浦武四郎記念館	後期

No.	図録番号	指	資料名	年代	所蔵者	展示
248	6-27	◎	猿猴図	室町期	松浦武四郎記念館	前期
249	6-26	◇	布袋図	室町末期か	松浦武四郎記念館	後期
250	6-28	◇	高士釣図	室町末期か	松浦武四郎記念館	前期
251	6-29	◎	白衣観音図	江戸期	松浦武四郎記念館	後期
252	6-30	◎	藤原朝忠像	江戸期	松浦武四郎記念館	前期
253	6-31	◇	鍾馗図	江戸期	松浦武四郎記念館	後期
254	6-32	◎	伊勢万歳図	江戸期	松浦武四郎記念館	後期
② 撥雲余興の世界						
255	6-33		撥雲余興	明治10年(1877)刊	三重県立図書館	全期
256	6-51	◎	鐺	年代不詳	松浦武四郎記念館	前期
257	6-34		撥雲余興 二集	明治15年(1882)刊	三重県立図書館	全期
③ 好古家・蒐集家として						
258	6-55		松浦武四郎書簡	明治10年(1877)4月14日	松浦武四郎記念館	全期
259	6-56		昌平宝鑑	元治2年(1865)	石水博物館	全期
260	6-57		洋貨図録	元治2年(1865)	石水博物館	全期
261	6-60	◎	多気志楼蔵泉譜 二	明治期	松浦武四郎記念館	前期
262	6-61	◎	多気志楼蔵泉譜 三	明治期	松浦武四郎記念館	後期
263	6-62	◎	多気志楼蔵泉譜 六	明治7年(1874)	松浦武四郎記念館	前期
264	6-63	◎	多気志楼蔵泉譜 七	明治6年(1873)	松浦武四郎記念館	後期
265	6-66		雲津雁影 添簡	明治11年(1878)3月3日付	草雲美術館	全期
266	6-54		松浦武四郎書簡	明治10年(1877)3月26日	松浦武四郎記念館	全期
267	6-52	◎	古鈴図	天保3年(1832)	松浦武四郎記念館	後期
268	6-71	◎	馬角斎茶余	明治9年(1876)刊	松浦武四郎記念館	前期
269	6-72	◎	馬角斎茶余	明治9年(1876)刊	松浦武四郎記念館	後期
270	6-74		辛巳游記	明治14年(1881)刊	函館市中央図書館	全期
271	6-76	◎	壬午游記	明治15年(1882)刊	松浦武四郎記念館	前期
272	6-80	◎	古鏡小集	明治14年(1881)刊	松浦武四郎記念館	後期
273	6-77		癸未溟誌	明治16年(1883)刊	北海道大学附属図書館	全期
274	6-65		雲津雁影 十一	江戸後期～明治期	草雲美術館	全期
275	6-68	◎	渋団扇帖 二	明治期	松浦武四郎記念館	前期
276	6-69	◎	渋団扇帖 三	明治期	松浦武四郎記念館	後期
277	6-78		そめかみ	明治13年(1880)刊	函館市中央図書館	全期
278	6-79		松のけふり	明治13年(1880)刊	函館市中央図書館	全期
279	6-96	◎	銅鏝	古墳文化	松浦武四郎記念館	前期
280	6-97	◎	銅鏝・石鏝・鹿角鉋	縄文文化～古墳文化	松浦武四郎記念館	前期
281	6-98	◎	金唐革製煙草入	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
282	6-81	◎	紺紙銀字焼経断簡	奈良期	松浦武四郎記念館	前期
283	6-82	◎	紫紙金字経断簡	奈良期	松浦武四郎記念館	前期



236 「骸骨図縫付傘」



237 河鍋曉斎「武四郎涅槃図」

No.	図録番号	指	資料名	年代	所蔵者	展示
284	6-83	◎	一切経断簡	奈良期	松浦武四郎記念館	前期
285	6-84	◎	讃岐切小幅	鎌倉期	松浦武四郎記念館	後期
286	6-86	◎	玉類	年代不詳	松浦武四郎記念館	前期
287	6-88	◎	玉類	年代不詳	松浦武四郎記念館	後期
288	6-99	◎	土殷穴	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	前期
289	6-100	◎	土殷穴及土玉	江戸期～明治期	松浦武四郎記念館	後期
290	6-101		松浦一雄書簡	大正12年（1923）11月7日付	松浦武四郎記念館	全期
第5章：〈旅の終焉〉武四郎の晩年						
291	5-1		北野天満宮奉納神鏡背面拓本	明治8年（1875）奉納	十勝毎日新聞社	全期
292	5-2		日記 明治八乙亥年 二十九号	明治8年（1875）	北海道立文書館	全期
293	5-5		寄合帳	明治期	草雲美術館	全期
294	5-6	◎	蕨川婦神巻	明治6年（1873）	松浦武四郎記念館	前期
295	5-10	◎	己卯記行 地	明治12年（1879）	松浦武四郎記念館	後期
296	5-13	◎	庚辰紀行 三	明治13年（1880）	松浦武四郎記念館	後期
297	5-7		上野東照宮奉納神鏡背面拓本	明治8年（1875）奉納	十勝毎日新聞社	全期
298	5-3		雲津雁影 一	江戸後期～明治期	草雲美術館	全期
299	5-11	◎	己卯記行 人	明治12年（1879）	松浦武四郎記念館	前期
300	5-14	◎	庚辰紀行 四	明治13年（1880）	松浦武四郎記念館	後期
301	5-15		庚辰遊記	明治13年（1880）刊	三重県総合博物館	全期
302	5-17	◎	辛巳紀行 二	明治14年（1881）	松浦武四郎記念館	前期
303	5-18	◎	辛巳紀行 三	明治14年（1881）	松浦武四郎記念館	後期
304	5-28		癸未溟志	明治16年（1883）刊	北海道大学附属図書館	全期
305	5-23	◎	壬午小記 二	明治15年（1882）	松浦武四郎記念館	前期
306	5-24	◎	壬午日記 三	明治15年（1882）	松浦武四郎記念館	後期
307	5-25	◎	癸未溟志 一	明治16年（1883）	松浦武四郎記念館	前期
308	5-26	◎	癸未溟志 二	明治16年（1883）	松浦武四郎記念館	後期
309	5-35		甲申小記	明治17年（1884）刊	三重県立図書館	全期
310	5-34	◎	甲申日記 二・三	明治17年（1884）	松浦武四郎記念館	前期
311	5-32		聖跡二十五霊社順拝双六	明治19年（1886）刊	富士山かぐや姫ミュージアム	全期
312	5-19	◎	金峯山寺奉納神鏡背面拓本	明治14年（1880）奉納	松浦武四郎記念館	前期
313	5-20	◎	太宰府天満宮奉納神鏡背面拓本	明治15年（1882）奉納	松浦武四郎記念館	後期
314	5-29	◎	鍋塚碑拓本	明治16年（1883）	松浦武四郎記念館	前期
315	5-31	◎	天満宮二十五霊場神鏡背面拓本	明治18年（1885）	松浦武四郎記念館	後期
316	5-38		乙酉掌記	明治18年（1885）刊	三重県総合博物館	全期
317	5-36	◎	乙酉記行 一	明治18年（1885）	松浦武四郎記念館	前期
318	5-37	◎	乙酉記行 二	明治18年（1885）	松浦武四郎記念館	後期
319	5-40		乙酉後記	明治18年（1885）刊	三重県総合博物館	全期
320	5-41	◎	丙戌前記 一	明治19年（1886）	松浦武四郎記念館	前期
321	5-42	◎	丙戌前記 二	明治19年（1886）	松浦武四郎記念館	後期
322	5-43		丙戌前誌	明治19年（1886）刊	三重県総合博物館	全期
323	5-44		丙戌後記	明治19年（1886）刊	三重県総合博物館	全期
324	5-45		大台山頂眺望之図	明治18年（1885）	十勝毎日新聞社	全期
325	5-46	◎	大台山ニ小堂建設之義願書〔控〕	明治19年（1886）4月28日付	松浦武四郎記念館	前期
326	5-47	◎	大台山江小堂建設之義為御聞置願書〔控〕	明治19年（1886）4月28日付	松浦武四郎記念館	後期
327	5-48	◎	丁亥前記 一	明治20年（1887）	松浦武四郎記念館	前期
328	5-49	◎	丁亥前記 二	明治20年（1887）	松浦武四郎記念館	後期
329	5-50		丁亥前記	明治20年（1887）刊	三重県総合博物館	全期
330	5-52		丁亥後記	明治20年（1887）刊	三重県総合博物館	全期
エピソード：ふたたび一量敷へ						
331	0-5	◎	木片勸進書状 二	明治期	松浦武四郎記念館	前期
332	0-6	◎	木片勸進書状 三	明治期	松浦武四郎記念館	後期
333	0-2		木片勸進	明治20年（1886）刊	三重県総合博物館	全期
334	0-7	◎	花卉図欄間飾	桃山～江戸期	松浦武四郎記念館	後期

指：◎－国指定重要文化財 ●－函館市指定文化財 ◇－三重県指定有形文化財
 展示：展示期間 前期－12/15～1/14 後期－1/16～2/11 全期－12/15～2/11
 A期－12/15～1/6 B期－1/8～1/27 C期－1/29～2/11

北海道のアール・ブリュット - ころところの交差点

会期＝平成31年 2月21日(木)－ 3月31日(日) 34日間
主催＝北海道アールブリュットネットワーク協議会、北海道立帯広美術館

協力＝社会福祉法人帯広福祉協会、
北海道教育大学岩見沢校美術文化専攻アートマネジメン
ト美術研究室
後援＝帯広市、NHK 帯広放送局、十勝毎日新聞社、
北海道新聞帯広支社
特別協賛＝宮坂建設工業株式会社
協賛＝愛灯学園家族会、愛灯学園利用者の会、アムス、NC お
びひろ、株式会社 LOC、エル・ティー・エス株式会社、
帯広信用金庫、株式会社帯広中央ビル、帯広福祉協会職
員親交会、株式会社サエキ、総合防災株式会社、株式会
社曾我、ティーケーコーポレーション、東洋印刷株式会
社、東洋通工株式会社、十勝信用組合、日専連ジェミス、
フジ防災株式会社、北海道クリーンシステム株式会社帯
広支店、有限会社前川工務店、ゆはら自動車

観覧料＝一般500(300)円、大学生以下無料
()内は10名以上の団体、前売り、リピーター割引料
金。
高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの
方などは無料。

関連事業

ギャラリー・トーク

日時＝① 2月23日(土)、② 3月9日(土) 各日午後2時～3時
講師＝①朝地信介氏、上ノ大作氏、梅田マサノリ氏
②相原正美氏、竹本万亀氏、原田ミドー氏
会場＝当館主展示室(要観覧券)

ワークショップ「アール・ブリュット創作体験」

日時＝2月24日(日) 午後2時～3時30分
講師＝朝地信介氏(日本画家、本展作品選考者)
会場＝当館講堂(参加無料)

キッズ・ツアー

日時＝3月2日(土) 午後2時～(約30分)
会場＝当館主展示室(要観覧券、大学生以下無料)

講演会「北海道のアール・ブリュットの現在」

日時＝3月3日(日) 午後2時～3時
講師＝菊地雅子氏(かたるべの森美術館アートディレクター)
会場＝当館講堂(聴講無料)



ポスター



図録

新篠津高等養護学校演劇部 作品紹介&トーク

日時＝3月10日(日) 午後2時～4時

ゲスト＝山田勇氣氏(新篠津高等養護学校演劇部 顧問)

聞き手＝大友恵理氏

(北海道アールブリュットネットワーク協議会)

会場＝当館講堂(聴講無料)

講演会「アール・ブリュットの芸術性」

講師＝三橋純予氏(北海道教育大学岩見沢校教授)

日時＝3月17日(日) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料)

ミュージアム・コンサート「アフリカ音楽の演奏会」

日時＝3月21日(木・祝) 午後2時～(約20分)

会場＝当館ロビー(入場無料)

出演＝ハランベ(愛灯学園)

キッズ・ミュージアム

日時＝3月23日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

図録

規格＝14.9×21.0cm(A5判)／総頁数80ページ

構成＝大原裕介「ごあいさつ」／図版・作品解説・キュレーター
紹介／大友恵理「活躍する北海道のアール・ブリュット
たち」／横井寿之、菊池雅子、伊藤栄一、土屋和彦、梅
田マサノリ、三橋純予、大友恵理、山田勇氣、高田大志
「アール・ブリュットを支える人々」／展覧会概要

関連記事

松田亜弓「生命力豊かな 障害者アート」十勝毎日新聞／2月21
日(木)

大庭イサク「感性豊かな 障害者の作品 帯広美術館・アール・ブ
リュット展」北海道新聞(帯広・十勝版・夕刊)／2月22日(金)
「障害者制作の絵画など展示」読売新聞(北海道版)／2月23日(土)
松田亜弓「障害持つ人つむぐ豊かな表現」十勝毎日新聞／2月
24日(日)

瀬藤範子「聞いて、作って理解深める アール・ブリュット展
で催し」十勝毎日新聞／2月25日(月)

大庭イサク「光る生命力、独創性 北海道のアール・ブリュ
ット～ここるところの交差点」北海道新聞(帯広・十勝版・
朝刊)／3月7日(木)

瀬藤範子「ブリュット展選者 作品の魅力を解説」十勝毎日新
聞／3月10日(日)

朝地信介「こころの交差点 アール・ブリュット展から①『妖
精たちのいたずら』佐藤朱美」十勝毎日新聞／3月11日(月)

梅田マサノリ「こころの交差点 アール・ブリュット展から②
『タイトルなし』上田克也」十勝毎日新聞／3月12日(火)

梅田マサノリ「こころの交差点 アール・ブリュット展から③
『優矢のモータータウン』川上優矢」十勝毎日新聞／3月13
日(水)

梅田マサノリ「こころの交差点 アール・ブリュット展から④
『タイトル不明』内海雅充」十勝毎日新聞／3月14日(木)

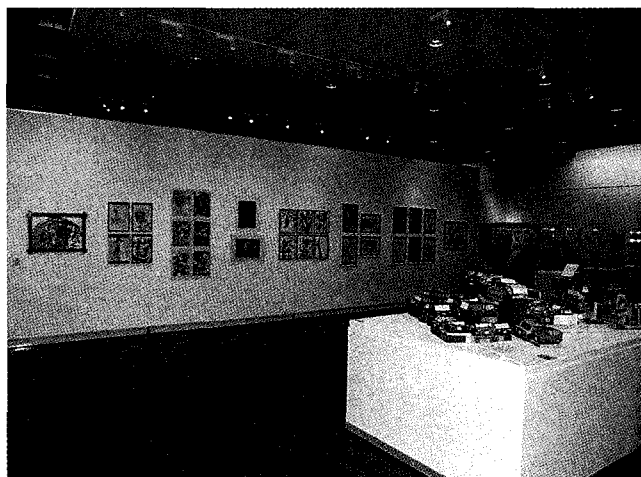
相原正美「こころの交差点 アール・ブリュット展から⑤『望
郷』遠藤弘司」十勝毎日新聞／3月15日(金)

相原正美「こころの交差点 アール・ブリュット展から⑥『ぼ
くの方程式』高橋大樹」十勝毎日新聞／3月16日(土)

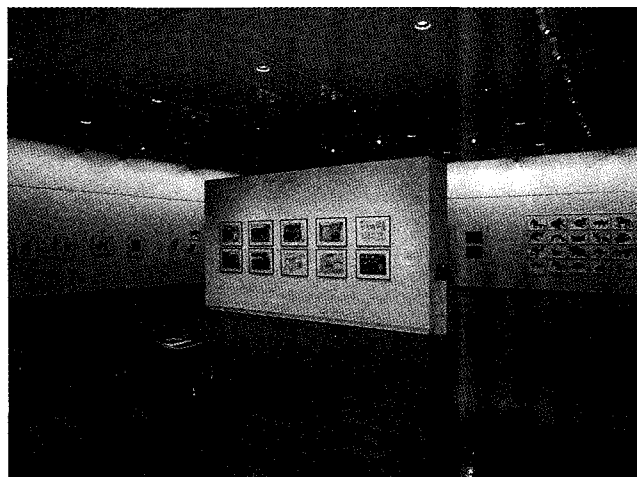
池谷智仁「『表現の大事さ伝えるアール』帯広美術館で講演」
十勝毎日新聞／3月18日(月)

小坂真希「『排除されずに表現 大切』道教育大・三橋教授が
講演」北海道新聞(帯広・十勝版・朝刊)／3月18日(月)

牧内奏「音色と映像 美のコラボ」十勝毎日新聞／3月21日(木)



会場風景



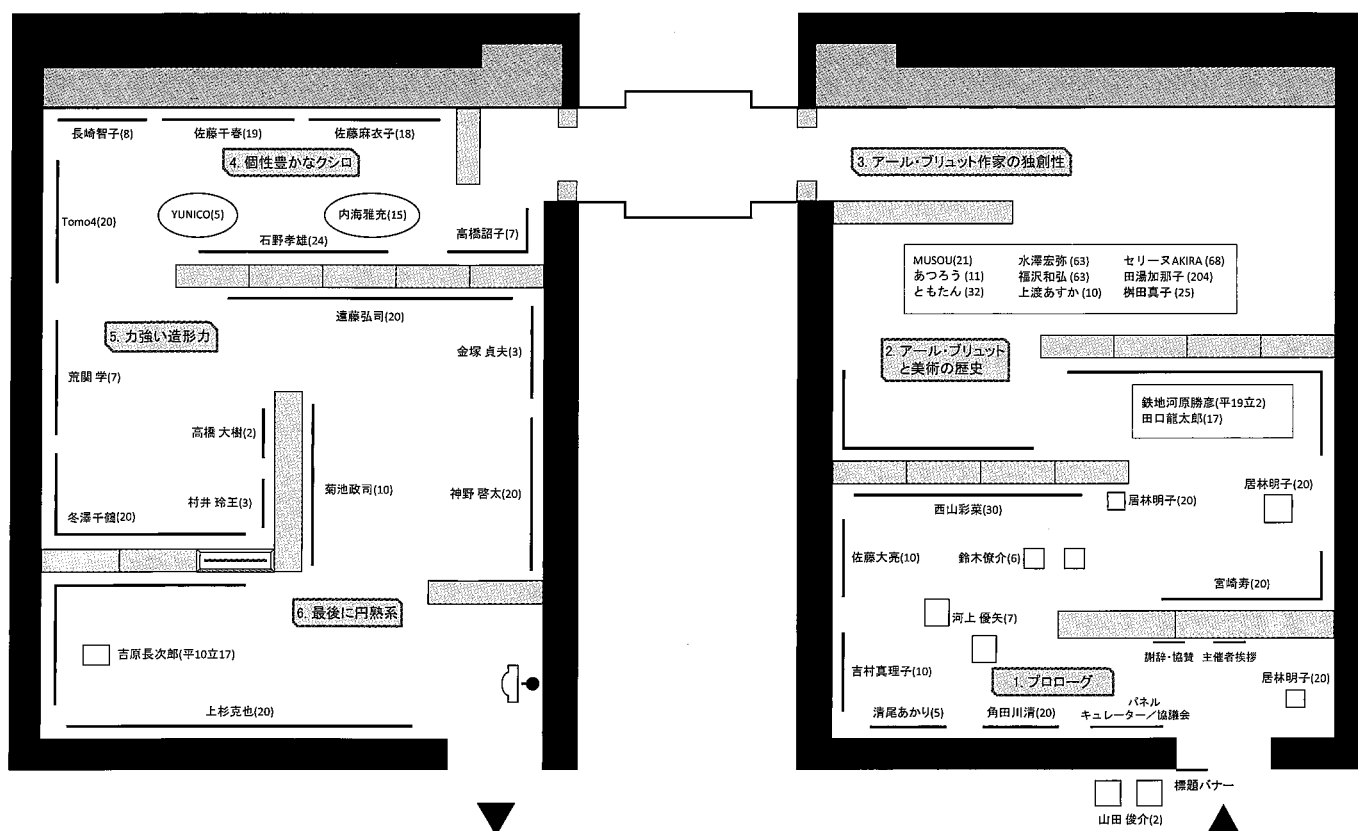
会場風景

「アール・ブリュット」は専門教育を受けない作家による制作などの「生(き)の芸術」を指すことばである。近年、日本のアール・ブリュット展が世界各地で開催され大きな関心が寄せられ、北海道においても特に多くの障がい者が創作活動に取り組み、その才能を発揮している。本展は、豊かな表現力と可能性を秘めた北海道のアール・ブリュット作家たちを改めて北海道内外に発信する機会として開催された。

出品作品の選定において、道内の現代作家6名が福祉団体などの運営する創作拠点20カ所以上を調査し、それぞれの芸術的

観点をもって作品選考を行った。その結果、42名にのぼる作家の作品400点以上が選ばれ、6つのテーマに分けて展示された。

また、本展は北海道の風土の中で創作活動を行うアール・ブリュット作家と現代アーティスト、両者の出会いを通して「生の芸術」の新たな可能性を探るという趣旨のもと開催され、講演会をはじめとして数多くの関連事業を実施した。数々の事業を通じてアール・ブリュットの啓発や、この分野の芸術的文脈での評価軸の検証などについて、積極的に取り組む内容となった。

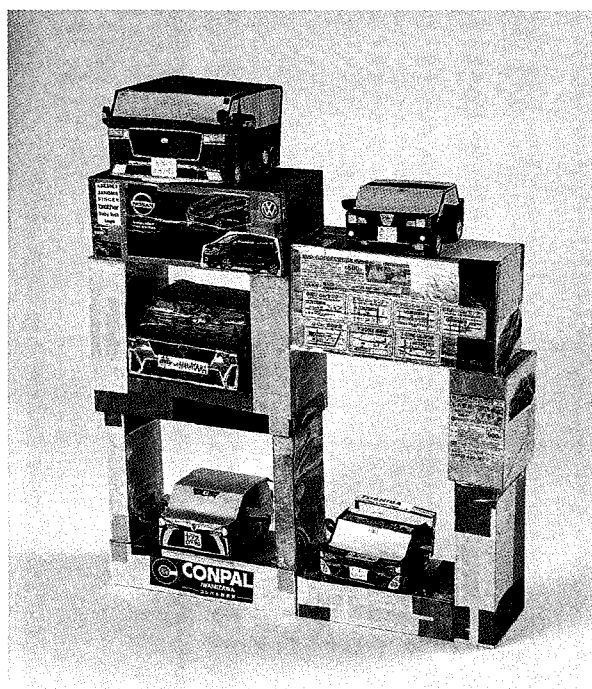


展示図面

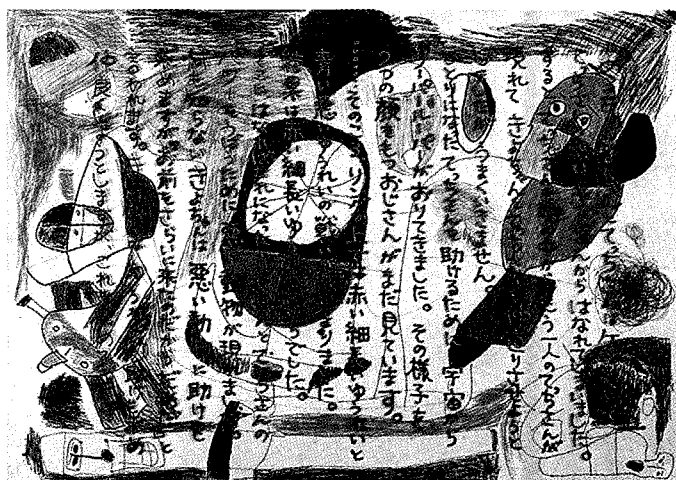
出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材	所属/所蔵先
1. プロローグ						
1	山田俊介	函館山	制作年不詳	55×68×28	ミクストメディア	アートセンターあいのさと
2	山田俊介	函館山	制作年不詳	45×46×31	ミクストメディア	アートセンターあいのさと
3	居林明子	タイトルなし	制作年不詳		ニット	釧路西原学園
4	河上優矢	優矢のモータータウン	2012以降	81×86×32	ミクストメディア	あかるいどう
5	河上優矢	優矢のモータータウン	2012以降	30×30×31	ミクストメディア	あかるいどう
6	河上優矢	優矢のモータータウン	2012以降	16×117×37	ミクストメディア	あかるいどう
7	河上優矢	優矢のモータータウン	2012以降	36×47×21	ミクストメディア	あかるいどう
8	河上優矢	優矢のモータータウン	2012以降	38×38×23	ミクストメディア	あかるいどう
9	河上優矢	優矢のモータータウン	2012以降	23×31×21	ミクストメディア	あかるいどう
10	河上優矢	優矢のモータータウン	2012以降	25×29×16	ミクストメディア	あかるいどう
11	清尾あかり	なつの花	2016	25.7×36.4	紙、マーカー	studio BREMEN
12	清尾あかり	雪解け	2017	25.7×36.4	紙、マーカー	studio BREMEN
13	清尾あかり	らんになぐこす	2017	25.7×36.4	紙、マーカー	studio BREMEN

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材	所属/所蔵先
14	清尾あかり	赤い花	2018	25.7×36.4	紙、マーカー	studio BREMEN
15	清尾あかり	ゆうれいばな	2016	25.7×36.4	紙、マーカー	studio BREMEN
16	佐藤大亮	タイトルなし	制作年不詳	38×53.5	画用紙、水彩絵具、クレヨン	びあふる岩山
17	佐藤大亮	タイトルなし	制作年不詳	38×53.5	画用紙、水彩絵具、クレヨン	びあふる岩山
18	佐藤大亮	タイトルなし	制作年不詳	38×53.5	画用紙、水彩絵具、クレヨン	びあふる岩山
19	佐藤大亮	タイトルなし	制作年不詳	38×53.5	画用紙、水彩絵具、クレヨン	びあふる岩山
20	佐藤大亮	タイトルなし	制作年不詳	38×53.5	画用紙、水彩絵具、クレヨン	びあふる岩山
21	佐藤大亮	タイトルなし	制作年不詳	38×53.5	画用紙、水彩絵具、クレヨン	びあふる岩山
22	佐藤大亮	タイトルなし	制作年不詳	38×53.5	画用紙、水彩絵具、クレヨン	びあふる岩山
23	佐藤大亮	タイトルなし	制作年不詳	38×53.5	画用紙、水彩絵具、クレヨン	びあふる岩山
24	佐藤大亮	タイトルなし	制作年不詳	38×53.5	画用紙、水彩絵具、クレヨン	びあふる岩山
25	佐藤大亮	タイトルなし	制作年不詳	38×53.5	画用紙、水彩絵具、クレヨン	びあふる岩山
26	吉村真理子	ぐるぐるシリーズ	2016-18	38×53.5	ミクストメディア	愛灯学園
27	吉村真理子	ぐるぐるシリーズ	2016-18	27×38	ミクストメディア	愛灯学園
28	吉村真理子	ぐるぐるシリーズ	2016-18	21×29.7	ミクストメディア	愛灯学園
29	吉村真理子	ぐるぐるシリーズ	2016-18	30.5×43	ミクストメディア	愛灯学園
30	吉村真理子	ぐるぐるシリーズ	2016-18	38×53.5	ミクストメディア	愛灯学園
31	吉村真理子	ぐるぐるシリーズ	2016-18	38×53.5	ミクストメディア	愛灯学園
32	吉村真理子	ぐるぐるシリーズ	2016-18	29.7×42	ミクストメディア	愛灯学園
33	吉村真理子	ぐるぐるシリーズ	2016-18	38×53.5	ミクストメディア	愛灯学園
34	吉村真理子	ぐるぐるシリーズ	2016-18	38×53.5	ミクストメディア	愛灯学園
35	吉村真理子	ぐるぐるシリーズ	2016-18	38×53.5	ミクストメディア	愛灯学園
36	吉村真理子	ぐるぐるシリーズ	2016-18	38×53.5	ミクストメディア	愛灯学園
37	吉村真理子	ぐるぐるシリーズ	2016-18	38×53.5	ミクストメディア	愛灯学園
38	吉村真理子	ぐるぐるシリーズ	2016-18	38×53.5	ミクストメディア	愛灯学園
39	西山彩葉	タイトルなし	2018	42×59.4	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
40	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
41	西山彩葉	タイトルなし	2018	32.5×29	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
42	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
43	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
44	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
45	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
46	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
47	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	



4 河上優矢「優矢のモータータウン」



95 鉄地河原勝彦「無題」

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材	所属/所蔵先
48	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
49	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
50	西山彩葉	タイトルなし	2018	42×29.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
51	西山彩葉	タイトルなし	2018	29.7×42	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
52	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
53	西山彩葉	タイトルなし	2018	25.7×36.4	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
54	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
55	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
56	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
57	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
58	西山彩葉	タイトルなし	2018	42×29.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
59	西山彩葉	タイトルなし	2018	42×29.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
60	西山彩葉	タイトルなし	2018	29.7×42	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
61	西山彩葉	タイトルなし	2018	29.7×42	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
62	西山彩葉	タイトルなし	2018	42×29.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
63	西山彩葉	タイトルなし	2018	42×29.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
64	西山彩葉	タイトルなし	2018	42×29.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
65	西山彩葉	タイトルなし	2018	42×29.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
66	西山彩葉	タイトルなし	2018	36.4×25.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
67	西山彩葉	タイトルなし	2018	42×29.7	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
68	西山彩葉	タイトルなし	2018	51×66	コピー用紙、墨、色鉛筆等	
69	鈴木僚介	クマ	制作年不詳	19×10×6	ブロンズ粘土	studio BREMEN
70	鈴木僚介	サイ	制作年不詳	21×10.7×7	ブロンズ粘土	studio BREMEN
71	鈴木僚介	ヒトコブラクダ	制作年不詳	18×12×6	木質粘土	studio BREMEN
72	鈴木僚介	イボイノシシ	制作年不詳	18×6×9.5	木質粘土	studio BREMEN
73	鈴木僚介	ワニ	制作年不詳	30×16×5.5	ブロンズ粘土	studio BREMEN
74	鈴木僚介	カバ	制作年不詳	20×8×7	ブロンズ粘土	studio BREMEN
75	宮崎 寿	草笛	2016	27.2×40	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
76	宮崎 寿	2011年平成23年10月31日	2011	28.9×45	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
77	宮崎 寿	年の瀬	2016	28×39.5	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
78	宮崎 寿	はたけ	2014	29×30.2	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
79	宮崎 寿	2011年平成23年11月30日	2011	32.4×41.6	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
80	宮崎 寿	城下の春	2015	39.4×28.2	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
81	宮崎 寿	きもの	2015	40.8×28.7	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
82	宮崎 寿	ゆきやま	2014	38.5×29.4	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
83	宮崎 寿	水車	2014	28.7×36	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
84	宮崎 寿	帰えり道	2017	29.2×41	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
85	宮崎 寿	はっぱ	2014	25.5×39.2	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
86	宮崎 寿	城かのしろ	2017	27.7×39.3	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
87	宮崎 寿	2010年平成22年6月30日	2010	25.5×33.3	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
88	宮崎 寿	きもの	2015	41×27.9	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
89	宮崎 寿	たけのこ	2015	29.5×39.9	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
90	宮崎 寿	草笛	2014	27.9×36.4	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
91	宮崎 寿	帰えり道	2016	26.9×37	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
92	宮崎 寿	鶴は千年亀は万年	2016	29.3×37.3	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
93	宮崎 寿	たきび	2015	30×41.8	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
94	宮崎 寿	夏休み	2015	29.5×41.2	紙	向陽園 アート活動支援室びかり
2. 美術史上の表現とアール・ブリュット						
95	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	54.2×78.2	紙、クレヨン、アクリル絵具	かたるべの森美術館
96	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	54.2×78.2	紙、クレヨン、アクリル絵具	かたるべの森美術館
97	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	54.2×78.2	紙、クレヨン、アクリル絵具	かたるべの森美術館
98	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	54.2×78.2	紙、クレヨン、アクリル絵具	かたるべの森美術館
99	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	54.2×78.2	紙、クレヨン、アクリル絵具	かたるべの森美術館
100	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	54.2×78.2	紙、クレヨン、アクリル絵具	かたるべの森美術館
101	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	54.2×78.2	紙、墨	かたるべの森美術館
102	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	54.2×78.2	紙、墨	かたるべの森美術館
103	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	54.2×78.2	紙、墨	かたるべの森美術館
104	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	54.2×78.2	紙、墨	かたるべの森美術館
105	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	54.2×78.2	紙、墨	かたるべの森美術館

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材	所属/所蔵先
106	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	54.2×78.2	紙、墨	かたるべの森美術館
107	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	29×38×10	布、綿、塗料	かたるべの森美術館
108	鉄地河原勝彦	タイトル不明	制作年不詳	84×60×12	布、綿、塗料	かたるべの森美術館
109	鉄地河原勝彦	無題	2014	サイズ可変	ミクストメディア	かたるべの森美術館
110	鉄地河原勝彦	無題	2014	サイズ可変	ミクストメディア	かたるべの森美術館
111	鉄地河原勝彦	無題	2014	サイズ可変	ミクストメディア	かたるべの森美術館
112	鉄地河原勝彦	無題	2014	サイズ可変	ミクストメディア	かたるべの森美術館
113	鉄地河原勝彦	無題	2014	サイズ可変	ミクストメディア	かたるべの森美術館
114	鉄地河原勝彦	無題	2014	サイズ可変	ミクストメディア	かたるべの森美術館
115	鉄地河原勝彦	無題	2014	サイズ可変	ミクストメディア	かたるべの森美術館
	ホアン・ミロ	彗星の穿たれた山頂へと鷺は飛んで立ち、詩人の言葉告げる(模写)				
116	中川日美	最強金運の招き猫温泉♨	2017	25.7×36.4	紙、ペン	sakura
117	中川日美	♥夜桜の招き猫神社♥	2017	29.7×42	紙、ペン	sakura
118	中川日美	♥大黒天&恵比寿&招き猫のパーティー♥	2017	29.7×42	紙、ペン	sakura
119	中川日美	幸運・商売繁盛の福助くん♫	2017	21×29.7	紙、ペン	sakura
120	中川日美	♡恋愛運の招き猫♡	2017	29.7×21	紙、ペン	sakura
121	中川日美	♥招き猫カフェ♥	2017	36.4×25.7	紙、ペン	sakura
123	中川日美	きたかろう うまかろう	2018	51.5×36.4	紙、ペン	sakura
122	中川日美	高貴な招き猫の御二人	2018	42×59.4	紙、ペン	sakura
124	中川日美	爆笑?! おおきなかぶ♥	2017	27×39	紙、ペン	sakura
	アンリ・ルソー	子供のお祝い (模写)				
125	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
126	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
127	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
128	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
129	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
130	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
131	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
132	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
133	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
134	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
135	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
136	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
137	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
138	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
139	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
140	田口龍太郎	タイトルなし	2016	30×21	紙、水彩、ペン	NPO 法人南宗谷ひだまりの会
		サンクレメンテ教会壁画(模写)				カタルーニャ美術館/バルセロナ
3. アール・ブリュット作家の獨創性						
141	musou	イナホ王子とじゃず	2018	12.5×15.8	紙、ペン	アトリエベン具
142	musou	タイトル不明	制作年不詳	5.7×12.3	紙、ペン	アトリエベン具
143	musou	タイトル不明	制作年不詳	27.3×39.5	紙、ペン	アトリエベン具
144	musou	タイトル不明	制作年不詳	27×38	紙、ペン	アトリエベン具
145	musou	通勤電車とイナホ王子	2018	38×54	紙、ペン	アトリエベン具
146	musou	タイトル不明	制作年不詳	28×54	紙、ペン	アトリエベン具
147	musou	タイトル不明	制作年不詳	19×27	紙、ペン	アトリエベン具
148	musou	「ファンタスティックビーストイナホのたび」「007」「I・T」「NO MOAER イナホどうろぼう」「イナホ・ホハター」	2017	19×27	紙、ペン	アトリエベン具
149	musou	タイトル不明	制作年不詳	19×27	紙、ペン	アトリエベン具
150	musou	タイトル不明	制作年不詳	19×27	紙、ペン	アトリエベン具
151	musou	タイトル不明	制作年不詳	27×39.3	紙、ペン	アトリエベン具
152	musou	タイトル不明	制作年不詳	8×27	紙、ペン	アトリエベン具
153	musou	カップケーキのジャズシンガークリーム・ソーダー・ジャロソンDJ ローストチキン	2018	8×27	紙、ペン	アトリエベン具
154	musou	タイトル不明	制作年不詳	25.5×12	紙、ペン	アトリエベン具
155	musou	タイトル不明	制作年不詳	25.5×12	紙、ペン	アトリエベン具

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材	所属/所蔵先
156	musou	北海道グリーンフロンティア (きかんしゃトーマス・チャギントン)	2018	26.5×38	紙、ペン	アトリエペン具
157	musou	タイトル不明	制作年不詳	27.2×27	紙、ペン	アトリエペン具
158	musou	つきんでんしゅトーマス大阪へん	2018	21.5×30	紙、ペン	アトリエペン具
159	田湯加那子	タイトルなし	制作年不詳	40.5×32 (10点)	紙、色鉛筆	作家蔵
160	田湯加那子	タイトルなし	制作年不詳	30×21 (12点)	紙、色鉛筆	作家蔵
161	田湯加那子	タイトルなし	制作年不詳	35×24.5 (12点)	紙、色鉛筆	作家蔵
162	田湯加那子	タイトルなし	制作年不詳	25×18 (21点)	紙、色鉛筆	作家蔵
163	田湯加那子	タイトルなし	制作年不詳	24×25 (28点)	紙、色鉛筆	作家蔵
164	田湯加那子	アトリエより (参考資料)		スケッチブック8冊、他	紙、色鉛筆	作家蔵
165	あつろう	ばば・じじ・お母さん・お父さん	制作年不詳	38×53.5	紙、クレヨン、色鉛筆	ベングアート北野
166	あつろう	タイトルなし	制作年不詳	29.5×38	紙、クレヨン、色鉛筆	ベングアート北野
167	あつろう	タイトルなし	制作年不詳	18×13 (9点)	紙、クレヨン、色鉛筆	ベングアート北野
168	水澤宏弥	タイトルなし	2001頃-	18.2×25.7×約100 (58点)	広告用紙、紙、ビニールテープ	静内ベテカリ生活支援センター
169	とまたん	タイトルなし	制作年不詳	立体: 26点 平面: 29.5×42 (14点)	紙粘土、紙、鉛筆、色鉛筆	静内ベテカリ生活支援センター
170	上渡あすか	タイトルなし	2011-	41×65	紙、ペン、鉛筆、色鉛筆	静内ベテカリ生活支援センター
171	上渡あすか	タイトルなし	2011-	41×65	紙、ペン、鉛筆、色鉛筆	静内ベテカリ生活支援センター
172	上渡あすか	タイトルなし	2011-	34×49.5	紙、ペン、鉛筆、色鉛筆	静内ベテカリ生活支援センター
173	上渡あすか	タイトルなし	2011-	34×49.5	紙、ペン、鉛筆、色鉛筆	静内ベテカリ生活支援センター
174	上渡あすか	タイトルなし	2011-	34×49.5	紙、ペン、鉛筆、色鉛筆	静内ベテカリ生活支援センター
175	上渡あすか	タイトルなし	2011-	34×49.5	紙、ペン、鉛筆、色鉛筆	静内ベテカリ生活支援センター
176	上渡あすか	タイトルなし	2011-	17×46	紙、ペン、鉛筆、色鉛筆	静内ベテカリ生活支援センター
177	上渡あすか	タイトルなし	2011-	17×46	紙、ペン、鉛筆、色鉛筆	静内ベテカリ生活支援センター
178	上渡あすか	タイトルなし	2011-	12.5×34.5	紙、ペン、鉛筆、色鉛筆	静内ベテカリ生活支援センター
179	上渡あすか	タイトルなし	2011-	25.5×37	紙、ペン、鉛筆、色鉛筆	静内ベテカリ生活支援センター
180	佐藤朱美	フクロウの館	2017	72.8×51.5	ケントボード、ドローイング、ボールペン	作家蔵
181	佐藤朱美	尾長鶏	2015	72.8×51.5	ケントボード、アクリル絵具	作家蔵
182	佐藤朱美	マンモスの春	2018	72.3×103	ケントボード、アクリル絵具	作家蔵
183	佐藤朱美	横綱稀勢の里関 土俵入り	2017	72.3×103	ケントボード、アクリル絵具	作家蔵
184	佐藤朱美	妖精たちのいたずら	2018	72.3×103	ケントボード、ドローイング、ボールペン	作家蔵
185	佐藤朱美	エキサイト	2012	72.3×103	ケントボード、アクリル絵具	作家蔵
186	佐藤朱美	サイ	2012	72.3×103	ケントボード、アクリル絵具	作家蔵
187	佐藤朱美	森の選挙	2018	72.3×103	ケントボード、アクリル絵具	作家蔵
188	佐藤朱美	不思議な世界とイグアナ	2018	51.5×72.8	ケントボード、アクリル絵具	作家蔵
189	佐藤朱美	サラマンダーの夜明け	2011	51.5×72.8	ケントボード、アクリル絵具	作家蔵
190	佐藤朱美	家族	2016	51.5×72.8	ケントボード、アクリル絵具	作家蔵
191	佐藤朱美	まだ生きたかった	2011	51.5×72.8	ケントボード、アクリル絵具	作家蔵
192	佐藤朱美	トリケラトプス	2012	51.5×72.8	ケントボード、アクリル絵具	作家蔵
193	佐藤朱美	闇の花	2016	51.5×72.8	ケントボード、アクリル絵具	作家蔵
194	セリーヌ AKIRA	タイトルなし	2001頃-	サイズ不定70点	広告用紙、カラーボールペン	静内ベテカリ生活支援センター
195	富原廣子	タイトルなし	制作年不詳	サイズ不定66点	紙、色鉛筆、マーカー	函館緑風会希望ヶ丘学園
196	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	27×38	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
197	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	27×38	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
198	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	27×38	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
199	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	27×38	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
200	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	27×38	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
201	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	27×38	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
202	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	27×38	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
203	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	27×38	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
204	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
205	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
206	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
207	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
208	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
209	梶田真子	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、色鉛筆、マーカー	あすなろ新地センター
210	福沢和弘	タイトルなし	制作年不詳	25×36 (60冊)	キャンパスノート、ボールペン	静内ベテカリ生活支援センター

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材	所属/所蔵先
4. 創作を生きる力にかえてークシロのアール・ブリュットー						
211	高橋詔子	空間の世界のお花	2018	26.9×37.8	紙、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
212	高橋詔子	タイトル不明	制作年不詳	26.9×37.8	紙、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
213	高橋詔子	タイトル不明	制作年不詳	25.7×36.4	紙、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
214	高橋詔子	タイトル不明	制作年不詳	26.9×37.8	紙、水彩絵具、色鉛筆	清水桜ヶ丘病院
215	高橋詔子	タイトル不明	制作年不詳	25.7×36.4	紙、クレヨン、水彩絵具	清水桜ヶ丘病院
216	高橋詔子	タイトル不明	制作年不詳	25.7×36.4	紙、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
217	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	37.8×53.9	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
218	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	37.8×53.9	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
219	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	33.8×55.7	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
220	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	28.9×42.6	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
221	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	42.2×35	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
222	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	36.3×49.1	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
223	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	53.9×37.8	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
224	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	39.4×55.4	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
225	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	36×48.5	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
226	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	37.8×53.9	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
227	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	37.8×53.9	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
228	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	32.8×50.5	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
229	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	33×55.7	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
230	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	37.8×51.6	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
231	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	32×51	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
232	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	33.6×48.6	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
233	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	37.8×50.9	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
234	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	37.8×53.8	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
235	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	39.9×59.2	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
236	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	44.2×55.7	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
237	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	43.3×58.7	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
238	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	37.8×53.8	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
239	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	39.4×58.9	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
240	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	43.8×57.4	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
241	石野孝雄	タイトル不明	制作年不詳	43.8×57.4	紙、ペン、クレヨン	清水桜ヶ丘病院
242	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	25.4×20.3	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
243	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	25.4×20.3	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
244	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	25.4×20.3	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
245	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	25.4×20.3	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
246	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	25.4×20.3	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
247	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	25.4×20.3	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
248	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	25.4×20.3	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
249	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	25.4×20.3	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
250	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	25.4×20.3	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
251	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	20.3×25.4	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
252	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	20.3×25.4	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
253	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	20.3×25.4	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
254	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	20.3×25.4	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
255	内海雅充	タイトル不明	制作年不詳	42×29.7	紙、ペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
256	YUNICO	タイトル不明	制作年不詳	42×29.7	紙、マーカーペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
257	YUNICO	タイトル不明	制作年不詳	26.3×37	紙、マーカーペン	ボーダレスアート サポートセンタークシロ

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材	所属/所蔵先
294	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	17.3×24	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
295	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	17.3×24	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
296	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	17.3×24	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
297	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	25.7×36.4	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
298	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	25.7×36.4	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
299	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	25.7×36.4	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
300	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	25.7×36.4	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
301	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	25.7×36.4	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
302	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	25.7×36.4	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
303	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	36.4×25.7	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
304	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	36.4×25.7	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
305	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	36.4×25.7	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
306	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	36.4×25.7	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
307	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	36.4×25.7	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
308	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	36.4×25.7	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
309	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	25.4×37	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
310	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	30×43.5	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
311	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	40×30	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
312	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	25.7×36.4	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
313	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	35.4×43.4	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
314	TOMO4	タイトル不明	制作年不詳	25.7×36.4	紙、ペン、クレヨン、色鉛筆等	ボーダレスアート サポートセンタークシロ
5. 創作へ向かう意志ーアール・ブリュットを越えてー						
315	神野啓太	グレビーシマウマ	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
316	神野啓太	金魚	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
317	神野啓太	ヒマラヤン	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
318	神野啓太	サバンナシマウマ	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
319	神野啓太	サツキマス	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
320	神野啓太	トラ	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
321	神野啓太	スズキ	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
322	神野啓太	うさぎ	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
323	神野啓太	シャイアー	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
324	神野啓太	シャチ	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
325	神野啓太	アフリカゾウ	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
326	神野啓太	アラレフグ	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
327	神野啓太	マナガツオ	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
328	神野啓太	シャチ	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
329	神野啓太	スコティッシュ・フォールド	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
330	神野啓太	ヤマシマウマ	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
331	神野啓太	ベルシュロン	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
332	神野啓太	スズキ	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
333	神野啓太	カンガルー	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
334	神野啓太	イセゴイ	2018	25.4×30.5	紙、アクリル絵具	ともに福祉会
335	冬澤千鶴	タイトルなし	2016-18	38×54	紙、クレヨン絵具	愛灯学園
336	冬澤千鶴	タイトルなし	2016-18	38×54	紙、クレヨン絵具	愛灯学園
337	冬澤千鶴	タイトルなし	2016-18	27.1×39.2	紙、クレヨン絵具	愛灯学園

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材	所属/所蔵先
338	冬澤千鶴	タイトルなし	2016-18	24.2×33.2	紙、クレヨン絵具	愛灯学園
339	冬澤千鶴	タイトルなし	2016-18	25.7×36.4	紙、クレヨン絵具	愛灯学園
340	冬澤千鶴	タイトルなし	2016-18	36.4×51.5	紙、クレヨン絵具	愛灯学園
341	冬澤千鶴	タイトルなし	2016-18	41×57	紙、クレヨン絵具	愛灯学園
342	冬澤千鶴	タイトルなし	2016-18	51.5×36.4	紙、クレヨン絵具	愛灯学園
343	冬澤千鶴	タイトルなし	2016-18	51.5×36.4	紙、クレヨン絵具	愛灯学園
344	冬澤千鶴	タイトルなし	2016-18	57×41	紙、クレヨン絵具	愛灯学園
345	冬澤千鶴	ちづるさん、ほんとー！	2016	48×78 (2点)	袋戸、クレヨン	愛灯学園
346	高橋大樹	ぼくの方程式	2014	75×91.5	板、アクリル絵の具、ペン、鉛筆	恵庭光と風の里
347	高橋大樹	ぼくの方程式－黒－	2014	82.5×100	板、アクリル絵の具、ペン、鉛筆	恵庭光と風の里
348	遠藤弘司	望郷シリーズ	2017-18頃	36.4×25.7	紙、水彩絵具	愛灯学園
349	遠藤弘司	望郷シリーズ	2017-18頃	53.8×37.5	紙、水彩絵具	愛灯学園
350	遠藤弘司	望郷シリーズ	2017-18頃	37.5×53.8	紙、水彩絵具	愛灯学園
351	遠藤弘司	望郷シリーズ	2017-18頃	37.5×53.8	紙、水彩絵具	愛灯学園
352	遠藤弘司	望郷シリーズ	2017-18頃	37.5×53.8	紙、水彩絵具	愛灯学園
353	遠藤弘司	望郷シリーズ	2017-18頃	37.5×53.8	紙、水彩絵具	愛灯学園
354	遠藤弘司	望郷シリーズ	2017-18頃	42×59.4	紙、水彩絵具	愛灯学園
355	遠藤弘司	望郷シリーズ	2017-18頃	37.5×53.8	紙、水彩絵具	愛灯学園
356	遠藤弘司	望郷シリーズ	2017-18頃	53.8×37.5	紙、水彩絵具	愛灯学園
357	遠藤弘司	望郷シリーズ	2017-18頃	37.5×53.8	紙、水彩絵具	愛灯学園
358	遠藤弘司	望郷シリーズ	2017-18頃	37.5×53.8	紙、水彩絵具	愛灯学園
359	荒関 学	柿	制作年不詳	57.7×41	ダンボール、水性絵具	アートセンターあいのさと
360	荒関 学	車	制作年不詳	37.5×41	ダンボール、紙、クレヨン、水性絵具	アートセンターあいのさと
361	荒関 学	山の家キャンプ	2014	36.5×51.3	紙、クレヨン	アートセンターあいのさと
362	荒関 学	うみ	2015	27×45.5	キャンパス、クレヨン、水性絵具	アートセンターあいのさと
363	荒関 学	フルーツ	2014	24×33	キャンパス、紙、水性絵具、クレヨン、ボスカ	アートセンターあいのさと
364	荒関 学	秘密の部屋	制作年不詳	29.7×42	スチレンボード、水性絵具、クレヨン、ボスカ	アートセンターあいのさと
365	荒関 学	チョコレートとひまわり	2015	45×53	キャンパス、紙、水性絵具、クレヨン、ボスカ	アートセンターあいのさと
366	荒関 学	おうち	制作年不詳	70×15×8	段ボール、紙、水性絵具、クレヨン、ボスカ	アートセンターあいのさと
367	金塚貞夫	作品No17	2000	108.5×76.2	板、クレパス、クレヨン	恵庭光と風の里
368	金塚貞夫	2004. 8. 8	2004	80.2×100	板、クレパス、クレヨン	恵庭光と風の里
369	金塚貞夫	無題	2006	102.3×91.3	板、クレパス、クレヨン	恵庭光と風の里
370	村井玲王	スケジュールれっちゃん	2016	27.5×19.5	紙、ペン、セロテープ、修正テープ	アートセンターあいのさと
371	村井玲王	スケジュールれっちゃん	2016	8.2×7.7	紙、ペン、セロテープ、修正テープ	アートセンターあいのさと
372	村井玲王	スケジュールれっちゃん	2017	6×4.5	紙、ペン、セロテープ、修正テープ	アートセンターあいのさと
373	菊地政司	子	2018	39.2×54.2	紙、クレヨン	剣淵西原学園
374	菊地政司	丑とダルマ	制作年不詳	39.2×54.2	紙、クレヨン	剣淵西原学園
375	菊地政司	寅	制作年不詳	39.2×54.2	紙、クレヨン	剣淵西原学園
376	菊地政司	辰	制作年不詳	39.2×54.2	紙、クレヨン	剣淵西原学園
377	菊地政司	午	制作年不詳	39.2×54.2	紙、クレヨン	剣淵西原学園
378	菊地政司	未	制作年不詳	39.2×54.2	紙、クレヨン	剣淵西原学園
379	菊地政司	申	制作年不詳	39.2×54.2	紙、クレヨン	剣淵西原学園
380	菊地政司	酉	制作年不詳	39.2×54.2	紙、クレヨン	剣淵西原学園
381	菊地政司	戌	制作年不詳	39.2×54.2	紙、クレヨン	剣淵西原学園
382	菊地政司	亥	制作年不詳	39.2×54.2	紙、クレヨン	剣淵西原学園
383	角田川清	頭の中のスケッチ	制作年不詳	53.8×78.2	紙、サインペン、ボスカ	おんべつ学園
384	角田川清	踏切	制作年不詳	24×34.4	紙、サインペン、ボスカ	おんべつ学園
385	角田川清	タイトル不明	制作年不詳	20×28.7	紙、サインペン、ボスカ	おんべつ学園
386	角田川清	新聞、ねこの本、めがね	制作年不詳	70×49	紙、サインペン、ボスカ	おんべつ学園
387	角田川清	タイトル不明	制作年不詳	18.2×25.7	紙、サインペン、ボスカ	おんべつ学園
388	角田川清	タイトル不明	制作年不詳	18.2×25.7	紙、サインペン、ボスカ	おんべつ学園
389	角田川清	タイトル不明	制作年不詳	18.2×25.7	紙、サインペン、ボスカ	おんべつ学園
390	角田川清	タイトル不明	制作年不詳	18.2×25.7	紙、サインペン、ボスカ	おんべつ学園
391	角田川清	タイトル不明	制作年不詳	18.2×25.7	紙、サインペン、ボスカ	おんべつ学園
392	角田川清	タイトル不明	制作年不詳	18.2×25.7	紙、サインペン、ボスカ	おんべつ学園

No.	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材	所属/所蔵先
393	角田川清	タイトル不明	制作年不詳	18.2×25.7	紙、サインペン、ボスカ	おんべつ学園
394	角田川清	タイトル不明	制作年不詳	18.2×25.7	紙、サインペン、ボスカ	おんべつ学園
395	角田川清	タイトル不明	制作年不詳	18.2×25.7	紙、サインペン、ボスカ	おんべつ学園
6. エピローグー思いを込めてー						
396	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	直径21	段ボール、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
397	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	直径21	段ボール、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
398	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	直径22	段ボール、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
399	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	直径18	段ボール、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
400	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	直径18	段ボール、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
401	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	直径18	段ボール、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
402	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	直径20	段ボール、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
403	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	直径17	段ボール、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
404	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	全長56 (直径19、直径12、9.5×5)	段ボール、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
405	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	22.5×29.5	紙、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
406	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	25.5×37	紙、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
407	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	41×29.5	紙、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
408	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	27×18.5	紙、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
409	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	43.5×31	紙、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
410	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	52×37	紙、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
411	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	52×37	紙、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
412	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	52×37	紙、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
413	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	52×37	紙、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
414	吉原長次郎	タイトルなし	制作年不詳	52×37	紙、色鉛筆	向陽園 アート活動支援室ばかり
415	吉原長次郎	身近な品々 (遺品)	制作年不詳	7点		向陽園 アート活動支援室ばかり
416	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	51×35	紙、墨	剣淵西原学園
417	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	51×35	紙、墨	剣淵西原学園
418	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	35×51	紙、墨	剣淵西原学園
419	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	37.5×34	紙、墨	剣淵西原学園
420	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	54×38	紙、墨	剣淵西原学園
421	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	54×38	紙、墨	剣淵西原学園
422	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、墨	剣淵西原学園
423	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、墨	剣淵西原学園
424	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、墨	剣淵西原学園
425	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、墨	剣淵西原学園
426	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、墨	剣淵西原学園
427	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、墨	剣淵西原学園
428	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、墨	剣淵西原学園
429	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、墨	剣淵西原学園
430	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	38×54	紙、墨	剣淵西原学園
431	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	27×38	紙、墨	剣淵西原学園
432	上杉克也	タイトルなし	制作年不詳	29.7×21	紙、墨	剣淵西原学園

* 寸法は縦×横、または縦×横×高さ。

〈作品選定者〉

相原正美 11～25、39～94、396～415

朝地信介 141～210

上ノ大作 1、2、4～10、315～334、346、347、359～372

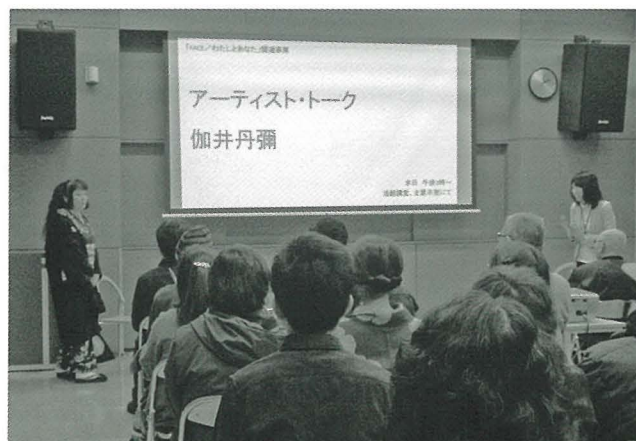
梅田マサノリ 3、26～38、335～346、348～358、373～395、416～432

竹本万亀 211～314

原田ミドー 95～140

美術講演会／アーティスト・トーク等

各分野の専門家を招いての講演会や、展覧会出品作家の方を
迎えてのトーク等を開催した。



アーティスト・トーク 伽井丹彌氏

平成29年度

開催日時	内容・演題	講師	関連展覧会	会場	聴講者数
7月1日(土) 午前10時30分～	美術講演会 「家族が語る山下清『ぼんやり』と した時間を求めた旅人」	山下浩氏 (山下清作品管理事務局代表／山下清の甥)	放浪の天才画家 山下清展	当館講堂	72名
7月1日(土) 午前1時30分～	ミニトーク	山下浩氏 (山下清作品管理事務局代表／山下清の甥)	放浪の天才画家 山下清展	当館講堂	80名
11月25日(土) 午前10時～	アーティスト・トーク	佐竹真紀氏 (展覧会出品作家)	FACE／わたしとあなた	当館主展示室	25名
1月14日(日) 午後2時～	アーティスト・トーク	伽井丹彌氏 (展覧会出品作家)	FACE／わたしとあなた	当館講堂、主展示室	45名

平成30年度

開催日時	講師	講師	関連展覧会	会場	聴講者数
5月5日(土) 午後2時～	美術講演会 「ナショナルジオが見た地球の真実」	大塚茂夫氏 (『ナショナル ジオ グラフィック 日本版』編集長)	ナショナル ジオグラフィック写真展	当館講堂	81名
5月12日(土) 午後2時～	美術講演会 「北海道と写真の記録性」	飯沢耕太郎氏 (写真評論家)	ナショナル ジオグラフィック写真展	当館講堂	31名
10月6日(土) 午後2時～	アーティスト・トーク 「ニレの木に魅せられてーその半世紀を語る」	岡沼淳一氏 (展覧会出品作家)	岡沼淳一・木彫の世界	当館講堂、 主展示室	59名
12月15日(土) 午後2時～	講演会 「武四郎を育んだ江戸時代の三重」	太田光俊氏 (三重県総合博物館学芸員)	幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武 四郎	当館講堂	85名
1月14日(日祝) 午後2時～	講演会 「武四郎研究の今」	三浦泰之氏 (北海道博物館学芸員)	幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武 四郎	当館講堂	95名
1月20日(日) 午後2時～	講演会 「天下の奇男児に御座候」	河治和香氏 (小説『がいなもんー 松浦武四郎一代』著者)	幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武 四郎	当館講堂	99名
3月3日(日) 午後2時～	講演会 「北海道のアール・ブリュットの現在」	菊地雅子氏 (かたるべの森美術 館アートディレクター)	北海道のアール・ブリュット	当館講堂	78名
3月10日(日) 午後2時～	講演会 「新篠津高等養護学校演劇部 作品紹介&トーク」	山田勇氣氏 (新篠津高等養護学校演劇部顧問)	北海道のアール・ブリュット	当館講堂	21名
3月17日(日) 午後2時～	講演会 「アール・ブリュットの芸術性」	三橋純子氏 (北海道教育大学岩見沢校教授)	北海道のアール・ブリュット	当館講堂	33名

特別展セミナー

当館学芸員が、展覧会に関連したテーマを設け、出品作品を取り上げながら展覧会の見どころを紹介した。

時間＝午後２時～

会場＝当館講堂(聴講無料)

平成29年度

開催日	内容・演題	講師	関連展覧会	聴講者数
6月24日(土)	山下清展サポーター対象事前セミナー	藺部容子（当館主任学芸員）	放浪の天才画家 山下清展	3名
7月22日(土)、8月26日(土)	山下清・人と作品－時代が夢みる天才画家	藺部容子（当館主任学芸員）	放浪の天才画家 山下清展	77名
9月30日(土)、10月28日(土)	映画俳優・高倉健の世界	光岡幸治（当館学芸課長）	追悼特別展 高倉健	62名

平成30年度

開催日	講師	講師	関連展覧会	聴講者数
9月22日(土)、11月24日(土)	神田日勝、岡沼淳一：作品を読み解く	光岡幸治（当館学芸課長）	神田日勝と道東の画家たち & 岡沼淳一・木影の世界	20名

ギャラリー・ツアー

当館学芸員や関連講師が、展示室をめぐりながら出品作品を解説し、展覧会の見どころを案内した。また、「FACE／わたしとあなた」展では“プレミアム鑑賞会『『FACE』を語ろうマスクで語ろう』と題し、十勝の美術家を中心とする方々に作品を解説いただいた。

時間＝午後２時～
会場＝当館主展示室(要観覧券)

平成29年度

開催日	講師	関連展覧会	参加者数
5月27日(出)、6月10日(出)	光岡幸治（当館学芸課長）、野田佳奈子（当館学芸員）	見る、感じる、アートのチカラ	24名
1月27日(出)、2月10日(出)	野田佳奈子（当館学芸員）	FACE／わたしとあなた	11名
1月28日(出)	和泉よう子氏、小笠原洋子氏、伽井丹彌氏、近藤みどり氏、齊藤隆博氏、佐藤美和子氏、瀧川秀敏氏、中西堯昭氏、中谷有逸氏、宮澤克忠氏、村中鉄也氏、渡邊禎祥氏	FACE／わたしとあなた	27名
2月11日(出)	和泉よう子氏、梅津美香氏、小笠原洋子氏、鎌田朝緒氏、近藤みどり氏、齊藤隆博氏、佐藤美和子氏、瀧川秀敏氏、中西堯昭氏、中谷有逸氏、宮澤克忠氏	FACE／わたしとあなた	27名
2月18日(出)	和泉よう子氏、小笠原洋子氏、瀧川秀敏氏、中西堯昭氏、中谷有逸氏、宮澤克忠氏、村中鉄也氏、和田仁智義氏	FACE／わたしとあなた	28名
2月25日(出)	和泉よう子氏、梅津美香氏、齊藤隆博氏、瀧川秀敏氏、近藤みどり氏、中西堯昭氏、宮澤克忠氏、村中鉄也氏	FACE／わたしとあなた	33名

平成30年度

開催日	講師	関連展覧会	参加者数
4月7日(出)、5月19日(出)	藺部容子（当館主任学芸員）	ナショナル ジオグラフィック写真展	40名
5月6日(出)	大塚茂夫氏（『ナショナル ジオグラフィック日本版』編集長）	ナショナル ジオグラフィック写真展	77名
5月13日(出)	飯沢耕太郎氏（写真評論家）	ナショナル ジオグラフィック写真展	35名
12月15日(出)	太田光俊氏（三重県総合博物館学芸員）	幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	34名
1月14日(出)	三浦泰之氏（北海道博物館学芸員）	幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	44名
1月17日(休)	宮木宗久氏（勝毎光風社主任）	幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	23名
1月20日(出)	河治和香氏（小説『がいなもんー松浦武四郎一代ー』著者）	幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	22名
2月23日(出)	朝地信介氏、上ノ大作氏、梅田マサノリ氏（本展作品選考者）	北海道のアール・ブリュット	32名
3月9日(出)	相原正美氏、竹本万亀氏、原田ミドー氏（本展作品選考者）	北海道のアール・ブリュット	38名

トーク＆ワーク

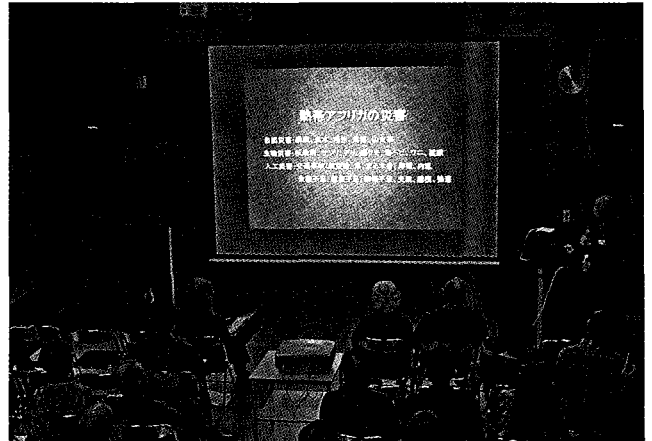
当館学芸員や外部講師による2日間連続制の講座。1日目は講座を、2日目は講座を踏まえたワークショップ等を行い、開催中の展覧会に関連する内容について多角的かつ体系的に知識を深める機会とした。なお、本事業は北海道教育委員会、北海道立生涯学習推進センターが主催する道民カレッジの連携講座としても実施した。

平成29年度

“顔”にまつわるカタチの不思議

時間＝午後2時～3時30分

会場＝当館講堂、主展示室(参加料 一般650円／高大生400円、応募制)



「アフリカン・マスクー精霊と変身の造形」橋本信夫氏

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
12月16日(土)	アフリカン・マスクー精霊と変身の造形	橋本信夫氏(北海道大学名誉教授)	FACE／わたしとあなた	39名
12月17日(日)	画家の自画像ー作者は語る?!	野田佳奈子(当館学芸員)	FACE／わたしとあなた	12名

平成30年度

時間＝午後2時～3時30分

会場＝当館講堂、主展示室(参加料 一般530円／高大生290円、応募制)

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
10月13日(土)	神田日勝の絵画ーデッサン帳、スクラップ・ブックの調査からわかること	川岸真由子氏(神田日勝記念美術館学芸員)	神田日勝と道東の画家たち	41名
10月14日(日)	みどころ解説と展覧会鑑賞ツアー	光岡幸治(当館学芸課長)	神田日勝と道東の画家たち	13名

ミュージアム・ミステリー

コレクション・ギャラリーの関連事業として、小学1～6年生を対象に、美術に親しんでもらうためのワークショッププログラムを実施。自ら感じ、考えながら作品とふれあう創造的な鑑賞姿勢を導き出すべく企画した。

平成29年度

ミュージアム・ミステリー2017サマー アートで探検?! バルビゾン村へ行こう!

日 時＝8月6日(日) ①午前10時30分～12時
②午後2時～3時30分

会 場＝当館コレクション・ギャラリー

参加者＝小学生 計14名

内 容

導入部として部分探しゲームを行い、出品作品を参加者全員で鑑賞。その後、自分が入り込みたいと感じた作品を選び、ポーズを決めて撮影。その写真を切り貼りし、作品図版の上に貼り合わせて“記念写真”を作成し、それを使って絵日記を書いた。作品は各自、記念として持ち帰ってもらった。



「アートで探検?! バルビゾン村へ行こう!」

ミュージアム・ミステリー2017ウィンター ぐるり道東 旅の絵日記

日 時＝12月9日(土) 午前10時30分～12時

会 場＝当館コレクション・ギャラリー

参加者＝小学生 計5名

内 容

導入部として部分探しゲームを行い、出品作品を参加者全員で鑑賞。その後、気に入った作品を選び、絵日記を作成した。絵日記は各自、記念として持ち帰ってもらった。

平成30年度

ミュージアム・ミステリー2018サマー はじめてのチュウショウ画

日 時＝7月28日(土) 午前10時30分～12時

会 場＝当館コレクション・ギャラリー、講堂

参加者＝小学生 計8名

内 容

導入部として部分探しゲームを行い、出品作品を参加者全員で鑑賞。その後、色画用紙や水彩絵具、クレヨンなどを用いて抽象画の制作を行った。作品は各自、記念として持ち帰ってもらった。



「はじめてのチュウショウ画」

キッズ・ツアー

各特別展の会期中に1回、小学生を主な対象としたギャラリー・ツアーを実施した。各回毎にクイズや対話、パペットの使用などにより、子どもたちの集中と自発的な鑑賞を促すよう工夫した。

時間＝午後2時～(約30分)

会場＝当館展示室(要観覧券)



「FACE／わたしとあなた」展キッズ・ツアー

平成29年度

開催日	講師	関連展覧会	参加者数
5月6日(土)	光岡幸治(当館学芸課長)	見る、感じる。アートの子カラ	18人
8月4日(金)	藺部容子(当館主任学芸員)	放浪の天才画家 山下清展	18人
11月4日(土)	藺部容子(当館主任学芸員)	生誕120年 能勢眞美	3人
1月13日(土)	野田佳奈子(当館学芸員)	FACE／わたしとあなた	13人

平成30年度

開催日	講師	関連展覧会	参加者数
6月2日(土)	藺部容子(当館主任学芸員)	ナショナル ジオグラフィック写真展	0人
8月4日(土)	藺部容子(当館主任学芸員)	絵具の国―抽象表現の試み―	20人
11月10日(土)	光岡幸治(当館学芸課長)	神田日勝と道東の画家たち & 岡沼淳一・木彫の世界	0人
1月12日(土)	藺部容子(当館主任学芸員)	幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	7人
3月2日(土)	光岡幸治(当館学芸課長)	北海道のアール・ブリュット	2人

キッズ・ミュージアム

親子、家族連れの来館者を対象とした事業。各展覧会の会期中に1回、託児の日を設け、日常ゆっくりと展覧会を鑑賞する機会の少ない幼児を連れた保護者に、寛いだ鑑賞の機会を提供した。託児の間、子どもたちは工作遊びを楽しんでもらった。なお本事業は、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」との共催で実施。工作遊びの内容検討から準備作業、当日の受付業務、託児、工作補助まで「しらかばの会」ワークショップ部が中心となって運営した。

時間＝午後1時30分～3時30分(受付は3時まで)

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」



「キラキラまんげきょう」

平成29年度

開催日	工作内容	関連展覧会	参加者数
6月3日(土)	楽しい絵ざら時計	見る、感じる、アートのチカラ	5名
9月2日(土)	おり紙キュービック	放浪の天才画家 山下清展	17名
10月21日(土)	木を描こう	生誕120年 能勢真美	11名
2月10日(土)	お面をつくろう	FACE／わたしとあなた	4名

平成30年度

開催日	工作内容	関連展覧会	参加者数
4月21日(土)	分身マン	ナショナル ジオグラフィック写真展	17名
7月7日(土)	キラキラまんげきょう	魔法の美術館	45名
9月29日(土)	はっぱで遊ぼう	神田日勝と道東の画家たち & 岡沼淳一・木彫の世界	9名
2月9日(土)	たんけん！地図づくり	幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	20名
3月23日(土)	私のトートバッグ	北海道のアール・ブリュット	10名

ワークショップ等

開催中の展覧会に関連し、美術家等による造形ワークショップを実施した。

会場＝当館講堂ほか



ワークショップ「作って、飾って、楽しい仮面」

平成29年度

開催日時	内容	講師	関連展覧会・事業	参加者数
7月29日(土) 午前10時～午後4時	ぞっこん！山下清ワールド～ちいさな点々でびっしり描こう	岩沢美香氏（イラストレーター）	放浪の天才画家 山下清展	22名
9月16日(土)～17日(日)* 各日午前10時～午後3時	大人の油絵入門：風景画編	中西堯昭氏（画家）	生誕120年 能勢眞美	17名
1月6日(土)～7日(日)* 午後1時30分～4時	作って、飾って、楽しい仮面	宮澤克忠氏（画家）	FACE／わたしとあなた	17名
1月20日(土)～21日(日) 午前10時～午後3時	いきなり！大人の油絵入門：自画像編	中谷有逸氏（美術家）	FACE／わたしとあなた	19名

* 帯広美術館振興会と共催。

平成30年度

開催日時	内容	講師	関連展覧会	参加者数
7月29日(日)、8月8日(木) 午前10時～12時	光の水族館	帯広美術館振興会幹事	魔法の美術館	56名
8月11日(土・祝) 午前10時30分～12時、 午後2時～3時30分	体験！カタチと音のふしぎ	高橋寿美雄氏、村瀬かおり氏 (NPO 法人 北海道学芸美術研究所)	魔法の美術館	54名
10月27日(土)～28日(日)* 午前10時～午後3時	おとなの油絵入門	齊藤隆博氏（画家、全道展会員）	神田日勝と道東の画家たち & 岡沼淳一・木彫の世界	18名
12月22日(土)、23日(日) 午後2時～4時	武四郎を支えたてん刻づくり教室	八重柏冬雷氏（書家）	幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	20名
1月13日(日) 午前1時30分～3時30分	アイヌ刺繍作り	高田絹代氏 (かちまいアカデミー アイヌ刺繍講座講師)	幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	10名
2月24日(日) 午後2時～3時30分	アール・ブリュット創作体験	朝地信介氏（日本画家、本展作品選考者）	北海道のアール・ブリュット	19名

* 帯広美術館振興会と共催。

映写室

開催中の展覧会に関連したプログラムを中心に、映画、DVD の上映を行った。

会場＝当館講堂(入場無料)

平成29年度

開催日時	内容	関連展覧会・事業	入場者数
9月5日(火)* 午前9時30分～	特別映画上映会「幸福の黄色いハンカチ」(108分)	追悼特別展 高倉健	330名
10月14日(土)、10月22日(土)、11月3日(金) 午後2時～	ミュージアム・シアター「刑事」(89分)	追悼特別展 高倉健、芸術週間	164名
2月3日(土)、4日(日) 午後2時～	ミュージアム・シアター「ブリューゲルの動く絵」(96分)	美術館 de 氷まつり 2018	83名

*会場＝シネマ太陽帯広(応募制)

平成30年度

開催日時	内容	関連展覧会・事業	入場者数
11月3日(土曜)、4日(日) 午後2時～	ミュージアム・シアター「ライフ・オブ・ウォーホル」(35分)	芸術週間	27名

コンサート

より幅広い層の市民に美術館に親しんでもらうため、展覧会の内容等にあわせて他団体と連携し、美術館内でコンサートを開催した。

時間＝午後2時～(約60分)
会場＝当館ロビー(入場無料)



「オーボエ演奏」太田妃佳里氏

平成29年度

開催日	内容	出演者	主催	参加者数
10月28日(土)	ウェルカム・コンサート	和光憂人氏(バイオリン)、長尾崇人氏(ピアノ)	追悼特別展「高倉健」実行委員会	98人
11月25日(土)	アフリカの音楽と踊り	瀧村正樹氏(パーカッション)、瀧根克伸氏(パーカッション)、永原美幸氏(アフリカンダンサー)	帯広美術館振興会と共催	77人

平成30年度

開催日	内容	出演者	主催	参加者数
11月11日(日)	オーボエ演奏	太田妃佳里氏(オーボエ)	帯広美術館振興会と共催	141人
3月13日(木)	クラシックサクソとインタラクティブ映像の演奏会	金本あかり氏(サクソフォン奏者)、岡本和之氏(映像作家)	北海道立帯広美術館	45人
3月21日(木曜)	アフリカ音楽の演奏会	ハランベ(愛灯学園)	北海道立帯広美術館	141人

芸術週間

道立の文化施設では、道民が芸術に親しむ機運を醸成すべく、平成11年度より文化の日をはさむ7日間を芸術週間として設定した。期間中は幅広い広報活動を行うことで施設や事業の案内、周知に努めるとともに、一週間を通じて開館日とし、各種の教育普及事業を開催。また、コレクション・ギャラリー観覧料を無料とすることで道民の関心を喚起し、利用の促進を図った。

平成29年度

月 日	実施内容
11月1日(木)	○図録フェア
11月2日(木)	○図録フェア
11月3日(金祝)	○図録フェア ○ミュージアム・シアター 「刑事」
11月4日(土)	○図録フェア ○キッズ・ツアー
11月5日(日)	○図録フェア
11月6日(月)	○臨時開館 ○図録フェア
11月7日(火)	○図録フェア

期間中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「生誕120年 能勢眞美」／主展示室「追悼特別展 高倉健」

平成30年度

月 日	実施内容
11月1日(木)	○図録フェア
11月2日(金)	○図録フェア
11月3日(土祝)	○ミュージアム・シアター 「ライフ・オブ・ウォーホル」 ○図録フェア
11月4日(日)	○ミュージアム・シアター 「ライフ・オブ・ウォーホル」 ○図録フェア
11月5日(月)	○臨時開館 ○図録フェア
11月6日(火)	○図録フェア
11月7日(水)	○図録フェア

期間中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「絵具の国」／主展示室「神田日勝と道東の画家たち & 岡沼淳一・木彫の世界」

おびひろ氷まつり協賛事業

例年2月初めの週末には、帯広美術館が立地する帯広市緑ヶ丘公園を主会場のひとつに、「おびひろ氷まつり」が開催される。本事業は、「おびひろ氷まつり」の来場者に、美術館に親しんでもらうべく企画・実施したもの。ゲームやツアー、上映会、スタンプラリーなど多彩なプログラムを設け、美術館に足を運ぶきっかけ作りとした。なお本事業は、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」と共同して実施した。

平成29年度

美術館 de 氷まつり 2018

開催日＝2月2日(金)～4日(日)

会場＝当館ロビー、主展示室、講堂ほか

参加者＝計289人

開催展覧会＝FACE／わたしとあなた、北海道・道東ぐるり旅

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

プログラム

・ミッション in てらんかい☆

特別展「FACE／わたしとあなた」において、クイズ形式のミッション(指令)に挑戦してもらい、ミッションをクリアした参加者にポストカードなどをプレゼントした。

日時＝2月2日(金)～4日(日) 午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館主展示室(要観覧券)

参加者数＝178人

・ミュージアム・ツアー

特別展「FACE／わたしとあなた」を楽しく鑑賞するほか、普段は入れない美術館の裏側(収蔵庫や地下など)をめぐる。

日時＝2月3日(土)、4日(日) 午後4時～(約50分)

案内＝当館学芸員

会場＝当館主展示室、収蔵庫ほか(要観覧券)

参加者数＝28人

・ミュージアム・シアター「ブリューゲルの動く絵」

16世紀フランドル絵画の巨匠ピーテル・ブリューゲルに関する映画を上映した。

日時＝2月3日(土)、4日(日) 午後2時～(96分)

会場＝当館講堂(入場無料)

参加者数＝83人



「ミッション in てらんかい☆」

平成30年度

美術館 de 氷まつり 2019

開催日＝2月1日(金)～3日(日)

会場＝当館ロビー、主展示室、講堂、緑ヶ丘諸施設ほか

参加者＝計507人

開催展覧会＝松浦武四郎、描かれた物語

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、松浦武四郎
展実行委員会(北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市
教育委員会、十勝毎日新聞社、NPO十勝文化会議)

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、帯広百年
記念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター

プログラム

・ミッション in てんらんかい☆

特別展「松浦武四郎」において、クイズ形式のミッション
(指令)に挑戦してもらい、ミッションをクリアした参加者に
ポストカードなどをプレゼントした。

日時＝2月1日(金)～3日(日) 午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館主展示室(要観覧券)

参加者数＝331人

・武四郎とめぐる緑ヶ丘スタンプラリー

特別展「松浦武四郎」に関連して、緑ヶ丘にある施設や祭
り会場をめぐるスタンプラリーを開催した。

日時＝2月1日(金)～3日(日) 午前9時30分～午後5時

会場＝当館ロビー、氷まつり本会場(午前10時～)、帯広百
年記念館、帯広市児童会館、みどりと花のセンター
(参加無料)

参加者数＝152人

・ミュージアム・ツアー

特別展「松浦武四郎」を楽しく鑑賞するほか、普段は入れ
ない美術館の裏側(収蔵庫や地下など)をめぐる。

日時＝2月2日(土)、3日(日) 午後3時～(約60分)

案内＝当館学芸員

会場＝当館主展示室、収蔵庫ほか(要観覧券)

参加者数＝24人

・武四郎スゴロクで遊ぼう！

武四郎が作ったスゴロクの巨大レプリカで遊んでいただい
た。

日時＝2月1日(金)～3日(日) 午前9時30分～午後5時

会場＝当館講堂(入場無料)

参加者数＝集計データなし



「ミュージアム・ツアー」

団体オリエンテーション

団体観覧者のうち希望するグループに対し、講堂にて映像を使用しながら当館の概要と開催中の特別展およびコレクション・ギャラリーの内容を紹介するオリエンテーションを実施した。

時間＝随時

会場＝当館講堂(無料、事前申込制)

平成29年度

関連展覧会	展覧会会期	実施回数	利用者数
見る、感じる、アートのチカラ	4月29日(土)～6月18日(日)	9回	161人
放浪の天才画家 山下清展	7月1日(土)～9月3日(日)	55回	1,754人
追悼特別展 高倉健	9月12日(火)～11月12日(日)	22回	396人
FACE／わたしとあなた	11月25日(土)～2月25日(日)	11回	285人

平成30年度

関連展覧会	展覧会会期	実施回数	利用者数
ナショナル ジオグラフィック写真展	4月7日(土)～6月17日(日)	10回	294人
魔法の美術館	6月30日(土)～9月5日(日)	62回	2,121人
神田日勝と道東の画家たち & 岡沼淳一・木彫の世界	9月15日(土)～12月2日(日)	21回	776人
幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	12月15日(土)～2月11日(月・祝)	7回	194人
北海道のアール・ブリュット	2月21日(日)～3月31日(日)	2回	27人

セルフガイド（クイズ）

コレクション・ギャラリーおよび主展示室で開催中の展覧会について、出品作品数点に関するクイズを作成し、希望する観覧者に配布した。それぞれの設問は、主として小学校中学年を対象とし、作品の主題や技法、造形要素等に注意を喚起することで、作品鑑賞の一助となるように努めた。

平成29年度

関連展覧会	展覧会会期	会場	利用者数
知られざる五十三次	4月29日(土)～6月18日(日)	コレクション・ギャラリー	185名
見る、感じる、アートの子カラ	4月29日(土)～6月18日(日)	主展示室	272名
ようこそ、バルビゾン村へ	7月1日(土)～9月3日(日)	コレクション・ギャラリー	1,667名
放浪の天才画家 山下清展	7月1日(土)～9月3日(日)	主展示室	2,874名
生誕120年 能勢眞美	9月12日(火)～11月12日(日)	コレクション・ギャラリー	250名
北海道・道東ぐるり旅	11月25日(土)～2月25日(日)	コレクション・ギャラリー	531名
FACE／わたしとあなた	11月25日(土)～2月25日(日)	主展示室	543名

平成30年度

関連展覧会	展覧会会期	会場	利用者数
奇想天外ープリントアートの世界	4月7日(土)～6月17日(日)	コレクション・ギャラリー	345名
ナショナル ジオグラフィック写真展	4月7日(土)～6月17日(日)	主展示室	775名
絵具の国ー抽象表現の試みー	6月30日(土)～12月2日(日)	コレクション・ギャラリー	4,539名
神田日勝と道東の画家たち & 岡沼淳一・木彫の世界	9月15日(土)～12月2日(日)	主展示室	875名
描かれた物語	12月15日(土)～3月31日(日)	コレクション・ギャラリー	342名
幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎	12月15日(土)～2月11日(月・祝)	主展示室	676名
北海道のアール・ブリュット	2月21日(土)～3月31日(日)	主展示室	404名

教員研修プログラム

小学校・中学校・高等学校等の教員に長期休業期間中の自己研修の機会を提供するとともに、美術館施設を活用した学習や美術の鑑賞事業についての実践的なヒントを提供するために、教員研修プログラムを実施した。

研修内容は、当館で展覧会ごとに作成・使用しているセルフガイド(クイズ)を参加者各自が作成し、相互に検証するグループワークを中心に据えた。併せて、館内諸施設の見学やボランティア活動の体験を行い、美術館活動全般について広く研修できるように留意した。

平成29年度

受入期間＝8月3日(木)～8月5日(土)

受入人数＝6人

平成30年度

受入期間＝8月2日(木)～8月4日(土)

受入人数＝5人

出張アート教室

小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の学校関係者に道立美術館等を学習の場として広く活用できることを認識してもらおうこと、また美術館等の所蔵作品の有効利用を図ることを目的として、各道立美術館等が主催となって実施した事業。学芸員が学校に美術館の所蔵作品を持参して出向き、児童、生徒に実物を見せながらわかりやすく鑑賞の手ほどきを行った。



「美術のみ・か・たー3つの扉」網走市立第二中学校

平成29年度

実施日	学校名・学年	授業名・内容	担当学芸員	人数
11月7日(火)	中札内村立中札内中学校 第1～3学年	イメージを伝える (プリントアートに関連し、オガロ《自転車タイヤ「ミシュラン」》を紹介)	光岡幸治(当館学芸課長)	85名
11月10日(金)	帯広市立啓北小学校 第5学年	イメージを伝える (プリントアートに関連し、オガロ《自転車タイヤ「ミシュラン」》を紹介)	光岡幸治(当館学芸課長)	60名

平成30年度

実施日	学校名・学年	授業名・内容	担当学芸員	人数
11月6日(火)	網走市立第二中学校 第2学年	美術のみ・か・たー3つの扉 (能勢真美《自画像》、一原有徳《Mt. Ashibetsutake》、マリア・サッシン《イタリヤ航路、南アメリカ》を紹介しながら、3つの鑑賞法を实践)	野田佳奈子(当館学芸員)	66名

学校教育との連携

中学校や高校の「職場体験学習」などの授業を受け入れ、美術館教育と学校教育との連携を図った。各授業では美術館の施設や活動などについて、当館職員が適宜、説明や指導にあたり、とともに、美術館業務やボランティア活動の体験も行った。また、教員との意見交換も含めた研修の機会も設けた。

平成29年度

月日	連携機関（学校名等）	事業名・内容	人数
5月13日(土)	広尾町立広尾中学校	美術部施設見学	10人
7月22日(土)	土幌町立土幌中学校	美術部施設見学	9人
7月22日(土)～8月17日(休)	帯広市立帯広第四中学校	展覧会鑑賞（夏休み課題）	315人
7月22日(土)～8月17日(休)	帯広市立大空中学校	展覧会鑑賞（夏休み課題）	199人
7月22日(土)～8月17日(休)	帯広市立南町中学校	展覧会鑑賞（夏休み課題）	400人
8月23日(休)～25日(金)	帯広農業高等学校	インターンシップ	1人
10月11日(休)	帯広市立大空中学校	インターンシップ	1人
10月11日(休)	中札内高等養護・幕別分校	職業インタビュー	4人
10月25日(休)	帯広第八中学校	インターンシップ	1人
10月25日(休)	帯広西陵中学校	インターンシップ	4人
10月26日(金)	音更町立下音更中学校	インターンシップ	2人
12月2日(土)	帯広大谷大学	博物館展示論（学外授業）	17人
2月15日(休)、16日(金)、22日(休)、23日(金)	音更町立下音更中学校	学校連携「自由に解釈、自由に解説」	140人
2月22日(休)	帯広市立帯広小学校	みるみるみらい教室	30人

平成30年度

月日	連携機関（学校名等）	事業名・内容	人数
5月26日(土)	帯広大谷短期大学	施設見学	9人
7月8日(日)	広尾町立広尾中学校総合文化部	施設見学	11人
7月21日(土)	帯広市内中学校美術部	合同写生会	106人
8月1日(休)	十勝研修センター	研修講座「図画工作」	33人
8月22日(休)～24日(金)	帯広農業高等学校	インターンシップ	1人
10月10日(休)	帯広市立大空中学校	インターンシップ	3人
10月16日(休)	幕別町立忠類中学校	施設見学	30人
10月17日(休)	帯広市立西陵中学校	インターンシップ	2人
10月17日(休)	帯広市立第五中学校	インターンシップ	2人
10月18日(休)	帯広市立第一中学校	インターンシップ	4人
10月26日(金)	帯広市立札内東中学校	インターンシップ	3人
12月19日(休)、1月25日(金)	帯広市立南町中学校	出前講座	419人
2月6日(休)	帯広南商業高等学校	インターンシップ	2人

他団体との連携

帯広美術館ボランティア「しらかばの会」や地元公共機関など他団体が主催する事業に会場提供や講師派遣など協力を行い、美術館活動の普及に努めた。

平成29年度

月日	主催団体名	事業名・内容	人数
5月3日(水)～7日(日)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	ロビー・カフェ 美術館で花見	75人
6月20日(火)	道新文化センター	道新文化センター1日講座 帯広美術館「山下清展」の魅力あれこれ (講師＝蘭部容子・当館主任学芸員)	7人
7月8日(土)	山下清展実行委員会	道新ぶんぶんクラブ特別鑑賞会 オリエンテーションと「山下清展」鑑賞 (講師＝蘭部容子・当館主任学芸員)	87人
7月25日(火)	十勝管内博物館学芸員等協議会ほか	教員のための博物館の日 美術館の歩き方(施設見学)	16人
7月25日(火)～30日(日)	十勝管内博物館学芸員等協議会ほか	教員のための博物館の日 展覧会見学	37人
7月29日(土)～8月13日(日)	帯広市教育委員会ほか	よりどりみどりがおかウィーク!2017 緑ヶ丘公園内の施設との連携事業。スタンプラリー参加	205人
8月19日(土)	音更町図書館	図書館芸術鑑賞講座 帯広美術館「山下清展」への招待 (講師＝蘭部容子・当館主任学芸員)	31人
8月20日(日)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	第17回北海道美術館ボランティア交流会オリエンテーション (講師＝光岡幸治・当館学芸課長、蘭部容子・当館主任学芸員)	85人
10月15日(日)	音更町図書館	図書館芸術鑑賞講座「映画俳優・高倉健の世界」 (講師＝光岡幸治・当館学芸課長)	20人
11月17日(金)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	しらかばの会平成29年度会員研修事業「一原有徳一版の冒険」 (講師＝光岡幸治・当館学芸課長)	45人
12月21日(木)	市民活動プラザ六中ソフト推進室	六中地域マイスター講座 展覧会を3倍楽しむ!美術館のウラ話 (講師＝野田佳奈子・当館学芸員)	12人
1月16日(火)	学校法人 帯広学園	“異業種に学ぶ”感性の磨き方 美術館活動について 感動と喜びをともに (講師＝光岡幸治・当館学芸課長)	33人
2月17日(土)	浦幌町立博物館	博物館講座「FACE／わたしとあなた」展ができるまで (講師＝野田佳奈子・当館学芸員)	7人

平成30年度

月日	主催団体名	事業名・内容	人数
5月19日(土)	音更町図書館	図書館芸術鑑賞講座 帯広美術館「ナショナル ジオグラフィック写真展」の魅力 (講師＝蘭部容子・当館主任学芸員)	15人
10月20日(土)	音更町図書館	図書館芸術鑑賞講座「神田日勝、岡沼淳一：作品を読み解く」 (講師＝光岡幸治・当館学芸課長)	13人
11月23日(金)	十勝管内公立学校女性管理職会	十勝管内公立学校女性管理職秋季研修会 「学校と美術館の連携～美術館活用の方法を模索して～」 (講師＝光岡幸治・当館学芸課長)	18人
1月23日(火)	音更町	音更町高齢者大学院講座 帯広美術館「松浦武四郎展」の魅力 (講師＝蘭部容子・当館主任学芸員)	18人
1月27日(日)	浦幌町立博物館	浦幌スタイル・ゼミナール「松浦武四郎展の世界」 (講師＝蘭部容子・当館主任学芸員)	30人
2月21日(木)～3月31日(日)	北海道立図書館と共催	道立図書館 絵本コーナー	35人

その他

平成29年度

・高倉健映画ポスター展

「追悼特別展 高倉健」に関連して、高倉健出演映画のポスター10点を展示した。

開催日＝8月17日(木)～29日(火)

会 場＝かちまいサロン

観覧者数＝計655名

・「幸福」のメッセージを夕張に！

「追悼特別展 高倉健」に関連して、黄色い付箋に「幸福」のメッセージを書いていただいた。なお、これらの付箋は、会期終了後、夕張にとどけた。

開催日＝9月12日(火)～11月12日(日)

会 場＝当館主展示室

参加者数＝1,318名

・「健さん」にもれなくプレゼント！

「追悼特別展 高倉健」に関連して、氏名に「けん」の呼び名が使われている方を対象に、展覧会観覧毎に絵葉書をプレゼントした。

開催日＝9月12日(火)～11月12日(日)

会 場＝当館ロビー

参加者数＝49名

・いつまでも健やかに！

「追悼特別展 高倉健」に関連して、60歳以上の観覧者先着100名に絵葉書をプレゼントした。

開催日＝9月18日(月・祝)

会 場＝当館ロビー

参加者数＝100名

・「鉄道の日」プレゼント！

「追悼特別展 高倉健」に関連して、観覧者先着50名に「鉄道員(ぼっばや)」の絵葉書をプレゼントした。

開催日＝10月14日(土)

会 場＝当館ロビー

参加者数＝50名

・健さんの命日には珈琲をプレゼント！

「追悼特別展 高倉健」に関連して、観覧者先着100名に「健さんの愛した珈琲」(ドリップバック)をプレゼントした。

開催日＝11月10日(金)

会 場＝当館ロビー

参加者数＝100名

平成30年度

・絵本『北加伊道』原画展

特別展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」に関連して、絵本『北加伊道』(関屋敏隆作)の原画を展示した。

開催日＝12月12日(木)～27日(木)

会 場＝帯広百年記念館

観覧者数＝266名

・武四郎スゴロクで遊ぼう！

特別展「幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎」に関連して、武四郎がつくったスゴロクの巨大レプリカで遊んでいただいた。

開催日＝12月15日(土)～2月11日(月・祝)

会 場＝当館講堂

参加者数＝集計データなし

・武四郎誕生日イベント

松浦武四郎の誕生日にちなんで、観覧者先着100名にポストカードをプレゼントした。

開催日＝2月6日(木)

会 場＝当館ロビー

参加者数＝100名

アートギャラリー北海道事業

アートギャラリー北海道事業に関して、地域のミュージアムとの連携事業を実施した。

平成30年度

・特別展 神田日勝と道東の画家たち&岡沼淳一・木彫の世界

会 期＝平成30年 9月15日(土)～12月 2日(日) 69日間

主 催＝北海道立帯広美術館

協 力＝神田日勝記念美術館

会 場＝当館主展示室

観覧料＝一般700(530)円、高大生400(290)円、中学生以下無料

観覧者数＝4,083人

※詳細は p.53を参照

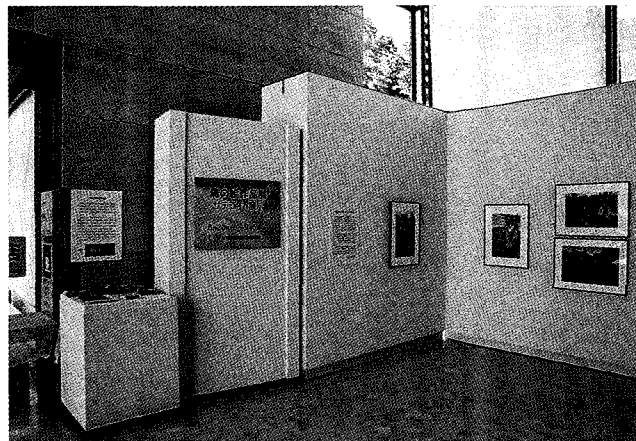
・馬の絵作品展－サテライト展示

特別展「神田日勝と道東の画家たち & 岡沼淳一・木彫の世界」に関連して過去10年間の「馬の絵作品展」文部科学大臣賞受賞作10点をロビーに展示した。

会 期＝ 6月30日(土)～ 9月 5日(水)

会 場＝当館ロビー(無料)

観覧者数＝30,492名



馬の絵作品展－サテライト展示

平成29年度 作品収集状況

【分野別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			平成29年度末 所蔵点数		受託作品			保 管 点 数	比 率
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	平成29年度	計		
油 彩	88	11.1%				88	11.0%	31		31	119	14.0%
日 本 画	10	1.3%				10	1.3%	1		1	11	1.3%
水 彩・素 描	35	4.4%				35	4.4%	10		10	45	5.3%
版 画	339	43.0%		8	8	347	43.4%	2	▲ 1	1	348	41.0%
彫 塑	15	1.9%				15	1.9%	2		2	17	2.0%
工 芸	1	0.1%				1	0.1%				1	0.1%
デ ザ イ ン	255	32.3%				255	32.0%				255	30.1%
写 真	47	5.9%				47	5.9%	6		6	53	6.2%
合 計	790	100.0%		8	8	798	100.0%	52	▲ 1	51	849	100.0%

【収集区分別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			所蔵 点数	比 率	受託作品			作 品 総 数	
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	平成29年度	計		
道 東 の 美 術	289	36.6%				289	36.2%	41		41	330	38.9%
プ リ ン ト ア ー ト	643	81.4%		8	8	651	81.6%	8	▲ 1	7	658	77.5%
西 洋 の 美 術	76	9.6%				76	9.5%	6		6	82	9.7%
区 分 外	12	1.5%				12	1.5%	4		4	16	1.9%

* 複数の収集区分に重複する作品があるため、構成比の合計は100%を超える。

受贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)	寄贈者
2017001	版画	郭 徳俊	カーターと郭	1977 (昭和52)	シルクスクリーン、紙	55.0×38.0	郭徳俊氏
2017002	版画	郭 徳俊	レーガンと郭	1981 (昭和56)	シルクスクリーン、紙	53.8×37.2	郭徳俊氏
2017003	版画	郭 徳俊	レーガンⅡと郭	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	53.6×39.3	郭徳俊氏
2017004	版画	郭 徳俊	ブッシュ (父) と郭	1989 (平成元)	シルクスクリーン、紙	53.9×37.8	郭徳俊氏
2017005	版画	郭 徳俊	クリントンと郭	1993 (平成5)	シルクスクリーン、紙	54.3×41.2	郭徳俊氏
2017006	版画	郭 徳俊	ブッシュ2001と郭	2001 (平成13)	シルクスクリーン、紙	55.0×36.2	郭徳俊氏
2017007	版画	郭 徳俊	ブッシュ2001 (Ⅱ) と郭	2005 (平成17)	シルクスクリーン、紙	52.2×36.9	郭徳俊氏
2017008	版画	郭 徳俊	オバマと郭	2009 (平成21)	シルクスクリーン、紙	51.3×36.8	郭徳俊氏

平成30年度 作品収集状況

【分野別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			平成30年度末 所 蔵 点 数		受 託 作 品			保 管 点 数	比 率
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	平成30年度	計		
油 彩	88	11.0%		2	2	90	11.1%	31	▲ 1	30	119	13.9%
日 本 画	10	1.3%				10	1.2%	1		1	11	1.3%
水 彩 ・ 素 描	35	4.4%				35	4.3%	10		10	45	5.2%
版 画	347	43.4%	1	4	5	352	43.6%	1		1	355	41.5%
彫 塑	15	1.9%		2	2	17	2.1%	2		2	19	2.2%
工 芸	1	0.1%				1	0.1%				1	0.1%
デ ザ イ ン	255	32.0%				255	31.6%				255	29.7%
写 真	47	5.9%		1	1	48	6.0%	6	▲ 1	5	53	6.1%
合 計	798	100.0%	1	9	10	808	100.0%	51	▲ 2	49	857	100.0%

【収集区分別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			所蔵 点数	比 率	受 託 作 品			作 品 総 数	
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	平成30年度	計		
道 東 の 美 術	289	36.2%		5	5	294	36.4%	41	▲ 2	39	333	38.9%
プリントアート	651	81.6%	1	5	6	657	81.3%	7	▲ 1	6	662	77.2%
西 洋 の 美 術	76	9.5%				76	9.4%	6		6	82	9.6%
区 分 外	12	1.5%				12	1.5%	4		4	16	1.9%

* 複数の収集区分に重複する作品があるため、構成比の合計は100.0%を超える。

購入

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
2018001	版画	ロイ・リクテンスタイン	青い床の室内が描かれた壁紙	1992	シルクスクリーン、紙	259.0×387.5

受贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	寄贈者
2018002	油彩	近藤みどり	慰する旅人 I	2004 (平成16)	油彩、キャンバス	182.0×227.5	個人
2018003	油彩	寺島春雄	一輪のバラ	1965 (昭和40)	油彩、キャンバス	40.7×31.7	大戸秀夫氏
2018004	版画	郭 徳俊	WEIGHT- SCALE EVENT 811	1981 (昭和56)	シルクスクリーン、鉛筆、方眼紙	75.5×53.5	郭徳俊氏
2018005	版画	郭 徳俊	WEIGHT- SCALE EVENT 812	1981 (昭和56)	シルクスクリーン、鉛筆、方眼紙	75.5×53.5	郭徳俊氏
2018006	版画	郭 徳俊	WEIGHT- SCALE EVENT 813	1981 (昭和56)	シルクスクリーン、鉛筆、方眼紙	75.5×53.5	郭徳俊氏
2018007	版画	郭 徳俊	クリントンIIと郭	1997 (平成9)	シルクスクリーン、紙	51.5×37.3	郭徳俊氏
2018008	彫塑	岡沼淳一	WINTER	1996 (平成8)	埋もれ木 (ニレ)	173.5×11.5×245.0	岡沼淳一氏
2018009	彫塑	岡沼淳一	雨のち晴れ	2017 (平成29)	埋もれ木 (ニレ)	49.0×22.0×265.0	岡沼淳一氏
2018010	写真	戸張良彦	143.618034,42.699446 107°	2015 (平成27)	デジタルCプリント	100.0×150.0	個人

図版目録

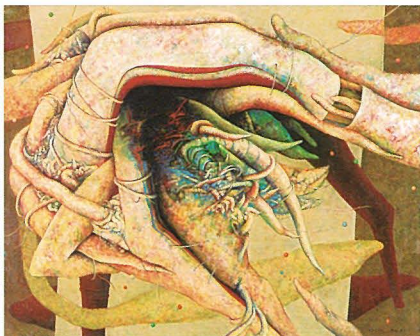
凡例

1. この目録には、平成29年4月1日から平成31年3月31日までに北海道立帯広美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は、材質・形状により、次の分野に分類した。
 1. 油彩
 2. 版画
 3. 彫塑
 4. 写真
3. 作品は各分野ごとに作家の姓の50音順に配列した。同一作家の作品が各分野に2点以上ある場合は、制作年順に配列した。
4. 各作品のデータ記載事項と順序は、次の通りである。
作家名、作家名欧文、生没年、作品名、作品名欧文、制作年、技法材質、寸法、初出展覧会（開催年／会場／受賞等）、収集年度・収集の経緯、作品番号（収集区分）
5. 寸法はセンチメートルを単位とした（平面作品は縦×横、立体作品は幅×奥行×高さ）。また、組作品は、主要な1点を選択し、寸法を記載した。
6. 収集区分は、次の3つの収集方針に基づいて分類した。
 1. 道 東 の 美 術：十勝・釧路・根室・オホーツクの北海道東部4管内にゆかりの作家・作品と関連する作品
 2. プリントアート：近現代を主とし国内外の版画やポスターを中心とした作品
 3. 西 洋 の 美 術：バルビゾン派をはじめ田園風景・農村風俗を主題とした作品
7. 収集区分の記載にあたり、複数の区分を併記したものがある。

油 彩

近藤みどり
KONDO Midori
1946（昭和21）～

慰する旅人 I
Comforming Wayfare I
2004（平成16）
油彩、キャンバス
182.0×227.5
第59回行動展（2004/東京都美術館/奨励賞）
平成30年度・個人寄贈
2018002（道東の美術）



寺島春雄
TERASHIMA Haruo
1911（明治44）～1966（昭和41）

一輪のバラ
A Rose
1965（昭和40）
油彩、キャンバス
40.7×31.7
平成30年度・大戸秀夫氏寄贈
2018003（道東の美術）



版 画

郭 徳俊
KWAK Duck-Jum
1937（昭和12）～

カーターと郭
Carter and Kwak

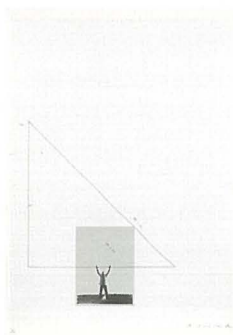
1977（昭和52）刷り：2007（平成19）
シルクスクリーン、紙
55.0×38.0
平成29年度・郭徳俊氏寄贈
2017001（プリントアート）



郭 徳俊
KWAK Duck-Jum
1937（昭和12）～

WEIGHT- SCALE EVENT 811

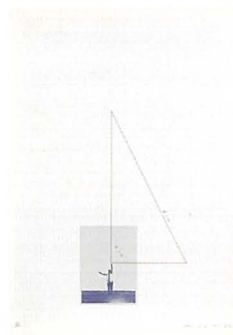
1981（昭和56）
シルクスクリーン、鉛筆、方眼紙
75.5×53.5
平成30年度・郭徳俊氏寄贈
2018004（プリントアート）



郭 徳俊
KWAK Duck-Jum
1937（昭和12）～

WEIGHT- SCALE EVENT 812

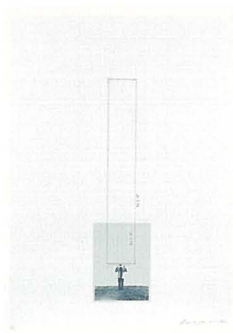
1981（昭和56）
シルクスクリーン、鉛筆、方眼紙
75.5×53.5
平成30年度・郭徳俊氏寄贈
2018005（プリントアート）



郭 徳俊
KWAK Duck-Jum
1937（昭和12）～

WEIGHT- SCALE EVENT 813

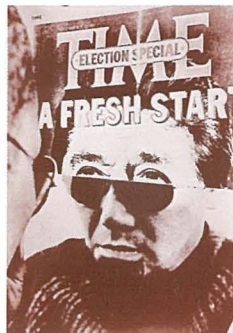
1981（昭和56）
シルクスクリーン、鉛筆、方眼紙
75.5×53.5
平成30年度・郭徳俊氏寄贈
2018006（プリントアート）



郭 徳俊
KWAK Duck-Jum
1937（昭和12）～

レーガンと郭
Regan and Kwak

1981（昭和56）刷り：2007（平成19）
シルクスクリーン、紙
53.8×37.2
平成29年度・郭徳俊氏寄贈
2017002（プリントアート）



郭 徳俊
KWAK Duck-Jum
1937（昭和12）～

レーガンⅡと郭
Regan II and Kwak

1985（昭和60）刷り：2006（平成18）
シルクスクリーン、紙
53.6×39.3
平成29年度・郭徳俊氏寄贈
2017003（プリントアート）



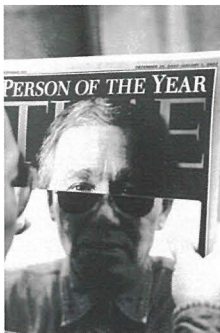
郭 徳俊
KWAK Duck-Jum
1937 (昭和12) ~

ブッシュ (父) と郭
Bush (Father) and Kwak
1989 (平成元) 刷り: 2010 (平成22)
シルクスクリーン、紙
53.9×37.8
平成29年度・郭徳俊氏寄贈
2017004 (プリントアート)



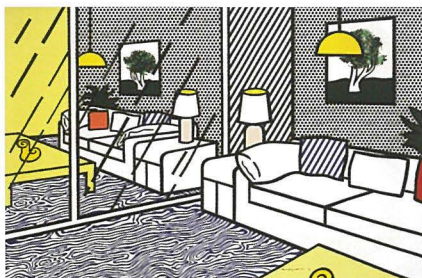
郭 徳俊
KWAK Duck-Jum
1937 (昭和12) ~

ブッシュ2001と郭
Bush 2001 and Kwak
2001 (平成13) 刷り: 2012 (平成24)
シルクスクリーン、紙
55.0×36.2
平成29年度・郭徳俊氏寄贈
2017006 (プリントアート)



ロイ・リクテンスタイン
Roy LICHTENSTEIN
1923~1997

青い床の室内が描かれた壁紙
Wallpaper with Blue Floor Interior
1992
シルクスクリーン、紙
259.0×387.5
平成30年度・購入
2018001 (プリントアート)



郭 徳俊
KWAK Duck-Jum
1937 (昭和12) ~

クリントンと郭
Clinton and Kwak
1993 (平成5) 刷り: 不明
シルクスクリーン、紙
54.3×41.2
平成29年度・郭徳俊氏寄贈
2017005 (プリントアート)



郭 徳俊
KWAK Duck-Jum
1937 (昭和12) ~

ブッシュ2001 (Ⅱ) と郭
Bush 2001 II and Kwak
2005 (平成17) 刷り: 2005 (平成17)
シルクスクリーン、紙
52.2×36.9
平成29年度・郭徳俊氏寄贈
2017007 (プリントアート)



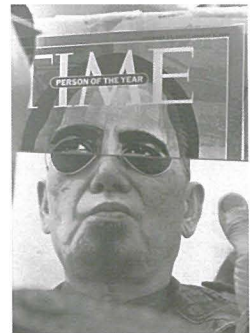
郭 徳俊
KWAK Duck-Jum
1937 (昭和12) ~

クリントンⅡと郭
Clinton II and Kwak
1997 (平成9)
シルクスクリーン、紙
51.5×37.3
平成30年度・郭徳俊氏寄贈
2018007 (プリントアート)



郭 徳俊
KWAK Duck-Jum
1937 (昭和12) ~

オバマと郭
Obama and Kwak
2009 (平成21) 刷り: 2010 (平成22)
シルクスクリーン、紙
51.3×36.8
平成29年度・郭徳俊氏寄贈
2017008 (プリントアート)



彫 塑

岡沼淳一
OKANUMA Junichi
1944（昭和19）～2019（令和元）

WINTER

1996（平成8）
埋もれ木（ニレ）
173.5×11.5×245.0
平成30年度・岡沼淳一氏寄贈
2018008（道東の美術）

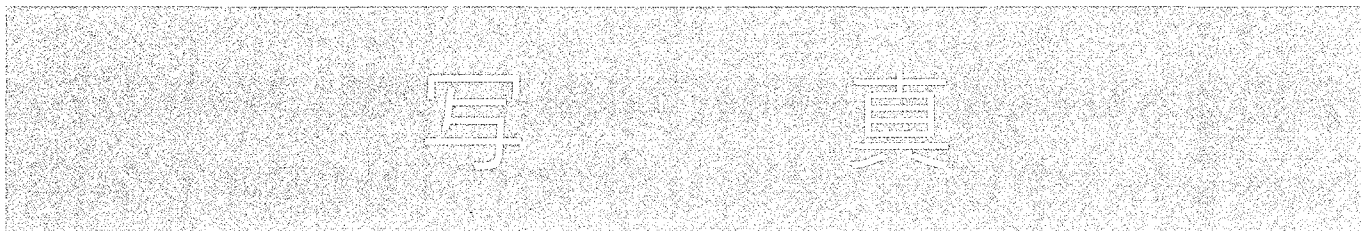


岡沼淳一
OKANUMA Junichi
1944（昭和19）～2019（令和元）

雨のち晴れ Rainy, Then Sunny

2017（平成29）
埋もれ木（ニレ）
49.0×22.0×265.0
平成30年度・岡沼淳一氏寄贈
2018009（道東の美術）

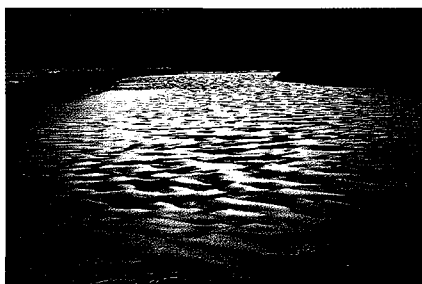




戸張良彦
TOBARI Yoshihiko
1955（昭和30）～

143.618034,42.699446 107°

2015（平成27）
デジタルCプリント
100.0×150.0
平成30年度・個人寄贈
2018010（道東の美術/プリントアート）



美術作品の貸出

平成29年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
油彩	神田日勝	瘦馬	神田日勝記念美術館	平成29年4月7日	「燃え上がる大地―神田日勝」
油彩	神田日勝	人と牛B		}	(平成29年4月25日～7月9日)
油彩	橋原武正	子供		平成29年7月19日	神田日勝記念美術館にて開催)
デザイン	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	北海道立近代美術館、 東京都美術館、京都 国立近代美術館、北 海道新聞社	平成29年7月26日 } 平成30年3月16日	「ゴッホ展 巡りゆく日本の夢」 (平成29年8月26日～平成30年 1月8日 北海道立近代美術 館、東京都美術館、京都国立 近代美術館の3会場にて開催)
版画	靄 嘔	オープニング或いは再び田園	北海道立釧路芸術館	平成29年11月10日	「ももちゃん芸術祭2017―かた ちの冒険」(平成29年11月22日 ～平成30年3月14日 北海道 立釧路芸術館にて開催)
版画	一原有徳	ZOM88		}	
版画	小林敬生	陽はまた昇る ―緑の星・08D―		平成30年3月18日	
版画	佐藤克教	不毛の驕り			
版画	佐藤克教	土色の午後			
版画	佐藤克教	冥い海			
版画	島 州一	FINGER PRINT			
版画	島 州一	FINGER PRINT			
版画	島 州一	CONSTRUCTION OF FINGER PRINTS No.38			
版画	手島圭三郎	冬の顔			
版画	手島圭三郎	鳥の樹			
版画	出店久夫	私風景、過去-2000-未来 No. II			
版画	中谷有逸	碑(鬼の気配)			
版画	中谷有逸	碑(羅生門)			
版画	矢柳 剛	太陽に向かって走れ			
版画	矢柳 剛	宇宙人からのメッセージ			
版画	矢柳 剛	宇宙と人間(A)			
デザイン	レオネット・カビエッロ	新聞「ル・プティ・ドーフィノワ」			
デザイン	ジャン=アドリアン・メルシェ	モーリス・シュヴァリエ主演「微笑む人生」			
デザイン	オガロ(マリウス・ロシヨン)	自転車タイヤ「ミシュラン」			
デザイン	ジョルジュ・ルルー	万国博覧会「光学館」―1900年の大望遠鏡			
デザイン	S. G.	第25回ザグレブ見本市			
デザイン	ジュール・ドランシー(ジュール・イスナール)	東洋のタバコ「ナジャ」			
デザイン	クロード・ガドゥー	ワイン「ローマ軍」―赤・ロゼ・白			
デザイン	マックス・ボンティ	バケ船舶旅行会社			
デザイン	アルベール・ソロン	ファルマン航空			
デザイン	ドナルド・ブラン	青少年のために			
デザイン	L. ビュジェット	ラジオ「グラモン」			
デザイン	W. エルマン	フランス製ガソリン「アンタール」			
デザイン	ルネ・ヴァンサン(ルネ・マエル)	自動車「ビューック」			
デザイン	レイモン・トゥルノン	理想の浴室			

平成30年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
油彩	神田日勝	画室D	神田日勝記念美術館	平成30年6月6日	「開館25周年記念展―《室内風景》を巡 る、これまでとこれから」(平成30年6月 12日～9月2日 神田日勝記念美術館に て開催)
油彩	神田日勝	画室E		}	
				平成30年9月4日	



特別観覧

平成29年度

内 訳	撮 影	複 写	熟 覧	原版使用	画像データ使用	その他	合 計
件 数	0	0	0	3	3	0	6

平成30年度

内 訳	撮 影	複 写	熟 覧	原版使用	画像データ使用	その他	合 計
件 数	0	0	0	0	3	0	3



貸館事業

平成29年度

◇講 堂

開催日	事業内容	実施団体	利用者数
10月7日(出)	映画「フリーダ・カーロの遺品―石内都、織るように」上映会（有料）	おびひろ自主上映の会	20人

平成30年度

◇講 堂

開催日	事業内容	実施団体	利用者数
5月19日(出)	短編アニメーション「アニメーション・トラベラーズ」上映会（無料）	新千歳空港国際アニメーション映画実行委員会	98人
5月27日(日)	映画「謎の天才画家 ヒエロニムス・ボス」上映会（有料）	おびひろ自主上映の会	51人
2月23日(出)	映画「エゴン・シーレ 死と乙女」上映会（有料）	おびひろ自主上映の会	82人

名 簿

北海道立帯広美術館協議会委員名簿（平成31年 3月31日現在）

役職名	氏 名	現 職
会 長	吉田 真弓	帯広大谷短期大学地域連携推進センター長
副会長	笹原 博	広尾町教育委員会教育長
委 員	東海林弘哉	帯広市立南町中学校長
委 員	原田 純子	根室市社会教育委員会委員長
委 員	大河原茂美	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」会長
委 員	天井 千里	釧路市女性団体協議会役員
委 員	宮澤 道	湧別町社会教育委員の会委員長
委 員	武田 光史	帯広商工会議所産業振興部長（事務局長）
委 員	高木 剛	日本放送協会帯広放送局局長
委 員	澤村 寛	十勝管内博物館学芸職員協議会事務局長
委 員	坂本 陽子	（一般公募）
委 員	加納 靖宏	（一般公募）

※委員の任期は平成29年 6月27日から令和元年 6月26日まで

北海道立帯広美術館職員名簿

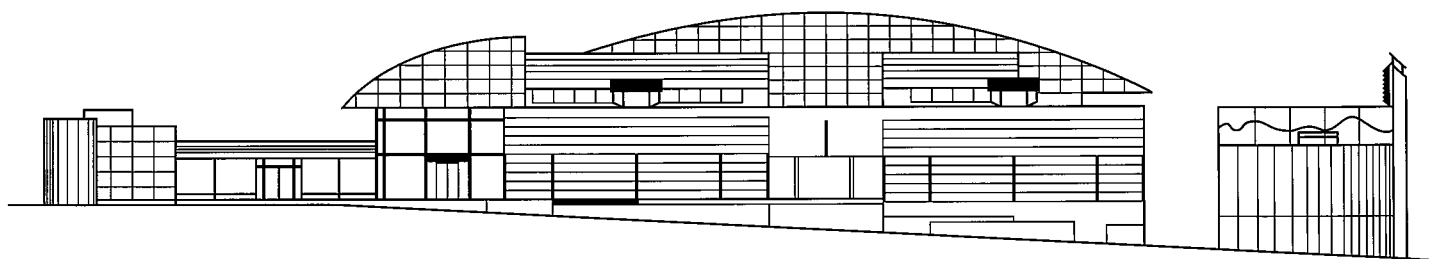
平成29年度（平成30年 3月31日現在）

役職名	氏 名	発令年月日
館長（非常勤）	石堂 普之	平成25年 4月 1日
副館長兼総務課長	千田 弘行	平成29年 4月 1日
主査	樋口 周子	平成28年 4月 1日
主任	黒沢 悟	平成27年 4月 1日
学芸課長	光岡 幸治	平成29年 4月 1日
主任学芸員	藺部 容子	平成29年 4月 1日
学芸員	野田佳奈子	平成26年 4月 1日
主事（非常勤）	高田 佳子	平成 9年11月 1日
主事（非常勤）	山崎 千里	平成14年 3月 1日

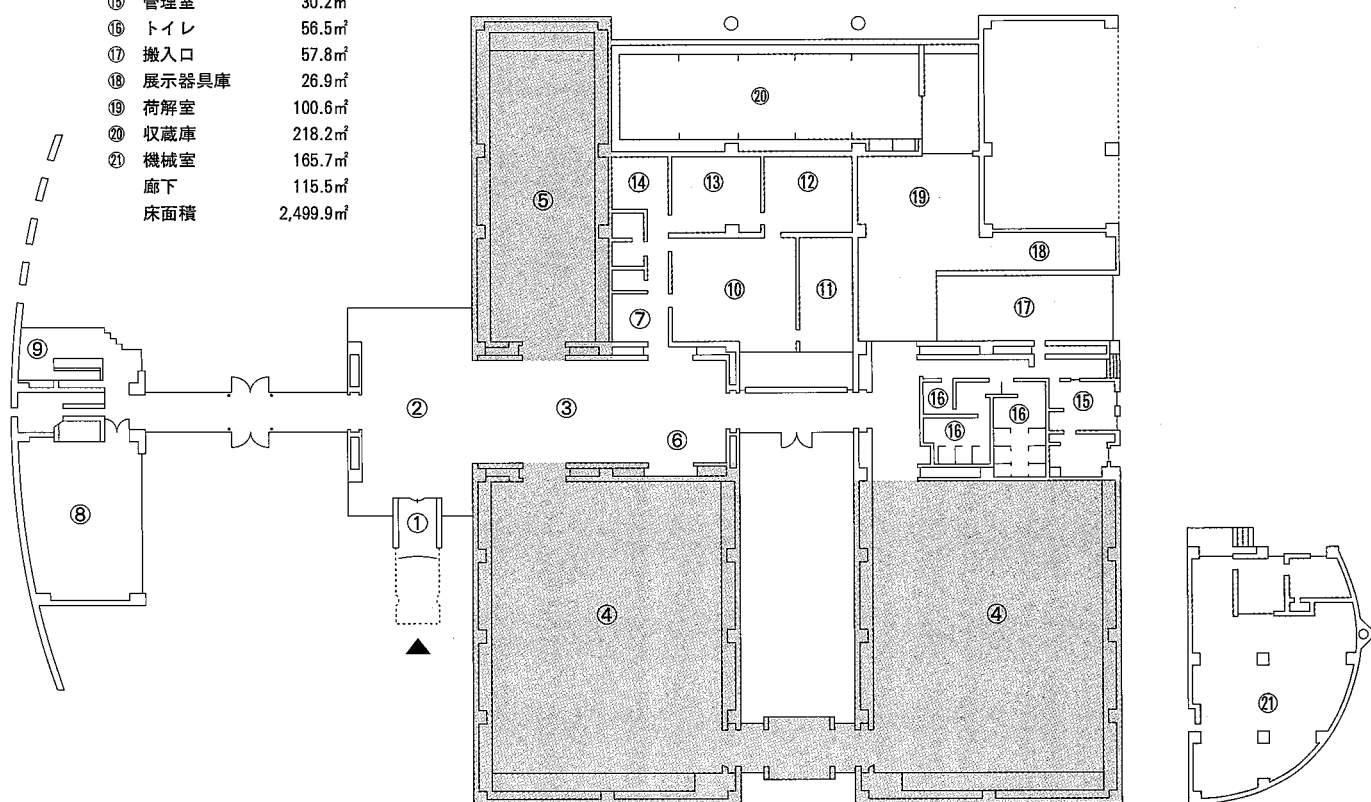
平成30年度（平成31年 3月31日現在）

役職名	氏 名	発令年月日
館長（非常勤）	石堂 普之	平成25年 4月 1日
副館長兼総務課長	芳村 桐子	平成30年 4月 1日
主査	佐藤 朋和	平成30年 4月 1日
主任	西邑 有哉	平成30年 4月 1日
学芸課長	光岡 幸治	平成29年 4月 1日
主任学芸員	藺部 容子	平成29年 4月 1日
学芸員	野田佳奈子	平成26年 4月 1日
主事（非常勤）	高田 佳子	平成 9年11月 1日
主事（非常勤）	山崎 千里	平成14年 3月 1日

館内案内図



① 風除室	12.1㎡
② ロビー	123.1㎡
③ ホール	209.9㎡
④ 主展示室	841.9㎡
⑤ 常設展示室	209.5㎡
⑥ 売店	
⑦ 授乳コーナー	5.3㎡
⑧ 講堂	98.4㎡
⑨ 喫茶コーナー	36.7㎡
⑩ 事務室	72.3㎡
⑪ 館長室	32.9㎡
⑫ 資料室	36.0㎡
⑬ 会議室	35.7㎡
⑭ 準備室	14.7㎡
⑮ 管理室	30.2㎡
⑯ トイレ	56.5㎡
⑰ 搬入口	57.8㎡
⑱ 展示器具庫	26.9㎡
⑲ 荷解室	100.6㎡
⑳ 収蔵庫	218.2㎡
㉑ 機械室	165.7㎡
廊下	115.5㎡
床面積	2,499.9㎡



展示部門
 管理・事務部門

建築概要

●位 置	帯広市緑ヶ丘2番地1
●構 想 設 計	アトリエアク（公開設計競技最優秀）
●基 本 設 計	アトリエアク・大洋共同企業体
●実 施 設 計	アク・日本設計・谷津共同企業体
●工事施工者	
建 築	宮坂・萩原・曾根・市川・大道共同企業体（1、2期）
電気設備	相互電業㈱（1期）
空調調和衛生設備	森設備工業㈱（1期）
電力設備	相互・柴野・誠和・テーエス・長島共同企業体（2期）
通信設備	北口・アサヒ・振興・扶桑・樋口企業共同体（2期）
衛生設備	フジ・梶山・中林 共同企業体（2期）
空調調和設備	森・三洋・勝平・道東・浅岡共同企業体（2期）
●総 工 事 費	約13億4千700万円
●工 期	起工 平成元年10月9日 竣工 平成3年3月25日
●敷 地 面 積	7,000㎡
●建 物 面 積	建面積 2,499.99㎡ 延面積 3,521.60㎡
●構 造 概 要	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
●仕 上	
〔外 装〕	
外 壁	大理石（ライムストーン） コンクリート打放し小叩仕上 アルミパネル
屋 根	アルミ亜鉛メッキ鋼板葺
屋 上	露出アスファルト防水トップコート仕上
〔内 装〕	
ロビーホール床	テラゾーブロック
主展示室床	フローリング
常設展示室床	タイルカーペット
ロビーホール壁	大理石（ライムストーン） 合成樹脂系軽量骨材吹付
展 示 室 壁	石膏ボード、一部ラワン合板下地クロス EP 仕上
ロビーホール天井	合成樹脂系軽量骨材吹付
展示室天井	岩綿吸収板 EP 仕上

設備概要

●電 器 設 備	
受変電設備	受電電圧 6.6KV 変圧器容量 450KVA
非常電源設備	ディーゼル機関 123PS 3,000RPH 発電機 98KVA 3相 200V
動力設備	防災用動力 排煙機 11KW×3 消化ポンプ 5.5KW×3
電 灯 設 備	主展示室 LED 照明（調光式）、ハロゲンランプ コレクション・ギャラリー退色止蛍光灯（調光式）、ハロゲンランプ ロビー 間接照明 蛍光灯 講 堂 LED 照明
電 話 設 備	電子ボタン電話
放 送 設 備	防災一般兼用アンプ 160W
テレビ共聴設備	OCTV（帯広ケーブルTV）による共聴
火災報知設備	P1 級受信機
視聴覚設備	上降式スクリーン 1 式 音声・映像ラック 1 式 映写設備（16mmフィルム、35mmスライド） 1 式 液晶プロジェクター 1 式
●機 械 設 備	
空調調和設備	
設定温湿度	主展示室、特別展示室、収蔵庫、展示ケース 年間 22℃（20～24℃） 55%（50～60%） *（ ）内は可変調節範囲、設定精度は温度±2℃ 湿度±5%
熱源機器	
空冷チリングユニット	冷却能力 240,000Kcal/H
吸収式冷温水発生器	冷却能力 100USRT 暖房能力 253,000Kcal/H
温 水 器	暖房能力 500,000Kcal/H
空調調和機	
主展示室	2 系統
常設展示室、荷解室	1 系統
展示ケース	1 系統
収蔵庫	1 系統
ロビー、ホール	1 系統
管理諸室	1 系統
衛生設備	
給水設備	市水道使用
排水設備	市下水道放流
給湯設備	電器温水器
消火設備	屋内消火栓設備、ハロン消火設備



沿革

昭和62年 7 月	道東地域道立地方美術館設置調査費計上
昭和63年 2 月	帯広市への道立地方美術館設置を決定
昭和63年 4 月	北海道立帯広美術館設置基本構想策定
昭和63年 5 月	北海道立帯広美術館構想設計競技実施
昭和63年10月	北海道立帯広美術館構想設計競技入選作品決定
平成元年 3 月	北海道立帯広美術館基本設計完了
平成元年 8 月	北海道立帯広美術館実施設計完了
平成元年10月	北海道立帯広美術館建設工事着工
平成 3 年 3 月	北海道立帯広美術館建設工事竣工
平成 3 年 4 月	北海道立美術館条例の一部改正により、北海道立帯広美術館設置 北海道立帯広美術館職員を発令、組織発足 初代館長 室田浩志 発令
平成 3 年 9 月	北海道立帯広美術館落成・開館記念式 屋外彫刻除幕（平成 3 年 9 月21日）、一般公開（平成 3 年 9 月22日）
平成 4 年 5 月	日本建築学会北海道支部第17回北海道建築賞受賞（平成 4 年 5 月21日授賞式）
平成 4 年 6 月	照明学会照明普及賞受賞（平成 4 年 6 月18日授賞式）
平成 4 年12月	第 9 回帯広市都市景観賞（建物）受賞（平成 4 年12月 4 日授賞式）
平成 6 年 4 月	第 2 代館長 阿部皎 発令
平成 7 年12月	公共建築賞北海道優秀賞受賞（平成 7 年12月 7 日授賞式）
平成 8 年 6 月	入館者50万人達成（平成 8 年 6 月11日）
平成 9 年 1 月	開館 5 周年記念式（平成 9 年 1 月17日）
平成 9 年 4 月	第 3 代館長 長谷川吉廣 発令
平成11年 7 月	第 4 代館長 上原修平 発令
平成13年 4 月	第 5 代館長 小野寺浩 発令
平成13年10月	開館10周年記念式（平成13年10月31日）
平成16年 9 月	入館者100万人達成（平成16年 9 月26日）
平成19年 1 月	開館15周年記念展開催
平成19年 6 月	第 6 代館長 吉井亮 発令
平成23年11月	開館20周年記念式（平成23年11月21日）
平成25年 2 月	主展示室照明LED化工事（新エネルギー等率先導入推進事業）
平成25年 4 月	第 7 代館長 石堂普之 発令
平成25年11月	入館者150万人達成（平成25年11月30日）
平成28年 7 月	開館25周年記念展開催

観覧者数一覧

平成29年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=F+G (1日あたり)	人				団 体/前 売/リピーター				優 待 割 引				共 通 券			有料入館者計 F=B+C+D+E (/A)	無料招待者 G (/A)
				一 般 (/B)	高大生 (/B)	小中生 (/B)	計 B	一 般 (/C)	高大生 (/C)	小中生 (/C)	計 C	一 般 (/D)	高大生 (/D)	小中生 (/D)	計 D	一 般 (/E)	高大生 (/E)	計 E		
コレクション・ギャラリー		4月29日 ～ 2月25日 (230日)	25,793人 (112人)	717人 (97%)	19人 (3%)	736人	311人 (75%)	101人 (25%)	412人					4,044人 (97%)	126人 (3%)	4,170人	5,318人 (21%)	20,475人 (79%)		
特 																				

平成30年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=F+G (1日あたり)	人				団 体/前 売/リピーター				優 待 割 引				共 通 券			有料入館者計 F+B+C+D+E (/A)	無料入館者計 G (/A)
				一 般 (/B)	高大生 (/B)	小中生 (/B)	計 B	一 般 (/C)	高大生 (/C)	小中生 (/C)	計 C	一 般 (/D)	高大生 (/D)	小中生 (/D)	計 D	一 般 (/E)	高大生 (/E)	計 E		
コレクション・ギャラリー		4月7日 ～ 3月31日 (270日)	36,128人 (134人)	474人 (96%)	19人 (4%)		493人	403人 (75%)	137人 (25%)		540人				5,394人 (96%)	225人 (4%)	5,619人	6,652人 (18%)	29,476人 (82%)	
特 別 展	ナショナル ジオグラフィック 写真展	4月7日 ～ 6月17日 (62日)	7,840人 (126人)	1,622人 (95%)	91人 (5%)		1,713人	372人 (42%)	63人 (7%)	457人 (51%)	892人	1,361人 (95%)	71人 (5%)		1,432人	1,481人 (94%)	89人 (6%)	1,570人	5,607人 (72%)	2,233人 (28%)
	魔法の美術館	6月30日 ～ 9月5日 (59日)	30,492人 (517人)	5,557人 (98%)	131人 (2%)		5,688人	1,617人 (91%)	142人 (8%)	22人 (1%)	1,781人	3,521人 (98%)	72人 (2%)		3,593人	2,032人 (96%)	77人 (4%)	2,109人	13,171人 (43%)	17,321人 (57%)
	神田日勝と 道東の画家たち& 岡沼淳一・木彫の 世界	9月15日 ～ 12月2日 (69日)	4,183人 (61人)	703人 (98%)	15人 (2%)		718人	331人 (99%)	5人 (1%)		336人	360人 (98%)	9人 (2%)		369人	519人 (97%)	14人 (3%)	533人	1,956人 (47%)	2,227人 (53%)
	幕末維新を生きた 旅の巨人 松浦武史郎	12月15日 ～ 2月11日 (46日)	9,948人 (216人)	1,956人 (98%)	40人 (2%)		1,996人	2,079人 (99%)	19人 (1%)		2,098人	1,708人 (98%)	33人 (2%)		1,741人	645人 (97%)	19人 (3%)	664人	6,499人 (65%)	3,449人 (35%)
	北海道のアール・ ブリュット	2月21日 ～ 3月31日 (34日)	3,211人 (94人)	366人 (100%)			366人	142人 (100%)			142人	5人 (100%)			5人	723人 (100%)		723人	1,236人 (38%)	1,975人 (62%)
	計	5 回 (270日)	55,674人 (1,015人)	10,204人 (97%)	277人 (3%)	0人 (0%)	10,481人	4,541人 (87%)	229人 (4%)	479人 (9%)	5,249人	6,955人 (97%)	185人 (3%)	0人 (0%)	7,140人	5,400人 (96%)	199人 (4%)	5,599人	28,469人 (51%)	27,205人 (49%)
	合 計			91,802人 (1,148人)	10,678人 (97%)	296人 (3%)	0人 (0%)	10,974人	4,944人 (85%)	366人 (6%)	479人 (8%)	5,789人	6,955人 (97%)	185人 (3%)	0人 (0%)	7,140人	10,794人 (96%)	424人 (4%)	11,218人	35,121人 (38%)

